

# 五周年記念誌

鳥取青年会議所



Nov. 11 Wed  
'64

# JCの若さで結べ世界は一つ

## 綱 領

われわれ Jaycee は

社会的・国家的・国際的な責任

を自覚し

志を同じうする者相集い力を合

わせ

青年としての英知と勇氣と情熱

をもつて

明るい豊かな社会を築き上げよ

う



鳥取青年会議所



# 五周年誌鳥取青年会議所

## 目 次

五周年を迎えて……………	理事長	坂尾 裕正………… 2
五周年記念事業について……………	五周年記念実行委員長	浜崎 芳宏………… 4
発刊に際して……………	1964年度広報委員長	辻 敏治………… 5
われらの兄弟から	社団法人日本青年会議所会頭	小谷 隆一………… 6
	日本青年会議所副会頭	藤木 昌二………… 6
	鳥取J C創立時日本J C会頭	千 宗興………… 7
	日本J C中国地区協議会長	江原 滋………… 7
	鳥取J C創立時中国地区協議会長	鴨井 正夫………… 8
	山陰ブロック協議会長	谷口 充………… 8
地域社会の方々から	鳥取県知事	石破 二郎………… 9
	鳥取市長	高田 勇………… 9
	鳥取市議会議長	渡辺寛太夫………… 10
	鳥取商工会議所会頭	米原 穰………… 10
	日本海新聞社社長	宮崎 正雄………… 11
	鳥取ライオンズクラブ会長	富本 勇………… 11
	鳥取北R・C会長	藤間 忠顕………… 12
	鳥取中央L・C会長	和田平八郎………… 12
	積善学園長	森原 敏直………… 13
	鳥取市立白兎学園長	岡村 六蔵………… 14
	鳥取子供学園長	藤野 武夫………… 15
	若草学園長	三橋 道子………… 15
	鳥取市社会福祉協議会長	村上 善市………… 16
	ともしび会会長	石破 和子………… 16
初代理事長の思い出……………		金田 文夫………… 17
メンバーの欄	副理事長	三宅 金延………… 18
	副理事長	中尾 喬一………… 18
	直前理事長	山根 幸男………… 19
	直前会長	浜崎 芳宏………… 20
		寺沢 俊雄………… 20
	近藤 弘司	土家 巖………… 21
	西尾昌之助	森下 春子………… 22
	野口 八郎	玉木 久夫………… 23
	安部 誠吉	亀井 康孝………… 24
		北村 勝美………… 25
	小田 信夫	坂尾 裕正………… 26
	辻 敏治	米沢 安民………… 28
		森下 耀雄………… 29
	小谷 種夫	森田 一郎………… 30
中井 晋	松下 弘	河田 博志………… 31
		川島 久………… 32
	森 亮輔	博夫………… 33
	島田 穰	松浦 寛………… 34
	三宅 金延	田中 正昭………… 35
永瀬 正治	川崎 巧	中井 積………… 37
	小谷 信行	浜崎 泰三………… 38
	梨原 巖	平野 之敏………… 39
		梶田 真輔………… 40
作 詞 4 篇……………		ひろし作詞………… 42
特別座談会『創立当時の思い出』……………		…………… 43
経済委員会を顧みて……………		石黒 松雄………… 51
少年野球大会を立派に育てよう……………		鎌田悟一郎………… 52
鳥取J C 5年間の歩み……………		…………… 53
海と山の子が楽しい一日……………		…………… 54
アクロンJ・Cとの児童画交換……………		長尾 正道………… 58
鳥取青年会議所定款及び諸規定……………		…………… 61
	歴代役員名簿……………	…………… 67
	会 員 名 簿……………	…………… 68

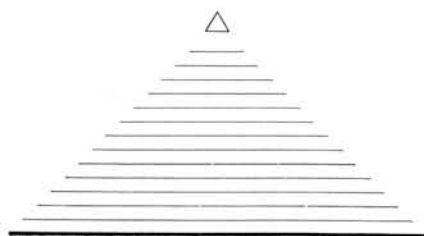


## 五周年を迎えて

理事長 坂尾裕正

鳥取青年会議所が創立して、五周年を迎えたのですが、会員相互のJCに対する熱意と協力によって、今日のJC活動が実社会に伍して、大きく方向づけられつゝある事は、吾々メンバーの誇りであり、喜びでもあります。然しそれには、日本JC及び鳥取JCの諸先輩、ならびに各界の鳥取JCに深いご理解をおよせ下さいました諸賢、各位の格別なるご指導とご援助の賜であると信じます。ここに諸賢並びに諸先輩各位に対し、敬意と感謝の意を捧げたいのであります。第二次大戦直後、社会は混沌として、人心はさながら虚脱状態の時、日本では東京に始めて青年会議所が生れたのであります。それに端を発して、何んとか新しい理想の社会をかもし出そうと、今から五年前、鳥取に青年会議所が誕生致しましたことは、実に意義深いものがあると思います。青年会議所創始の精神は、何時の世にも、世の荒波に抗する若さの力が、JCの旗印の下に、友情でしっかり結び、自己に厳しい修練と、社会奉仕の理念をもって、明日の豊かな社会を創ろうと努力されて来たのであります。この姿は社会の一つの希望であり、指針であったと云うべきでしょう。今や、日本の経済は国際的に素晴らしく進展し、開放経済へ向かって、大きく変貌されつつある秋、今後のJC活動が社会に対する使命は益々大であります。JCの歴史が、即ち日本経済社会の流れであるならば、吾々はここで創立当

初の精神を享受していることを再び思いおこして、あらゆる努力と忍耐をもって、次の十周年への歴史の第一歩を踏み出すべく、決意を新にしなければなりません。鳥取はあらゆる産業とも貧弱で、鳥取地区は特に第三次産業の処女地帯とも云われ、他の都市に比して遅れているようであります。第一次、第二次産業に於ても、近代の企業産業としての合理化を急がねばならぬ現状であります。「新時代を築く若さと指導力」本年、日本青年会議所のスローガンであります。吾々は「若さをもつ指導者の経済人」としての自覚から、地域経済の総合開発を期せねばならぬのであります。鳥取 J C は未だ五才の少年でありまして、あらゆる面で今後に期待されているものが大であります。幸い鳥取 J C 会員の平均年齢は三十才でありまして、非常に若く意気盛んであります。しかも近代センスから申しまして、経済的理念或は科学的叡智等に於ても優秀な会員が揃い、近き将来には必ず世の期待に添いうるものと確信いたします。現在日本には二百五十八の J C チャプターがあり一万五千人余の友をもち、世界には八十五カ国に連る大勢のメンバーがあります。それに連る我々鳥取 J C と致しましては、互に手を携え、時の流れに遅るゝことなく、他の J C 会員諸兄の温かい友情と、各方面からの変らぬご指導にすぎり、J C 活動に邁進し、より良い明るい豊かな社会を築かねばならぬと思ひます。この時に五周年誌を刊行し、それを足場として、将来へより前進しようと思ひます。鳥取 J C 五年有余の記録は、古きを温め新しきを知る糧ともなり。会員の友情を一層深めるための証しに致したいと念じます。最後に日頃吾々に格別なるご指導を下さいました各方面の各位の皆様から、ご祝辞なり、激励のお詞を戴きまして、感激一入でございます。茲にご芳志を謝し深甚の御礼を申し上げます。今後とも変りませず一層のご高導をお願い致す次第でございます。





## 五周年記念事業について

五周年記念実行委員長

浜崎芳宏

昨年、中国地区協議会会長の重責をお蔭様にて果すことができ諸兄の絶大なご援助に深く御礼申しあげます。然しながら、地元については不勉強とゆうことで今年には五周年記念実行委員長とゆう難行をペナルティーとして課せられたる気持で心新たに再出発とゆうところです。お蔭様にて鳥取JCも五年、やっと地域社会にある程度認識もされ、根を降した感じがございます。

さて五周年記念事業でございますが、日本JCの方針にもそい、又ローカルJCのあり方にも立って、まず地域社会の為になるキャンペーンをと考え、まず鳥取市民ホール建設促進運動の一助になればと六月にぐるみ座公演を行い、全会員諸兄のチームワークの賜もので無事初志を達成しましたことはご同慶にたえません。

この外、例年行っております各種事業も特に五周年記念として、誠に盛大にして戴きまして感謝のほかはございません。

五周年記念式を東京オリンピック終了後、秋も深まる十一月中旬に会員相互のお祝いとして行い、われ々が歩んで来た途を静かにふり返ってみたいと思えます。

最後に五周年誌に数多くの方々からご祝辞を戴き、又会員諸兄からかつてないご投稿を得まして誠に有難うございました。

さてこの五周年を一期として又の五年に向って前進です。東京オリンピックと共に五周年を迎えたわれらの鳥取JCに栄光あれ！



## 発刊に際して

一九六四年度広報委員長

辻 敏 治

記念誌を発行しようとすることは、鳥取JCかねてよりの念願で、JC創設当時の貴重な資料と、その歴史のおりなす数々の事業を収集掲載して、その創始の精神におもいをいたし、今後のJC運動へのささえとするのが目的で、輝ける鳥取JC創立五周年記念号として、こゝに発行するはこびとなりました。

此の企画が打ち出されたのは一九六三年で、この具体的計画は本年初めから発行準備が進められて来たのでありますが、やはり生みの苦しみとでも申しますか、発行にはかなりの困難な点が多々ありました。

五年間の歩みの中へ、少しでも多くの活動を、事業を詳細に、且つ過去五年の流れと現代の動向を明確にすることに、鳥取JCのその発展段階を方向づけ、その歴史を細密な資料の上にキャッチ出来るよう企画、立案し、十一月十一日の五周年記念式典当日に発行し、その名にふさわしい記念誌とするよう努力しましたが、残念ながら五年の歩み、資料等十二分に記載することが出来ず、表題にふさわしくない、又当初企画された記念誌が出来なかつたことは残念でなりません。

しかし今後、十年、十五年と引き続き発行されることになるとは思いますが、その一つの発行へ足跡を残すことが出来たことに大きな意義と喜びを感じている次第です。

最後に関係各方面より鳥取JCに対しご祝辞を戴きましたことにつきまして厚く御礼申し上げます。



# われらの兄弟から

## 祝 辞

日本青年会議所副会頭

藤 木 昌 二

ごあいさつ



社団法人  
日本青年会議所会頭  
小 谷 隆 一

鳥取青年会議所の創立五周年を心からお祝い申し上げます。

貴青年会議所は中国地区内にあって常に他J Cと協力され、J C共通の理想にもとづく幾多の事業活動を通じて地域社会の向上に寄与されてまいりました。

この機会に貴J Cの功績を讃え、拍手したいと存じます。ご承知のように戦後の混乱の中で新しい光明を見出そうとして出発して以来J Cは、自らの訓練とともに、新しい国づくりの先頭に立って活躍してきたのであります。

幸いにしてわが国は驚異的な復興をとげ、今また開放経済に突入して名実ともに経済先進国の仲間入りをしようとしております。

しかしながら経済の急激な発展にひきかえ、バランスを欠いた幾つかの現象を私共は見過してはならないと存じます。

ひとり経済問題のみならず中広い活動範囲を有する私共J Cにとって、それらの問題の解決に努めることはそのままJ Cの課題でなければなりません。

いわば新時代を迎えた日本の前途がさらに私共の活躍を待っているといえましよう。

今こそ私共は再びJ C創始の精神にたちかえり、創造への道を力強く歩み続けるべきであると存じます。

年度初頭私共は、J Cの目標として近代福祉国家の建設をかけた、J Cの進路を明らかにいたしました。

私共は困難にして、最もやりがいのあるこの目標を、地域社会の具体的問題の解決に関連づけ一歩一歩その目標に近づきたいものであります。

鳥取青年会議所が過去五年にわたる実績を基礎にされ、さらに今後力強い活動を展開されるようお祈りし、創立五周年を心からお祝い申し上げます。

昭和三十四年一月、米子J Cをスポンサーとして全国で第一五六番目に誕生した鳥取J Cが五周年を迎えて、益々発展の途上にありますことを、心からお慶び申し上げます。

此の五年の間に、日本青年会議所に加盟する各地J Cは、現在二七四と、二倍に近く増加しております。中国地区内に於ても、当時二十一J Cであったものが、今日では三十四を数えるに至りました。

鳥取J Cの会員諸君にとって、此の五年間には、忘れ得ぬ数々の思い出が多い事と思いますが、鳥取市の為に残して来たその実績は高く評価されて居る事でありましよう。

ことに五周年を記念して、市民ホール建設といふ大事業に着手されました事は、誠に時機を得て、意義深い事であり、永く市民の胸に記憶される事でありましよう。

更に創立後僅か五年とはいえ、山陰地区のJ C活動発展の為に、貴J Cの残した足跡も数多く、特に昨年度中国地区担当理事として山陰地区から初めて選出せられた、浜崎芳宏君が、中国地区協議会の充実発展の為に、精力的に活躍

された事は、地区内全会員の記憶に新しいところでありませぬ。

今、鳥取市は、中国縦貫道路、陰陽連絡道路等の大きな構想に基いて、山陰の後進性を積極的に打破して、山陽路との緊密な連絡の下に、新しい躍進の時を迎えようとしております。

新しい時代の、新しい生命力は、J.C.によって代表される青年経済人の、新しい感覚と、逞しい行動力によって、生み出されなければなりません。

日本青年会議所は、本年度特に地域開発に積極的に参画する事を、重点事業の一つとして推進しております。

近接J.C.はもとより、全国の志を同じくする一五〇〇〇名の会員と共に、力強い協力の手を組み合せて、此の五周年を契機に、更に一層の飛躍的發展を遂げられんことをお祈りして、お祝いのごあいさつといたします。

## J.C.の友情こそ心の宝である



鳥取J.C.創立時  
日本J.C.会頭

千 宗 興

一九五九年だった。私が日本J.C.の会頭当時

鳥取J.C.が誕生した。その認承証伝達式に山陰に出向いたのもつい昨年のことのように思っている。あの盛大だっ式典、楽しかった数々の行事、私にはそのまゝなつかしい記憶として残っている。けれどあれからもう五年もすぎ去ってしまった。その間私はJ.C.Iの副会頭もつとめ今は既に一卒業生なのである。全く文字通り光陰矢のように速い日目のめぐりにしじみと感無量である。

J.C.会頭当時、私はJ.C.組織の拡充をその重要な施策としていた。それは、社会機構が組織の力を中心に動くようになった今日、何をいってもまず全国の組織網を發展強化させることが将来のために大切であることを信じていたからである。幸い私の方針は当時のリーダー諸君の協力を得て実を結び、数多くの新設に成功し、それらは皆順調に成育されて、今日、日本J.C.の中堅としてこの大組織の中で重きをなしている。全くたとえようもなく嬉しいことである。

昨年のJ.C.I副会頭当時担当国の東南アジア各地を廻ってみても、何れも日本の充実した発展ぶりがまことによい刺戟となっている事実もこの組織の拡充を五年前から取りあげていたからであると思う。

思えばこうして私J.C.生活は全く多忙な連日であり、数多くの時間をそのために費したが、今日でも折にふれ当時の友人から便りをいただき、数多くの親友をえたことを考えると、あの頃の苦労が今やっとな私自身にも又日本のJ.C.自

体にも実り始めたと考える。

友人は人生の花である。私は今、このJ.C.当時を得た多くの友人の花園の中にある。これほど人間として幸せなことがあるうか。今後これらの友と共に近代福祉国家の建設に努力を続けたいと考えている。

わが愛する鳥取J.C.の意義ある記念式日に当り、所懐の一端をのべてその祝意と敬意を表する次第であります。

## 鳥取J.C.五周年を記念して



中国J.C.地区協議会  
会長

江 原 滋

鳥取J.C.の五周年記念を、心から御喜び申し上げます。

つい先頃津山から車を飛ばして認承式に参列し、夜遅く又々津山迄タクシーで帰った事が思い出されます。

あれから五年、光陰矢の如しとは申し乍ら月日の流れの早さに今更の様に目を見張るのであります。その間鳥取J.C.の諸兄には実に活発な運動を行われ、山陰地区の中心J.C.として活躍されている事を御喜び申し上げますと共に、その

実力には常に驚き且敬服して居るのであります。経済問題に福祉問題に、あらゆる面で常にJC運動を率先して行われ、その具体的現れは、経営セミナーに安全交通問題にと教え上げれば数限り無く思ひ出されます。

鳥取JCには私個人的にも浜崎君、金田君と心から尊敬している先輩があり、兄等のご指導もさる事乍ら、その成果はメンバー一人一人の地についた活動の賜ものと、鳥取JCの各位に對し衷心より敬意を表する次第であります。

政治、経済問題も最近、広域都市又は府県統合と話題もいろいろとありますが、特に山陰地方の要とも云える鳥取市が向後中国経済の先驅者とも考えられる今日、その鳥取市の否山陰の中心点バックボーンとなるのは今日のJC会員だと信じる時、又その責任の重大さを痛感するのであります。今後の活躍を期待し発展を念じつゝ祝詞と致します。

## お祝辞

鳥取JC創立時  
中国地区協議会長

鴨井正夫

鳥取JCの創立五周年を心よりお祝い申し上げます。はからずも創立当時の地区協議会長の故をもって、お慶びを述べる機を与えられました事を光栄と存じて居ります。

鳥取JCの御発展と充実については、昨年浜

崎君が中国地区協議会長を完全に務め上げられ且つそれを力強くバックアップした鳥取JCのチームワークにより、如実に示されていると云えましょう。私は昨年、井原JC創立に際してスポンサー倉敷JCの拡大委員長として、井原JC認承についての説明やら手続の為いわば私の産んだ鳥取JC並びに浜崎会長のもとへ礼を厚くして足を運んだのも私なりに楽しい事でした。そしてその時の浜崎会長をはじめ鳥取JCの手際よい事務処理には、五年前の私に引き比べ衷心よりの感嘆と同時に心嬉しさを禁じ得ませんでした。

創立以来五年と云えばアクティブな創立メンバーがそろそろ卒業の頃です。より活潑なJC運動を行い得るか、情性で進むかの分れ途です。今後一層の御精神の程をお祈りしてお祝いの辞といたします。

## 鳥取JCの五周年

に寄せて



山陰ブロック  
協議会長

谷口 充

五周年お目出とう存じます。日本JCが出来

て、今年で丁度十五周年になりますが、その十年間のハンデーを見事とり返されて、その内容たるや、決して他の日本国中のJCと比較して優るとも劣らない、アクティブな、名実共に優秀なJCであります。

日本のJC活動において、決して無視する事の出来ない、重要な地位にある鳥取JCであると確信致します。

しかしその蔭には、金田初代理事長を始め、六十三年度浜崎中国地区協議会長等、先人が現在の鳥取JCの基礎を確定的なものにされ、その功績は、歴代理事長、理事諸君の汗と涙の努力と相俟って、今日の鳥取JCの地位が築かれたかと存じます。

鳥取には、鳥取としての好きがあり、鳥取でなければ出来ない先天的な使命もございませぬ。地域格差、経済格差等と流行語の様に申す昨今三十二万五千石の城下町である鳥取は昔からの要衝の地と自他共に許しております。換言すれば、山陰の地の中でも、文化、交通、経済、教育等の最も優れた地と云えましよう。

どうか、その山陰における鳥取の特殊性を活かされたJC活動を、地域社会の発展の為に、中国地区の鳥取、日本の鳥取として、尚国際青年会議所の一員としても、今後益々御活躍されん事を期待して止みません。

鳥取JCバンザイ

# 地域社会の方々から

## 鳥取青年会議所 創立五周年を祝して



鳥取県知事  
石 破 二 朗

鳥取青年会議所におかれては本年創立五周年を迎えられましたことは、まことに慶賀に堪えません。

すぐる昭和三十四年一月中国地方十五番目の青年会議所として創立され今日を迎えられたのでありますが、この間会員各位におかれましては、若き情熱と燃えるが如き郷土愛をもって、地域社会の発展に大きく寄与せられましたことは過去五年間の輝かしき業績が実証しておるところであり、世人ひとしく感銘致しておるところであります。

第二次大戦の結果精神的にまた物質的に荒廃した日本を再建し住みよい社会とするために立ち上った青年の力が大きな一つの組織として結集され、青年会議所が創設されたのは昭和二十四年の九月であります、その掲げられた三つ

の理念即ち、「社会への奉仕」「個人的修練」「世界との友情」は今日迄会員各位のバックボーンとして全国の青年会議所をしてよく今日の隆昌に導びいておるところでありまして深く敬意を表するものであります。

鳥取青年会議所がこの立派な信条の下に全国組織の一員として雄々しく発足され、次代を背負って立つ有為な青年諸君が共通の理想の実現を目的として日々修練をつまれば鋭意研鑽努力される姿を拝見致しまして非常に意を強くしておりますところではありますが、この努力が続くかぎり必ずやその成果は大きく経済の発展、文化の向上は期して俟つものがあることを確信するものであります。

現今我国の経済は急速な高度成長を遂げるに至りましたが、貿易自由化の拡大、IMF八条国への移行OECD加盟による国際経済社会への加入等そのいずれをとりましても今後には大きな問題を有しており、これに対処するためには経験豊富な老練者の力に俟つところ勿論であります、何と申しましても覇氣と春秋に富んだ有能な会員各位の手腕に期待するところ甚はだ大なりと申さねばなりません。

会員各位におかれましては、理事長の下に一致協力、高邁なる理想実現のため刻苦勉勵もって理想郷の建設に邁進され広く国際社会へ貢献

されますことを祈念致しますと共に今回創立五周年記念誌発刊に当りまして慶賀に堪えず、甚はだ粗辞ではありますが一言所懐の一端を述べお祝いの言葉と致します。

## 鳥取青年会議所の 発足五周年を祝して



鳥取市長  
高 田 勇

鳥取青年会議所が、JCとよばれて親しまれ社会的、国家的また国際的な責任を自覚して発足されてから、五周年目を迎えられそのお祝いを申し上げる機会を得ましたことは、私の最もよろこびとするところであります。

振り返りまするに現代の世想は我々の人間の生活水準を限りなく向上させており、明るく見える世間も、一面裏にはすべてのことには恵まれない人々が数多くあることを忘れてはなりません。私が鳥取市政の重要施策の一つとして掲げております谷間のない町づくりは、文化、経済福祉等すべての面にわたり、皆が揃って明るい健康な生活を楽しむことを目標としたものでありまして、JCの綱領としておられます英知と勇氣と、情熱をもって明るい豊かな社会を築き

上げようと過去五ヶ年、会員一丸となって諸事業の遂行に邁進して来られましたことは切っても切りはなすことの出来ないものと固く信じておるところであります。

現在の世情にあって、民主主義社会の観念をはき違え、ややもすれば利己主義の観念になりやすい人々の多い時、奉仕、修練そして友情を信条として福祉国家の建設に貢献しようと、日夜心痛しておられます皆さんの努力に対し重ねて敬意を表する次第であります。

終りにのぞみまして将来、鳥取青年会議所がますます隆盛し、明るい福祉社会の建設に会員こそぞって努力發展されますことを心から御祈り致し御祝いの言葉と致します。

## 祝 辞



鳥取市議会議長  
渡辺寛太夫

鳥取青年会議所が、鳥取商工会議所所屬の工業関係の青年部をもって結成されて、本年で記念すべき五周年を迎えられたことは、当地方における商工業の飛躍發展のため衷心からよろこびに堪えません。

鳥取青年会議所は現在会員六十四名をようしその果さんとされます責務は、直接当地方にお

ける商工業の伸展は勿論、社会福祉の向上、市民生活の安寧等大なる役割を保有されているのでありまして、会員各位今後の業績に偉大なる期待を与せているところであります。

勿論過去五カ年間における輝しい業績は数多く、いづれも心から敬意を表するものでございますが、常に理想の希求に燃ゆるが如き堅固な信念と情熱をもって、当地方の産業の振興に鋭意努力を傾注されて、青年会議所本来の目的達成に精進願いますことを念願いたす次第でございます。特に、当地方に於ける商工業振興の一大飛躍を策定し、実践する者は、一にかかつて青年会議所会員各位の双肩にあると確信いたすものでございます。

どうかこの記念すべき年を飛躍への跳躍台として大きく伸展されますことを心から祈念いたしてやみません。躍進に躍進をされるであろう鳥取青年会議所の五周年を記念いたし、一言申述べまして祝辞といたします。

## 記念誌発刊を祝して



鳥取商工会議所  
会 頭  
米 原 稔

月、その年九月に輝かしく認承証伝達式を挙行され名実共に国際組織の一翼として大きく発足されて早くも五年を迎え、着々とこれが目的達成に邁進されておられますことは誠に心強く思っています。

顧みまするに、わが国の経済は、ここ数年間の急速な成長過程を通じ自立経済への基盤を固めつつありますが、同時に国際経済上の要請に一段と積極機敏に応ずることが必要となつてきております。かかる時代でありまして、これが解決の負托に應えるは一に青年の意気と情熱にまつところ極めて多いものと考えられます。

鳥取青年会議所がかかるすう勢の自覚の上に立つて日本および国際青年会議所の機構を通じ全世界の青年と提携し青年の努力を結集して積極的に建設的事業計画を樹立して、これが実践を通じ広く経済の發展と社会公共の福祉に多大の貢献をいたされておられることは誠に慶びに堪えません。

このようなときに当り今回創立五年を迎えるにあたって記念誌を発刊されたことは誠に意義深く一大行事であると信じます。

どうかこの記念誌の発刊をけいきとされ更に輝かしい歴史をいやが上に向上し、将来の諸事業に一層の飛躍の成果を挙ぐるに努められますよう会員各位に期待する次第で御座います。

鳥取青年会議所が誕生されたのが三十四年一

## 鳥取青年会議所 設立五周年を祝す



日本海新聞社社長  
宮崎正雄

鳥取青年会議所が設立されて五周年を迎えられたと承って、私は心からお祝いを申し上げたい。

五年前鳥取市に青年会議所が設立されたとき聞いた時、私は鳥取商工会議所の青年部のことと思ひ込んでいた。私の属する鳥取ライオンズクラブが結成された当時、プロ野球の西鉄ライオンズの後援会かと、しばしば多くの人から質問されたが、青年会議所については、私もそれらの人々と異なるところがなく、全く認識不足であった。

その後青年会議所の活躍振りを見聞するに従って、会議所に対する認識は深まり、最近青年会議所に対し心から敬意を捧げ、また時に羨望の念さえ生ずるようになった。

恐らく本誌に、鳥取青年会議所の五カ年の歩みが報告されるであろうから、それを一読すれば何人も私と同じ感じを抱かれるものと信ずる。

る。

流石に青年実業家の集いである。会は常に活気に溢れている。しかも、実に和気あいあいたるムードが漲っている。鳥取JCは積極的であり、行動的である。私が羨しいと思うのはこの点である。

鳥取JCは会員の心身の修練に努めている、自ら野球チームを編成して、他クラブと交換試合をやって、親睦を深め、産業、経済、文化について、或はセミナーに出席し、或は講演会を開き、現地を視し、重要テーマについて座談会を開くなど多彩な事業をやっている。

積善学園、白兎学園、若草学園などの施設の児童に対し、自ら訪問してこれらを激励し、或は彼等を招いて慰安会を開いている、一般少年のためには少年野球大会を主催し、又、音楽祭を開催して、少年の健康増進、情操陶冶に貢献している。

鳥取市の発展については特に強い関心を持ち市長と再三意見の交換会を催し、或は自ら都市計画研究会を開いて、あるべき鳥取市について研究するばかりでなく、久松公園天球丸へ水銀燈を寄贈し、公会堂の建設には推進力となつて既に建設資金造成の演劇公演会まで開催し、その遅しい行動力を遺憾なく發揮している。

重要な社会問題である交通事故防止対策については、事故標示板をつくり、モデル校を表彰し、安全旗を小中学校に寄贈し、会員の自動車に事故防止ナンバーを取りつけるなど有効適切な対策を講じておられる。

私は企画の適切なること、その事業内容が多面に及んで余すところのないこと、しかも、必ず実行して成果を上げていられる点を思う時深く敬意を表さずにはいられない。

鳥取JCは五周年を契機として更に大きく発展せられることを確信するものであるが、私は又それを心から祈るものである。

## 祝詞



鳥取ライオンズクラブ  
会長  
富本 勇

鳥取青年会議所が発足して五周年を迎えらるるに当り祝意を表する機会を与えられたことを光栄且つは欣快とするところであります。我が鳥取ライオンズクラブが同じように誕生五周年を迎えたのは一昨年のごとで僅かに二年先輩というに過ぎないがやはり五カ年という歳月は一つの区切りでありこの機を一期として過去を振り返り将来を劃することは意義深いことでもあります、特に最初の五カ年はいわゆる草創の間であつて産みの悩みの数々を経験しなければならぬのでありますが、これ等を見事に克服さ

れて中国五県でも有数の会議所として成長されたことは歴代の幹部諸兄の熱意と才腕に負うところが大きいことを思い衷心より敬意と祝意を表する次第であります。

ロータリークラブ、ライオンズクラブがそうであるように青年会議所もまた国際組織のもとに世界の平和と人類の福祉に貢献せんとするものであると思いますが、只その所属する階層なり会の運営の方法なり或は又奉仕活動の様態に夫々特徴があり相違があると理解しております。何れにしても会員相互の接触による自己の向上と会員相互の協力による社会に対する働きかけとによって地域社会に奉仕しようとする訳でありまして道は多少異なり手段を異にすることはあっても共通するものは奉仕精神ではないかと思うのであります。

自己主義、利己主義が益々世間を暗くしようとしている現代に於いて困っている人の為め救いの届かない階層のために物心両面の奉仕をして自らは何も求めない姿ほど尊いものはありません、青年会議所の諸兄が夫々多忙な職域を通じ又貴重な余暇をさいて健全な社会の確立と明るく健康で効率の高い職場の建設に若い力を結集していただけることは有難いことであり世間の人々はおもったこの事業を認識する必要があると思うのであります、五周年を迎えられて更に一段の躍進をとげられると共に青年会議所を卒業された諸兄が又続々と我々のライオンズクラブに入会されて理想的社会実現のために御活躍下さることを祈ってやみません。

## 祝 辞



鳥取北R・C  
会長  
藤 間 忠 顕

人間は、年をとるに従って、美しいもの、清らかなもの、正しいものを見る目がだんだん狂ってくる。老眼鏡をかけねばならぬようになること、ことは終りである。更に、これらのものを実践する実行力において、若人と老人との間にその差はますます甚だしくなる。老人の考えることは、まず、自己の保身である。利害得失である。そこに世の中との不純な妥協が生れ、実行力が鈍化する。老人とは、まことに因果なものである。わたくしは、このことを、老人一般をけなしていつておるのではない。自分に省みて自分にいいきかせておるのである。

年をとるといふことは、そのこと自体尊いことではない。世の中に、老人を表彰することが行われておるようであるが、長く生きたことを表彰するのであれば、それは意味がない。その老人が若さを失わず、その人生において何をしたかということが表彰の対象になる。もっとも生きながらえた老人をなぐさめるという意味で表すというのであれば話は別である。

まえがきがやや長くなった嫌があるが、本年

度は鳥取J・C・Cの五週年にあたるとのことである。J・C・Cは青年の集りである。ものを見る目も正しく、その実践力は旺盛である。その認識力と実践力によって、J・C・Cの綱領とする「明るい豊かな社会の建設」は期して待つべきである。また、鳥取J・C・Cが迎えた創立五周年も徒らに年をとったというのではない。この綱領の実現のため如何に数々のことが実践されたかは、新聞紙等の報導するとおりである。ロータリーは奉仕をその綱領とする。この奉仕を、あらゆる生活関係を通じてのみ重ねることによって、J・C・Cの綱領とする「明るい豊かな社会」が期せずして実現するものと思う。われわれは、J・C・Cの諸君にひっぱられながら奉仕をつづけよう。J・C・C諸君の奮起を望みたい。

## およろこび



鳥取中央L・C  
会長  
和 田 平 八 郎

鳥取青年会議所が創立以来五周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。

戦後の苦難の生活の中から人々の勤勉と努力によってめざましい祖国の経済再建が進められ

できましたが我が鳥取に於て若い意慾的な人々によって世界につながる青年会議所の結成をみたことは私共の記憶に新たなものがあります。月日の流れは誠に早いもので既に五周年を迎えその間幾多の奉仕と練磨を積み重ねその礎は固まりその存在はこの地域に重きをなす迄になりましたことは真に悦ばしい限りです。

然しこのことのおかげには歴代役員を中心に会員各位の御苦労もさぞ多かつたことと存じ今日の成長をもたらされました皆様の御苦労に対し更めて衷心から敬意を表します。私共ライオンズクラブも構成は異にしていますが、奉仕団体として究局する処に同じような理想を追究するものですから今後共相提携して地域社会の発展のために寄与して参りたいと思います。

五周年をエポックとして今後のより力強い御発展を希望いたすと共に会員各位の御健康をお祈りしましてお祝いの言葉といたします。

## J・C 発足五周年を 記念して



積善学園長  
森原敏直

J・Cの綱領は近代的で、少しでも社会を明

るくし、前進させたいという英知がにじみで、読むものをして血氣と躍動を覚えさせる。また信条、スローガン何れも現実的であって、朝夕愛誦したい気持になる。どうか、これらの事柄が、あまねく行き届き、具現されることを祈念して止まない。

このように遠大な理想と希望を掲げるJ・Cであるから、水の流れが如く、躡てその眼が私共の施設に注がれ、その恵沢が遍く浸潤し、児童福祉の向上に一段と役立ってきたことは当然といえる。

但しこの当然と思われることが仲々実行できない。良いと知り、やりたいと考えても、実行力と積極性がなければ実を結ばないものである。ところが流石はJ・C、理事長を中心に糸乱れない統制の下、会員よく團結され、自らの手で、どしどし活動される。それが綱領に謳う勇氣と情熱の現れであり、若さと気合と考えるそして社会に何物かをもたらす、裨益しようとする心意気がまざまざと伺われ美しい極みである。

私は二年足らずの在職期間でその一端に過ぎないが、この間私共の施設にどのように愛情の手をさしのでべられたかを、やや具体的に綴り大方の披露すると共に、その実績を称え、感謝の言葉に代えたいと思う。

即ち定期的な行事として春の招待大運動会がある。これは五月晴の一日、鳥取大砂丘に、遠く青谷学園を始め東部地区全施設児童が招かれ

楽しい運動会が開かれる。

集まる児童約三百名、各種目毎にワンサの声援がはじまり、沢山の賞品をいただき、車で送迎をうける。

続いて夏の炎天下、軟式野球試合が行われる。これは大人の面目もあってか、おじさん達もいと真剣、最後までシューゲームを演ずることが多く、試合後一年分のボールや、バットをいただく。

又歳末その時期になるとサンタクロースのおじさん達がお土産を満載して学園までおみえになる。そして子供達一同と玄関でカメラにおさまってお別れを惜しむのである。

次に臨時的なものとして教育的見地から、有益な社会見学に案内される。その主なものをあげると、大笹津にある航空自衛隊機に塔乗、或は津山J・Cとの子供交歓会に招待等であるが、何れもその思い出は子供達の脳裡深く刻まれ、今なお幾多の語り草となっている。

このほか学園の三大行事である、ひな祭、子供の日、クリスマス感謝祭には、学園としてJ・Cのおじさん達をお招きして平素の御厚意に感謝するが、この日はお客様も童心にかえり、一緒になって歌って踊り、時に友人はだしの熱演をみせていただき陶酔することもあって、実に素晴らしい一日である。

このように子供達にとってJ・Cのおじさん達ではなくてはならない存在である。従って最近ではお互内部事情にもよく通じ、〇〇のおじさんは踊りが上手、〇〇のおじさんはピンポンが下



手、〇〇のおじさんは三振王だなんて酷評もする。一方J・C内であっても、あの子供には高いボールを警戒せよ、左隅が穴だとか、よく研究されており、又積善学園の校長先生というニックネームのおじさんいられる由、洵に頗笑ましい話もきく。

兎角収容児童は、知識の吸入弁である視聴覚に宿命の障害を有するため、知能は低く、常識に乏しく、社会性の欠如も亦大である。従って施設としては、勉めて社会の事象に接触さす機会を広く求めており、就中地域社会の暖かい理解と協力を仰ぐことにより、児童が陰に陽に受ける感化を期待し、社会性の涵養と向上に資している次第である。

この意味において、学園としてはJ・Cの皆様始め、ともしび会、日赤学生奉仕団等広く社会の不断の御支援、御協力により前記の効果を念願するものであるが、ここにJ・Cが発足五周年を迎えられるに当り、今後更に力を結集せられ、所期の目的を達成されるようお願いすると共に、旧に倍して児童福祉のため力をいたされんことをお祈りして感謝の辞とする。



## 五周年記念誌に

## 寄せて



鳥取市立白兎  
学園長

岡村六蔵

鳥取青年会議所が創設されて五カ年、その間年々事業活動が隆盛となり、ますます組織機構が強固となり、加えて近代的感覚のセンスにに優秀な役員メンバーにより、充実した事業の完遂がなされ、鳥取地域を中心とした活発な活動を展開されている現況は、まことに慶びに堪えないところで、県内外各界関係者のひとしく、深い信頼と敬意と感謝をもって注目され、羨望の的とされているところである。文化、教育、産業、広報等が各部門での活躍振りもさることながら、特に学園と関連深い社会福祉部門については、たまたま白兎学園の創立が会議所の開設と時を同じくし、結核児の療養と教育の重要性が、全国的に叫ばれている時、中国地区では鳥取が他県に卒先して白兎学園の施設が鳥取市を中心として東部地区各町村関係者の理解ある

協力と努力によって認められるや、いち早く青年会議所の着目するところとなり、時の理事長を始め各役員諸氏の好意を得て、社会福祉部の事業にとり上げられた、その後現在まで連年にわたり、学園児の遠足、納涼花火大会、クリスマス等の重要行事を一手に引き受けて、盛大に開催して頂いている。

老大な経費捻出も容易なものではないが、それにもまして、各事業場、商店の季節的な繁期をもさいて、多数の会員諸氏が社会福祉委員を中心として、終日献身的に一致協力しての崇高な奉仕姿には、只々感激の外はない。毎年引き続いて開催される壮挙には学園児はもとより、保護者関係当局の深く感ずるところとなり、昨年、鳥取市教育長、鳥取療養所長、白兎学園後援会長名をもって、感謝状を贈呈し、謹んで深甚の謝意を表した次第である。

療養に励む学園児等の一生涯の極めて深い印象と感激は、斗病生活の励みの糧となり、医療と併せて健康回復に最も効果のある精神的慰料となったことと確信している。

改めて私からも青年会議所諸氏に対し厚く感謝します。

希くば将来名実ともにいよいよ充実された御活躍を期待し、文化、産業発展の先駆者となられんことを祈ってやまない。

## 鳥取JC五周年を

祝して



鳥取子供学園長

藤野 武夫

鳥取青年会議所五周年記念誌御刊行に当たり、心からお喜びのことはを申しあげますとともに、会員の皆様の専い御業績に対して、満腔の感謝と敬意とを捧げるものでございます。

皆様は社会の悪に染まぬ青年の純粹さを持ち続けられ、英知と勇気と清熱とを以て、この五年の歳月を、明るく豊かな社会の建設へ努力されることを惜しまれませんでした。御家族ぐるみのうるわしきフレンドシップで結ばれた皆様は、謙虚に自らを鍛えられ、その実践においては、地方文化向上の礎の役割りを果たされました。なお会員皆様一丸となって社会奉仕に献身され、福祉増進に寄与されたことは、誠に感謝の極みと存じております。私は皆様から御奉仕を受けた鳥取市東部地区社会福祉施設の鳥取子ども学園長として、過去数年に亘り、屢々皆様と交わりを重ねて参りました。

毎年、春になると、我が園の子ども達は同地区施設のことでも達と一緒に、憧れの鳥取砂丘へ御案内を受けています。子ども達はこの日を忘れず、楽しい年中行事として待ちわびるようになります。皆様の用意周到な御計画により、バスで学園前にお迎えを受け、胸ふくくる思い

で出かけると、砂丘では、もう、目や耳の不自由な子も、親の無い子も、皆その暗い心をかなぐりすてて、皆様の愛に包まれながら、大らかな大地のもとで夢中になって遊ぶのです。愉快なプログラムで運動会の開かれることが例になりましたが、子らを取り巻く会員の皆様も私も施設の職員も、ひぬもす童心にかえて、実に楽しいひとときを過ごさせて頂きました。子ども達には抱えきれぬほどのお菓子や賞品が与えられ、全く心身ともに満ち足りた状態であることが、私も職員の間にもはっきりわかり、感謝の念をひとしお深くしたのでした。何等酬いを望んでおられぬ皆様の御愛情と御奉仕は、恵まれぬ子ども達の心を大きく伸ばし、周囲をも清め明るくし、力づけるどころ大なるものがありました。

又、市民ホール建設のために、或いは恒例の少年野球大会のために、その他数々のためになされた御奉仕には、市民の一員としても深く感謝申し上げないではいられないと思います。

この上は、皆様の御健闘を心からお祈り致し、将来の御発展と飛躍を切望致すものでございます。

## 通園施設成長の

かげに



若草学園園長

三橋 道子

若草学園が開設されたのは一昨年四月、当時全国に四十余施設しかないと云われた数少い精神薄弱児通園施設として閑静な湖山池に面し恵まれた環境の中に誕生致しました。現在二十五名(定員三〇名)の園児が毎日嬉々として通園バスにゆられ通園を楽しんで居りますが、この子達の明るい笑顔を見るにつけ今更乍ら恵まれないこの子達に段々と愛の手が差しのべられるようになってきた事を心から喜んでゐるものがございます。

学園も今年で三年目を迎えたところですが、この二年間に、設備内容の整備は開設当初思ひもよらなかつた成長ぶりを示してくれました。この成長の蔭には市当局を始め各方面よりの御支援もさる事ながら鳥取青年会議所の当園によせられた物心両面にわたる御厚志の数々は、大きな力とも支えともなつて、ともすればたゆみ

勝ちな私達を強く励まして下さった賜物と信じます。

始めて子供達の発表会を計画はしたものの開設当初の事とて舞台設備もなく困っていた処思もよらぬ素晴らしい舞台幕を寄贈して頂き生れて始めて舞台上で演出する子供達を見て感激で胸一杯の発表会ができた事、又通園バスに車体専用の電池時計を取りつけて戴き時間読みがめき／＼上達、先生も子供もはづむ心で日々の訓練に勤しむ等何時までも忘れる事の出来ない感激です。

又子供の日とかクリスマスプレゼント、そして今では年中行事として行っている宿泊訓練には、毎年浜崎会長、辻委員さんの慰問を受けお土産に花火を沢山いたゞいて学園でのみ味わえる夜空を彩る夜景に子供たちの心は楽しさで一杯、今ではすっかり顔馴染みとなって青年会議所の叔父さんとは切っても切れない絆で繋がれているようです。

この子供達にとって今では学園に来る事が最上の喜びで幸甚に満たされている様です。然しこの子供たちの前途には幾多の困難な問題が待ち受けて居ります。

どうか今後共この子供達の将来と学園発展の為に一層の御支援と御協力をいただきますよう感謝のことばと共に心からお願いを申し上げます。

## 御祝のことば



鳥取市社会福祉協議会 会長  
村上 善市

鳥取青年会議所が発足以来ここに五周年を迎えられたことをまず以て御喜び申しあげると共に、新しい世代の抱負を結集せられ、特に鳥取市の産業革新に寄与せられつゝある御功績に対し、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

特にわが社会福祉協議会の事業の一つとして経営している善意銀行の一番最初の預托者として御活用いただき、其の後も引き続き一番賑々敷く預托していただきますことは記に感謝にたえません

由来善意銀行の目的は、民間奉仕者の自発的な奉仕活動を助長し、ボランティア活動を組織化して、これを大衆化することを目的としていますが、必然的な精神運動を伴いますがゆえに貴所の社会奉仕運動の高揚とその実践活動は、互譲寛容総親和、情緒豊かな明るい鳥取市建設への基盤となり、常にわが社会福祉協議会にとって最もよき伴侶であり、よき共助者として、大いなる力であると言わねばなりません

特に次の世代を担うところの青少年の健全育

成に御配慮していただいていることは敬服の外なく、社会の奉仕活動が究極において青年会議所運動の理念と一致するものであることを喜ばずにはおられません

何卒将来ますますその本領を發揮していただいてわが鳥取市民が互に助けあい励ましあい労わりあって真に明るい住みよい町づくりの指導の一異彩として寄与貢献していただきますようお願いいたしますと共に、敬愛なる鳥取青年会議所のいよいよ御発展と御活躍の程を祈念祝福いたしまして御挨拶いたします。

## 五周年をお祝いして



ともしび会 会長  
石 破 和 子

青年会議所の方々は発足以来のおつきあいです。五年前チャーターナイトの時、千宗興会頭、池田隆政氏御夫妻がみえられ、私も池田御夫妻のお供をして只今の坂尾理事長の御宅へ伺わせて頂いたことを感慨深く思い出します。五年の間、青年会議所の皆様の各方面での澁刺とした御活躍はこの旧い鳥取に清新な息吹を与えて下さいました、私達のともしび会は積善学園

でそして若草学園で皆様とすっかり御馴染になりました。クリスマス、雑祭の会の時、貴男方が歌をおうたいになれば私達は劇を致しました。貴男方がボールゲームをなされば私達はピンポンをして子供達と遊びました。「今年も亦おむすびころくですか」などと口の悪い会員の方からかわれ、私達も「今年はもっといゝのを出しますよ」などとむきになって力んだ事もみな子供達と一緒に楽しい一コマでございます。皆様が本当のお兄さんのように子供達の中にとびこんで下さり皆の嬉々として喜んでいる様子を拝見し子供達の為に感謝の気持ちでいっぱいでございます。いつも皆様の若々しい実行力の前に自分達の非力を反省して居ります。どうか今後ますます鳥取の為そして世の中の幸せのために大きな原動力となつて下さいます事を期待しいよゝの御発展お祈り申し上げます。

## 初代理事長の想い出



金 田 文 夫

光陰矢の如し。五星霜をへた鳥取J.C、た

くましく目ざましい成長、躍進。ふかい郷愁と共に心から欣快の念と懐しさで一杯だ。

五年前の昭和三十四年一月二十五日、地域社会の明日への発展を願い、青春に悔なく、より豊かにと志を同じうする四十七人(当時新鮮な新撰組として賞された)の若人集いて鳥取J.C発足のその感銘深き想い出にひたることは楽しく誇り高い感激も湧いてくる。

名産婆役をつとめられた鈴木木工会議所事務局長始め発起人の諸兄の苦勞も実って。

経済的にも精神的にも後進性の強い当地に修練・奉仕・友愛の三信条にむすばれ、活力にみちた、何事もなし得る可能性の塊りとしての組織体を我々がもつたことに多くの共感と期待をよんで順調にすべり出したJ.C丸。

地味に徐々にではあるが時に勇敢に積み重ねた実績は愛されるJ.Cとして躍進と発展の基礎となっている。私は想う。J.Cは常に躍動し発展している。三信条をバックボーンにして私は鳥取J.Cの育成に微力をつくさしていただいたが、私自身J.Cの友情の広場で大きく育て、いただいて厚く常に感謝している。推されて初代理事長として二期つとめ三年目に浜崎君にバトンをゆずり地区副会長のつとめを無事果たすこともできてOBとなった私である。いささか自我自讃にならねばと恐れるが、その間の事績としては、

一 最初の一年は会員相互の親睦を深め乍ら

チャーターを皆してスクラム組んで立派に挙行した事。

二 例会日を週日制(第二水曜)として、しかも時間励行で昼間にしたこと。これは全国でも珍らしく東京につくもので時の鴨井地協会長より驚異と賞讃の辞をおくられて面目をほどこした次第である。

三 奉仕事業に会員の目をむけたこと。チャーターの記念施設の時計塔を始めとして交通標示板、施設の子供の慰安(積善学園)等事業と共に奉仕の精神を喚起した。

四 J.C綱領の作制に定款委員(一九六〇年)として末席をけがした。これは吾々J.Cマンの理念と祈りをこめてつくられたもので綱領を口ずさむ時、特に感銘深い。

五 中尾・長尾・坂尾君等、あいついで国際会議に参加願ったがこの意義も大きいと思う。以上あげれば多々あるが、その後の鳥取J.Cの発展こそ目ざましいもので、浜崎・山根・坂尾君と相ついで優秀な理事長のもと皆様の若いエネルギーを善用されたJ.C活動に対し深甚の敬意を表するものである。

末筆乍ら日頃公私にわたり賜りました会員諸兄の御友情と御指導に対し心からお礼申し上げますと共に、我が愛する鳥取J.Cの限りなき発展と皆様の御多幸をお祈りさせていただきます。

## ——メンバーの欄—— 順不同

主として「私」というテーマでお願いしました。

### J C 歴と云うこと



副理事長

三宅金延

鳥取JCも早や五周年ともなるとあの人はチャーターメンバーだからこうだとかあの人は一年生だからこうだとかJC生活の長短によって色々な物の見方が生れて来る場合が案外多いのではなからうか。私もチャーターメンバーと云う理由?で今年副理事長と云う大役をおこせつかった様に思うがどんなものだろう。

過去鳥取JCの歩みはJCとは何物なのか皆目わからぬまゝに発足したものと歴代の理事長の進歩的な行動力と日本JCの正しい方向づけにより僅か五年の間に中国地区は勿論、日本JCに於ても優秀JCとしての評価を得るまでに成長したと自負している

過去五年間私がチャーターメンバーとして感じることは一見順風満帆のごとく成長して来た

鳥取JCもJCとしての方向づけローカルJCとしてのあり方等にあらゆる面で検討が加えられ、皆で考え皆で行動し亦金田君を中国地区協議会副会長に送り、浜崎君を山陰初の地区協議会々長に送り、広い視野でのJCの本質を身をもって体験し、それをローカルとしての鳥取JCの活動に具現することにより大きく成長し発足当時の商工会議所のジュニャー版的認識を脱しJC本来の姿として一般の認識評価を受けつゝあるのが今日の鳥取JCの姿ではないだろうか

この様な基礎の上にむかえる五周年に当り私はこの一年間副理事長として色々な委員会活動に参加して感じたことはJC歴五年の私とJC歴一年のA君B君……と比べた場合JCライクと云う点については私よりむしろ進んだ考え方を持っていることだ。私が接するメンバーの中でもJC歴の長い人達よりも新人と呼ばれる人達と接することにより教えられることが如何に多いことか……

本年度小谷会頭が云われた「創始の精神に「えれ」と云う言葉が今更ながら痛感される次第ですJC意識について五年生も一年生もなくなくなった現在五周年の記念行事を契機として改めて

一年生として皆同じスタート台に立って鳥取JC発展のために進むようではありませんか、より高い次元に発展する鳥取JCの発足の日としての五周年……

この日にメンバーが同じ一年生として一線にせい揃いする時鳥取JCの発展は約束されることでしょう

### 嫡出子



副理事長

中尾喬一

職業柄しゃべる方は、大分苦にならなくなつたが、どうもペンの方は苦手である。小学校の頃から作文に甲をもらつたことは一度もなく、苦手の学科の一つであった。どうも文法と漢字に弱い。そのためつい筆不精になつてしまひ学生時代には親に心配かけたものであった。「金送つても返事はなし、元氣だ、おやじママなカ位は書けるだろう。親の身にもなつてみい」とよく小言をいわれ、それ以後、電報を愛用したものであった。

戦後、やれ当用漢字だ、新仮名づかいだとなまたまややくしいことになつてしまつた。お蔭でペンを取るのが億劫になり、そう／＼今度も国際広報委員会の人々に大へんご迷惑をかける

ことになってしまった。

## 閑話 休題

つれづれなるまゝに、ワイフ曰く、「お寿司屋によく魚ヘンの字ばかり書いてあるのを見かけたことがあるでしょう、一体何字位読めますか？」と。こっちはワイフを酒の上機嫌のときに、苦手の漢字の話をもちかけられ、一寸しゃくにさわった。ここで話を合せないと男の面子にこと欠くので、「ああ、あるよ。位は読めるだろう」といったら、「どうでしょう、読めれば貴方としては上出来よ。マユツバものね。」と早速、くらしの手帳<sup>ヲ</sup>を取出して亭主のテストをやりおった。案の定、<sup>オ</sup>も読めない。ワイフの方はカン(?)を働かせて、すらすらと読んでゆく。しかも最後の科白がふるっている。「酒ばかり飲まないで、たまにはお寿司屋さんで漢字の勉強でもしなさいよ」と。とんだところでお説教。くわばらくわばら……

誤字にはときどきはほえましいのがある。民法第七七二条に「妻が婚姻中懐胎した子は夫の子と推定する」という嫡出(テキシユツ)の推定規定がある。ところで、嫡出子に関する問題をだすと、きまって傑作の答案が多い。本人はよく理解しているらしいが、漢字にひっかかる。曰く適出子、嫡出子、滴出子。考えたものである。適当にできた子、摘み出した子、いやはや滴よりいづる子ときた。まさしく出生の壺をついた名回答である。採点に疲れた頭には一服の清涼剤である。採点もまた楽しからずや。先生みょう利につきる。

## 私とJ C



直前理事長

山根幸男

鳥取J Cも創立五周年を迎え、益々内容の充実を見て来た事は会員諸兄と共に御同慶の至りである。

五周年記念誌の発行で原稿の提出を義務付けられ頭を悩ます

然し乍ら日頃多忙にまぎれて兎角自分自身を見つめる事の無い今日此の頃、考えて見ると大変良い企画だと思ふ。

何を書いて良いのやら戸惑い乍ら此の世に生をうけて三十七年間歩んで来た道を思い出して見る事にする

現在は鳥取市に編入されたが、元の気高郡東郷村で農家の三男として呱呱の声を上げたのが私の人生の始まりである。

青春時代は甲子園の近く鳴尾に於て、かねの茶碗に竹の箸で粗食に甘じ乍ら昼は海軍用の戦闘機を作り夜は毎夜の様に空襲を受けて焼夷弾の雨と降る中で阪神国道を走り廻ったのも遠い夢となった

戦後は実家に落付き、しばし徒食し乍ら終戦の傷を癒す為華道を修業したのも一つの思い出

だ(女性に囲まれ乍ら花とにらめっこするのも又楽しいものですぞ)

其の後五年ばかりの役所勤めの後昭和二十五年に地球上の全女性に見切りを付け現在の愛妻と結婚し山根の姓を名乗る様になったが、此の頃から私の人生も方向を変えて養父の事業を手伝う様になり随分苦勞もしたが今となっては良い経験だったと思つている。

当時は市内の地理にも疎く友人関係も少なかったがJ C創立と共に会員となり多くの友人を得た事は限りない喜びである。

創立当時は会員数四十七名で新聞でも市内財界の二世達が娯楽倶楽部を作つた程度の見方でJ Cに対する理解が薄かつたもつともJ Cの発展過程として毎夜の様に良く飲み歩いて友情を深め合つた事も事実であり、為に会員諸兄の御夫人方にご不満も有り色々批判もあつた様に思ふ。

此の様なトレーニングのお蔭で私の酒量も上昇線をたどつて来たがあまり自慢にはならぬ。昨年理事長を受けた時も家族会のたびにご夫人方に対し二次会はやりませんと訴えて来たが其のご本人が卒先しての脱線延着で絶えずダイヤが混乱しご夫人方に迷惑を掛けたのではないかと反省して居る。

創立当時のJ Cに対する市民の見方も今では大きく変わり親しまれ愛されるJ Cに発展した事は大きな喜びであると共に今後責任の重大なるを痛感する年輪と共に社会生活の面、事業の面共に責任分野は大きくなりつつあるがJ Cの良

さは理論ではなく先ず肌で感じ取るものだと教えられ諸兄の友情に支えられ乍ら私なりに一生懸命歩んで来た。

五年間は私の人生に大きな力を与えてくれた五年の歴史の上に立って今後益々発展を続けるであろう敬愛する鳥取J.Cと共に残されたJ.C生活を大いにハッスルして有意義に過したいものと願って居る。

## チームワーク



直前会長  
浜崎芳宏

おはずかしい話ですが、鳥取には、市民のための公会堂なるものがありません。

同じ山陰でも、倉吉市には千名以上収容の福祉会館が、米子には先般の中国地区会員大会でおなじみの公会堂があり、松江も然り、出雲についてはこれ又、立派な体育館兼公会堂が最近出来あがりました。

五年目を迎えた鳥取J.Cでは、五周年記念実行委員会を特に設けて、小生その委員長の重責をおこせつかり、その一つの事業として、市民ホール建設促進方を提唱することになりました

幸い市当局にも、その公会堂建設の調査費を計上され、市民の建設ムードも出て参りましたので、タイミングよろしく、この六月に市民ホール建設助成公演を企画致しました。

たまたま、京都くるみ座が山陰地区公演のスケジュールがあり、内容も鳥取藩を扱った「つづみの女」で内容は姦通ものではが初心貫遂とチャレて、鳥取公演を受け、この六月五日に公演を決定、全会員の協力を求めました。

これは利益金を市民ホール建設資金として市に寄附するもので、ソロバンは簡単にハジケました。前売券の発売については、多少危惧の念が去らぬまゝ強行致しました。

然しながら、J.Cメンバーの若さと情熱により、この前売券の発売も順調に伸び、又、各関係団体も、私達の意図に賛同戴き予定通りの額を市に寄附することができ市民ホール建設のムードを盛りあげたことに成功致しました。

いたづらに、卓上の理論にはしり、実行のものなわなない。昨今、吾が鳥取J.Cについては、一度決定した事項については全会員が全力を傾けて努力し、チームワークの良さにつくづく頭のさがる思いが致しました。

吾々若き年代は、まず、実行力を養うことに専心、その後静かに反省するとう態度で諸問題に対処することが、いかに貴重な事であるかを痛感した次第です。

前売券の発売から、当日の会場作り、補助椅子運びまで、全会員が休を使ってやりとげた市民ホール建設助成公演の後には、まだまだ問題

が残っております。私たちは、皆様に誇れる公会堂作りのため、最後まで努力することをお約束致します。

## OB会員になつて



寺沢俊雄

どこかの世界では、四十、五十は鼻垂れ小僧だといわれ、人生これからが花だと大いに張切っているのに、もう卒業などとは殺生きわまる、愚痴のひとつも云いたくなるような気持、私はそれほどJ.Cに強い未練をのこして退会した。

実際私の場合、入会以来一年二カ月、公務出張以外は必ず例会には出席したが、ただそれだけで、会計の方を担当したとはいえず、J.C活動として自ら語る何ものももっていない。私の未練の大きいのも、実はこの何の奉仕活動もしなかつたことにたいする、拭うことのできぬ自責の念によるものである。

会員となつて私の得たものはまことに大きかつた。第一に未知の鳥取市に赴任して早々に、一時に六十人からの多くの心情を得た。J.Cの

仲間はだれも惜しみなく私に教えて聞かせ、語ってくれた。私の処生上得た教訓も甚だ多い最後の送別会は結婚式以来夫婦で味わったことのない最初の感動的なものであった。しかし私がJ.Cに残したものは何もない。不徳を恥ずばかりである。

鳥取J.C五周年、それは決して一年の五倍ではなく、また一年を五回積み重ねたものでない。二年目は最初の年よりも大きく、三年目は二年目よりも更に充実して、年を追って強化発展しつつ明るい豊かな社会づくりに大きく貢献しているのである。歴代の役員諸氏のリーダーシップの素晴らしさと、会員諸氏の一糸案れぬ協力と実践力は、まさに驚威というほかない。

現役時代の不敏を恥じながら、奉仕、修練、友情の信条に生くべく、O.B会員の末席をけがして、手習いをつづけていきたいものと念ずるものである。



近藤 弘 司

我が敬愛する鳥取J.Cの会員諸兄創立五周年

## O.B会員となって

記念お喜び申し上げます。

私も鳥取J.C設立より昨年卒業迄J.Cのスロ―ガーである「奉仕、修練、友情」の原則を基調として自主的立場から最も正しい良識ある青年を理想に歩んで来ましたが振り返って見ると自己修練の不足から十分の仕事が出来なかつた事と思つて居ります。

思い起こせば昭和三十四年九月十九日鳥取J.C認承伝達式を日本J.C千宗興会頭、池田隆政厚子夫妻をはじめ全国三十J.Cの参加を見たこの感激は私の一生忘れる事の出来ない記念すべき日でありました。

第一回の吉岡にてソフトボール大会の時鎌田君と痛飲しながら語り合つた事は良き思い出となつて居ります。

昭和三十五年度社会福祉事業として亀井君の協力をえて交通事故表示板を駅前設置致しましたが今はどうなつて居るでしょうか。

岡山県営球場にて中国野球大会が開かれ鳥取県代表として参加、米沢君をはじめ各メンバーの健闘むなしく優勝は出来なかつたが岡山女性の声援は今も耳に残つて居ります。又津山J.Cとの子供交歓会を加露海岸にて行いましたが陸の王者鎌田君も海には少し弱かつたようです。

例年のクリスマスパーティーに各委員会それぞれ屋台を出し浜崎君、池内君、私と三人でバーを開業「渚」のマダムとカクテルを造り御婦人の方に飲んで頂きましたが、悪友曰く「コンチャンこれはちょっといける」と多に飲んだものです。春の家族会に梶田君自慢の「ジンギ

スカンナベ」は我々会員の明日のエネルギーのもとになつた事と思ひます。

又鳥取市少年野球大会、アクロンJ.Cとの児童画交換展覧会、石黒君の努力により第一産業を語る放送討論会と多彩な事業は各委員会の基礎が大きく盛り上り昭和三十八年度には鳥取J.Cより中国地区会長に浜崎君を選出するに至つた事はJ.Cの若さと力を發揮した結果であると信じます。

終りに臨み日頃の御友情と御指導に對し心から御礼申し上げますと共に鳥取J.Cの益々御発展をお祈りする次第です。

## 青年会議所を去る 年にあたり



土 家 巖

人生は夢の如く、此の間迄三十歳台の若さを誇りに感じ、事業家としての夢を託して自動車界の発展と普及のために努力して参りましたが、青年会議所を退会する満四十歳ともなるといささか人生を反省し、又将来の計画を樹てる



事について慎重になり、しかも確実性の有る計画をたてる事に細心の注意を払い三十台の時の様に只情熱で働きさえすれば良いと云う様な安易な気持は持たなくなつて来た事は自分でも不思議な位で御座居ます。

人生は四〇歳からと世の人の云う事が今少し判りかけてきたように思われます。自分の力と将来十年位先の事が頭の中に去来し、一種の空想とその実現にどの様な手段を講じたらよいか汽車の旅などに出て、ふと車中で考える様になり再び繰り返すことの出来ない人生の最も貴重な十年間を、真剣に考えさせられる今日此の頃で御座居ます。幸いにして青年会議所に入会し有識者の皆様方と長年に渡り交際をさせて頂き多くの良き友を得、そして若き実業家が地域社会の発展の為にどの様な物の考え方で事に対して居られるか、又その実現のためにどの様に努力されておられるか共に身を以って体験させて頂き、将来社会人として生活する事の基本を身につける事が出来又、自らを向上させるために多くの人の知識を学ぶ事が出来ました。私にとって此の四年間の間に大きく、人の世に対する物の考え方を變えさせてくれました事は金銭に換えられぬ収穫でありました。

余す事僅かに四カ月静かに反省しそして会員の皆様に心から感謝しつつ退会の日を待ちたい私の現在の心境で御座居ます。五周年誌発刊の言葉にはいささかふさわしくないと思いましたが、現在の心境を述べさせて頂き御許し願いたいと思ひます。

## J C 雑感



西尾昌之助

今年の八月は何かと行事の多い月でした。……浜村での家族会、少年野球大会、大山でのブロック夏期セミナー等は……特に私にとっては大山での夏期セミナーは主催者という立場で何かと気がかりの多い事でしたが、終つて見てブロックとしての行事は、結局出ている委員長の地元の委員会の方々の協力なくして出来がたい様なむづかしい事だという事、又他のJ Cの中にはこれが「Cham」か……となさげなく思う様な人を見るにつけ何んと鳥取J Cの面々のまとまりの良さと言いますか……そういった事をつくづく感じた様な次第です。

少年野球でも何か一つの大きな事業をやるにつけてその渦中の中であつた仕事をして多少でも苦労して見て、その仕事の終わった後でなんとなくJ C活動の良さといった様な物を感じ特に鳥取J Cのメンバーの良さを感じた事でした。来年度は理事長といった様な大任をおおせつかつて前途まったく責任の重さで肩が地面につく思いがする様な現在ですが皆様の良き御指導を得て大きな誤りもなく任を終えたいものと

考えている次第です。

## 雑感



森下春子  
(森下夫人)

一日の仕事から開放され、庭で鳴く虫の声を聞いていると、大変心が休まり、爽やかな秋の訪れを感じさせられます。夕涼みしながら、いろいろな話題に花が咲いている時は、「ほんとに、J C……って付き合いが良過ぎる……」と誰かの言葉をきっかけに、J C批判が始まりました。「J Cも、二次会三次会があるうちはどうもね……と」仲々手厳しいです。(これはほんの一部の人だけでも知れませんが……)

私は、不勉強でJ Cの意義とか活動等については解りませんが、時々家族会に出席させて頂いて居ります中に、なんとなくその気風の様な物が解りかけて来た感じでした。会員の方は、皆紳士的で、よい集いに加わらせて頂いたと思ひます。J Cの存在……それは、今や世界的な若い活動の場として、大きく、意義を認められている様です。しかし、その紳士的な集いは、何処迄でしょうか。本当にJ C気風が身に付け

ば、最後までスマートになるものと思います。

又公共への贈物(時計、ブランコ……等)も大変喜ばれている事の一つですが、何時迄も手を掛けて可愛がってあげてこそ、J.C.の業績も一層輝くものと思います。

夕涼みでのJ.C.の話題から思い付いた事を大変おこがましい様ですが申述べさせて頂きました。J.C.家族の一員として今後益々J.C.の発展を祈って止みません。



野口 八郎

私は三十九年度後期、当会議所に入会させて頂きました事から先輩諸兄の皆さまに感謝致します。

私は鳥取に参りまして、二年半ばかりになります。私が当時の印象と当会議所に入会させて頂きました今日とは大分違った考え、即ち当

市にも若き力の潜在力というものがあるといふ事がひしひしと感じて参りました。

この若き力の総力を結集致しまして鳥取の発展に進まんとする当会議所の一員と致しまして働かせていただきます。

## 雑感



玉木 久夫

吾が鳥取J.C.も今年で五周年を迎え益々発展の道を歩んで居ります事はまことに御同慶にたえません。過去五年間をふりかえって見てチャーターナイトのあの感激を初めとして、各事業にまつわる数々の思い出が今更の様に思い起こされますが、私自身今迄J.C.とは如何にあるべきかと言った事についてあまり考えもしないで唯夢中に参加して来た様に思います。

最近になってJ.C.の修練、奉仕、友情の三大信条の真隨が幾分か理解出来かけて来た様になります。幸い、私にとってまだ卒業までに七年の年月が残されていますが恐らく私の一生にと

ってこのJ.C.時代ほど過去、未来を通じて友情にあふれ有意義な一時代はなからうとの感を今更ながら深めて居り、残された期間についてはあらゆる機会を通じて広く同志と交わり、自己修練と明るい社会建設に一層の努力をしたいと念願して居ります。

J.C.活動は云うまでもなくリーダーシップ・トレーニングがその基調であると思ひ得ると思ひます。私自身入会当初は討議研究の場と云う面を主体に考えていたのでありますが、勿論討議、研究により論理を極めて行く事は必要ではありませんが、J.C.活動における修練とはこの段階だけに止まらず青年としてのビジョンを画きためらわずこれをやってみる、即ち実行して行く所にリーダーシップ・トレーニングの本質があるのではないかという様に思います。J.C.が良いたと思つた事をアクティブに実行に移し、その活動そのものを通じて友情を深め又行動する中で人間形成、各自の能力開発を促進して行く事こそJ.C.ライクな修練であろうと思ひます。唯この行動がひとりよがりにならない様常に謙虚に反省しつつ綱領に言う青年としての英知と勇氣と情熱をもって地域社会ひいては国家につくすと云う目的に向つて進められて行くところにこそ真のリーダーシップが涵養され、真の友情が生まれて来ると感ずる次第です。

## 將軍書下し



安部 誠 吉

J C 発足以来今日目出度く五周年を迎えるにあたり、私は人材発掘という点で初代理事長より今日迄みて来たが、私はこの信長と秀吉、家康の三英傑を語るとき彼等は決して個々の三人の武将ではなく、その目的を一つにした「鳥取 J C 統一株式会社」の信長は初代、秀吉は二代家康は三代目の社長今日の社長は六代目となり「徳川時代とすれば現在の社長は四代目將軍である」と冗談的に話を進めさせて戴く。とにかく三人の目的は応仁の乱以来百十数年にわたって戦の続いた史上稀有の乱世をどうして平和な統一国家にするかにかかっていた。その証拠にこの三人は決して本気で争ってはいない。信長の時代には秀吉も家康も左右からこれを助け。秀吉の時代には家康が、「……あなたにはもう武器は執らせない」といつてきわめて自然、三代目にそして実力を発揮し徳川三百年の基礎をきづいたのだ。

したがって信長の苦勞は創業、秀吉の苦勞は發展、家康の苦勞は完成にあつたと思う、このうち誰が欠けてもあの国造りは成し得なかつた

に違いない。

初代二代理事長の創業發展の功績は多大なものであり、三代目家康が完成に全力をつくし四代目と続き、多数の優秀なる人材を育成し、その武將を将来の將軍候補として今日にきたらしめ対外的にも「此に鳥取 J C・K・K あり」と広めた事は、その功績たるや讚美してやまない。

五代目社長（徳川三代將軍）の才略はなかなかみごとなもので、育成されし武將共は將軍のスローガン「ラクナシセイデイクウ」の一発言におどろかされ逆に武將共は自主的に活動せねばならない立場におかれた。

今日六代目社長に至り五周年を迎え、武將ならぬ重役共、並びに幹部、社員一同、安心感からか、慢性的なダレが表われ始めて来た。一部の人が一兵卒の如くこつこつと活動しているにすぎない。これでは名將軍もやりきれないだろう。会社設立当時の社員総員数からすれば奉仕する人は一部の人で他の二級社員？いや二級重役共は錢にならんとする。將軍を名將軍あらしめんとするには各々武將がそれを助け、武將が名武將あらしめんとするには各々武士が陸の力となり助けるべきである。

しかるにひとたび戦争？「少年野球とか各々委員活動」になると君子危うきに近よらず？の精神か、ひとごとの如く我れ関せずの武將、武士が多い事はなげかわしい。

以上歴代將軍を書きおろしたが、問題は將軍一人出来るより名武將、名武士が数多く出来る

様希望してやまない。

## 職務分掌と J C



亀井 康 孝

チャーター以来本年で六年目、J C に入会して各業種の人達と話し合う機会が出来た事は、今後の人生に非常に多くの収穫を得たと感謝する者の一人です。

一般の会合の場合はその業績のみの会合が多くて、腹をわって腹藏無く相談するような事は殆んど無いといつていいくらいです。

又 J C 活動におけるリーダーシップ、修練、その他数多くの学び得た教えを今後の仕事の上に大いに表現、活用するよう努力せねばならない。

一昨年だと思つたが長尾君が L T の委員長の時より組織の問題をあげ、年度始めより委員会の年中行事を各会員に割当て、それを実行するよう実施した。それ迄は大部分の各委員長が陣頭指揮で一年中忙しくしたものだ。

此の一つの事でも各会員の会社、工場に利用され実施されればその会社も一段と繁栄するで

あろう。然し此の組織の問題、権限を与え、責任を持たず事は必ず行わねばならぬ問題なのだが、簡単なようで大変むつかしい問題である。此のような堅い問題、堅い会合には歴代の会員委員会で行われた家族会、バーベキュー、大山の紅葉がり、鮎釣り、クリスマスパーティー……本年安部委員長の時には浜村で海水浴、貝飯、鯛網と家族一同皆が楽しめる行事を盛沢山行われ、より一層JC活動に力が入る原動力を作られた。

此の原動力を持ってJC活動をやるのだが、飽迄も我々JCの集いは大きな目標をもって集っている、従って各事業場でもそうであるように、和の精神を中心に今後の発展を築かねばならない、それが鳥合の衆でワアーワアー云う和でなく、本当の意味の良い和であるようにお互に努力しよう。

## GOLF



北村 勝 美

去る五年前のチャーターナイト当日北村はゴルフの係をやれということでお世話をした事が

ありますが、その当時ゴルフを始めて三年位だと記憶しております。

その頃鳥取JCでクラブに入会していた人は浜崎芳宏、森下耀雄、中尾喬一OBの金田文夫の諸君と私位で鳥取JCは当日も出席者（出場者）が余りなく、前日の疲れから私はビリというありさまでした、当日は一昨年中国地区会長の大之木、米子の坂口、内田諸君その他大阪、堺、下関、姫路等から参加あり二十名ばかり砂丘ゴルフを楽しむその頃は珍しかったバーベキューをやり、帰りにある料亭より二次会をやったのですがニンニクの匂いで大変女の人にきらわれた事があります、又米子ゴルフ場がまだ三柳といっていた頃中尾君とゴルフに行きやはりビリになった事があります、JCのゴルフの想い出は以上なのですが、ゴルフと私の人生は切っても切れないものがあり、又ゴルフによって得た事も数知れないものがあります。

ところでこういう事を思います鳥取のゴルフ場は現在九ホールでプレーに要する時間は約二時間かかり上り坂あり下り坂あり平地ありで知らず／＼の中に二キロばかり歩いてはいるわけですが、その中に失敗あり我ながら快心のショットありOBという大損失ありあかも人間一生そのままちぢめた二時間という事ができます、その間の精神作用これ又微妙なるものがあり、大らかな気持でパット（最後の穴に入れる）すれば五米位のパットが入る事があり、こせこせと気ばかりあせてパットすれば五十センチのパットも入らないということになります、とも

角自分一人がプレーし、スコアをつけ如何にすればよく飛び、よいアプローチができ、よいパットができるか一打一打を考えながら戦ってゆくのです、こうかきますと何かとつきにくいような感じを与えるのですがそんな事は毛頭ありません。

ゴルフウイドウなんて申し自分の奥さんを忘れる程夢中になるものだという事で日曜になればゴルフ暇さえあればゴルフも……でも料理屋やバーに行く回数が少なくなり、健康になり、食べ物がおいしくなり……誠に格好なるスポーツといえます。

明日は試合だという前の晩など子供の遠足と一緒にベットの所で、あのホールはこうせめようかあせめようかと一晩中考えながら知らぬ中にねむっていたというようなもので……これ又まことにチャイルド的なものを多分に含んでおります。

ともあれゴルフによって健康になり、よき友人をつくり、人生を考えればこの上ない最良のスポーツだと思います。

ゴルフは「人生行路の如し」とある雑誌に示るされていきました。去る八月二十六日には鳥取JCじゃがいもクラブ結成コンペが行われ二十名が参加して大盛況でした、現在鳥取JC会員の殆どがゴルフ会員になり又じゃがいもクラブに入会して今後益々発展するものと予想されますゆくゆくは全員の方が入会し和気あいあいとゴルフを楽しむ益々親感の度を深めて頂きたいと思えます。

尙当日高田君が優勝し尾崎君がベストクロス  
でした今後会報などができる限り御報告致し又  
皆さんの特技、特長などを記して各会員方のお  
目を少しでも楽しくする事ができればと思つて  
おります。鳥取青年会議所の人に来てゴルフを  
して頂くとほんとに気持がよい、上手とか腕が  
悪いといひのでなくエチケツトはよいし、言葉  
使いよいしほんとに心からゴルフを楽しんで  
明日への事業の為に健康の為にプレーしている  
……というような印象を覚えるよう願つて止み  
ません。

ある有名なプレーヤーが書いていました、雷が  
おちようが雨がふろうが雪がふろうが、どんな  
障害があろうともプレーを続けるのがゴルフだ  
人生も同じく障害をのりこえてプレーを続ける  
ことだ。

## 尾をひく言葉



小 田 信 夫

私は「此の子は弱くて、とても年頃までも生  
きられんでしよう」、又、「こんな扁食のある  
子は少い。夏休みの臨海学校（当時は小学校四

年以上は一週間でした）には参加してもらつて  
必ず直しましょう」といわれた事をまだよく覚  
えて居ります。共に、小学校五、六年の頃、前  
者は医者が、後者は受持ちの先生が私の母に言  
われた言葉であります。扱、先日、約二十年後  
の高等学校卒業名簿をみた時、私より頑強そう  
であつた友人が数多く不帰の人となつてゐるの  
に驚きました。一体、人間の強い、弱いは何で  
判断するのだろうか。

「此の子は弱くて、すぐ熱をだします」と母  
親が訴えますと、私は俄然反発します。人間が  
弱い、強いはその人が死んだ時に決まるもの  
で、今から決められるものではない。病気を全  
くしなかつた子供でも、一度の病気で死ねば、  
その子供をこそ弱かつたと言ふのであり、常に  
病気をしている子供でも長じて、長寿を全うす  
れば強かつたというのではないでしょう。何  
を基準に弱いというのですかと。又、子供の前  
で「扁食で困つて居ります」という母親には、  
「アメリカ人は魚を殆んど喰べない」これが扁  
食といえますか。扁食とは食品の三大栄養素の  
脂肪、蛋白、含水炭素のうち、どれかが極端に  
少い場合をいうのであつて、日常の食餌ではま  
ず考えられない。野菜が嫌いというのは扁食じ  
やない。果物を喰べて居れば充分ではないでし  
ょうか。煮つめた菜っ葉には何の栄養素がある  
のでしょうか、あるのは灰分と、それを煮た醬  
油の塩分だけです。

何故、寝台車で何回も病院に運ばれた過去が  
或いは親元を離れた小島の臨海学校で、朝、昼

晩、嫌いな魚を、先生の目の前に座らされて、  
目をつむりながら喰べた過去が、私をしてかく  
「虚弱」或は「扁食」といふ言葉に意地になら  
しめるのだろうか。ともかく、今の職業をつづ  
けている限り、此の二つの言葉から逃げ切れら  
れないと私は観念して居ります。

## 月の夜の夢



坂 尾 裕 正

ある秋の宵、書斎の窓辺に、さえざえと月光  
はさし込んで来る。あまりにも美しく澄んだ月  
に心をひかれ見惚れてしまった。蟋蟀は心おき  
なく秋宵曲をかなでている。夜の新涼に浸りた  
く庭をしばらく散歩していると、学生時代によ  
く朗詠した一首を思い出した。「国おもい眠れ  
ざる夜の霜の色月さす窓に見る剣かな」明治維  
新の志士が呻吟するイメージを描きながら朗詠  
した。今日の日本は近年世界に秀れた経済成長  
国として誇り、一見平穩無事のような中、然  
し世界は東西両巨頭の勢力争いのような中に、  
キューバ、ベトナムのあたりで、何時大戦争を  
勃発せしめるかわからない、南北朝鮮もしかり

で、そうなるどころにも飛び火がくるやもしれず、化学戦時代は不安でたまらない。そんなことを考えながら、ふと、鳥取JIC五周年誌のことを思い出した、五年間JIC活動に参加して日頃私なりに描いている夢に筋金を通して、思

いは限りなく脳裡をかすめてゆく、過去も未来も、私は一九六一年十月アメリカの統治地プエルトリコのサンファン市に於て開かれた、第十六回JICコンフワレンスに参加した当時米国のジャーナリズムはキューバのカストロの無謀ぶりを盛んにとりあげていた。一方プエルトリコ島も一部の民族主義者により独立運動のあったことは既報のところ、カリブ海に点在する孤島と米国が対立している時に施行して、いささか不安を感じさせられたのですが、前後九日間のプエルトリコ滞在はどここうりなく会議も終了して、最後の晩日本代表団全員サンファンホテルの一室に集い反省の会を催した。その席上駄作を披露して、皆から拍手を受けたのが、諸国のJICの友と手を握るカリブの海の荒るるなかれと。

サンファンのネオンの街に見し月よJICの友の夢永遠に照らさむ、JICのコンフワレンスをプエルトリコに誘致されたことに意味深かいものがあると思つた。世界五三カ国より約一千名のJICメンバーが集い、十グループに別れ、「(ACC) JICJ会頭(WMC) 総務(IRL) 国際関係(PRC) 広報(EMC) 会員(CAC) 定款(CSC) 社会福祉(EYAC) 教育青少年(LTC) リーダーシップトレーニン

グ(EAC) 経済活動」各所属毎に論議された。

共通に大きくとりあげられた問題点は、お互い諸国との交流を如何に促進をはかるか、又社会の改良計画の実践方法、JICの年々拡大されてる組織の今後の問題点等であった。かかる意味からも共に手を結んで社会に奉仕してゆくとするJIC活動が全世界に拡大されるならば全世界の平和は容易なもののように思われる、JICに未加入の諸国の青年達にJIC活動をPRして、加入を促すよう努力するのもJIC活動の一事業ではないかと考えた。

昨年の日本JICスローガンは「JICの若さで結べ世界は一つ」であるが、これがJICの理想とすれば、近き将来には全世界の津々浦々までもJICが誕生して、JIC活動の展開される日が来ることを祈念して、今後のJIC活動に期待をよせたいのであります。ケネディ大統領の横死は全世界から惜しまれたが、彼の弟ロバート・ケネディ司法長官が今年の一月来日した時、早大の大隈講堂に於て演説した、「兄は米国だけの大統領ではなく、全世界の若い世代の大統領だった。人類を幸福にする為若き世代は手をとって前進しよう」と学生ならびに一般聴衆に呼びかけ、一同に深い感激を与えたと言う記事を読んだ。本当にケネディは若い世代の指導者として尊敬されるべき人物であったと思ふ。

彼ロバート氏は優秀な米国JICメンバーで、先年OBとなつたばかりだと聞く、ケネディ大

統領自身もJIC活動に大きな期待と関心をよせていたことは、第十六回JICコンフワレンスに長いメッセージを贈つて来たのにも伺えた。ケネディの若々しいエネルギーな決断力と勇気をもつた積極的な行動は、米国民から絶大な支持を得て、全世界にニューフロンティアの新風を風靡したのであります。

米国では第二次大戦後、国際的に発言権が恒久的に増大して、内政と外交を切りはなせない立場を繞り、過去長いモノロー主義から立ち上つたのがニューフロンティアのようであり、フロンティアの思想は一八四〇年頃文学者クーパーによつて、アメリカ大陸開拓の先駆者レザーストッキングの物語(道を拓く者、開拓者)から端を発しており、この物語は今日も世界の若い読者に愛好されると云うことであるが、其の後フロンティアのピューリタニズム(自然的諸条件)に対し、ヒューマニズム(社会的諸条件)と思想上の葛藤の歴史を経ており、今世の時流に則すべくニューフロンティアとして誕生したのであります。

ニューフロンティアが新時代に則した開拓の精神とすればJICの今後進むべき道もおのずから拓けると思つた。「新時代を築く若さと指導力」は東京JICの芦沢新二君の作語により、本年の日本JICのスローガンとなつた、吾々JICメンバーは国際的に連る若きエリートグループとしての自覚からも、積極的な親善外交を提唱したいのであります。

昨今では月界ヘレンジャー七号も飛び、正に

人類の頭脳で月世界を征服されようとする時、若さの実行力をもつ J C メンバーの中からこそケネディ大統領に劣らぬ若さをもった、優秀な政治家が全世界の各国に続々出て、近き将来に全世界に J C の国際的連りをもち、世界平和を確立して、あの月の世界でも J C I のコンフワレンスをひらき日本 J C が提案しておる J C I ソングの声高らかと唱われる日を夢みたいものであります。月はすでに天心にあって、いよいよ冴えかえっており、無数の星が澄んだ夢の気層を透かして、またたいていた。

## J C の五年間



辻 敏 治

鳥取に J C が生まれたのは三十四年一月だと思ふ。私は三十二年に鳥取へ落着いたので、日も浅く、西も東もわからなかったし、知人と云える人も極く近所のわづかど、街道の青年会を通じて顔見知りが少々ある程度で、家業の商売に打込んだ生活だった。

街道の推選で J C メンバーへ加えて戴いたことを知り、感謝したものである。J C が何であ

るかもわからぬまま、創立総会へ出席してみると、四十歳迄とは云え髪は薄い方もあり、堂々とした態度で誠に立派に見えた事を覚えておるメンバーは四十七名で当時の日本海新聞には四十七士として報導され、私が最年少であると記されていた。

私とあまり年令が変らないのに、それぞれの事業の中心であり、社会的にも若手の指導者としての理論と実行力、或いは商才を認められておる青年の集りである。この年によってあらゆる人生勉強をやらうと思つた。又巾の広い知人をつくり、仕事のこと、個人的なことで相談出来る友人を持ちたいと考えていた。J C の仲間とが一緒になって、明るい鳥取市に微力をおしまぬ気持であった。

あれから五年。J C は私の期待した以上の団体であった。J C を通じて得た巾の広い知識は経験は、はかり知れないものがある。個人の力ではいくら努力しても不可能な経験も多い。ましてや J C という団体でなくては考えられないような経験もした。J C は、金出し若いもんではなかった。手足を動かし汗を流した。真夏の太陽に焼かれ顔の皮がむける中で、少年の純心さに涙した少年野球。五体完全なことの俸せを知った各施設訪問事業。そして此の人達の良き理解者となり、協力者たらんと努力した。

私達の生活する鳥取市の成長、拡大、発展を考え、文化の向上に微力を注ぎ、明るい豊かな社会を築いて行こうとする方向。内にあつては人事管理、経営の研究、セミナー各界の先輩を

招いての講演、先進企業の視察、話し方の訓練等、浅学な私に多くの内容を与えてくれた。五年間の経験にもとずいて、鳥取 J C は更に前進しようとしている。目的を同じくする仲間と手をつないで、頑張つて行こうと思つている。

## 私と野球



米 沢 安 民

「野球」この言葉をお口にすると、躍動するものを覚えると同時に、緊張感が身を包むのを覚える。

私が野球を始めたのは、戦後間もない昭和二十一年六月、鳥取一中野球部へ籍を置いて以来である。戦後の食糧難、物資の不足、これに合せて体力の貧弱さ、これ等と闘いながら、毎日の猛練習に耐え、又自ら進んで、その練習をやりぬいた甲斐があつて、甲子園へ出場することが出来た。今考えて見ると、あの弱体チームが良く甲子園に出られたものと、我ながら感心させられ今昔の念に耐えない。

学校を卒業して以来、鳥取より一步も出た事のない私にとって、この野球を抜かれたら、無

用の長物が世間にうろついていた事であろう、幸にして家業に専念する迄各職場に於て充分その野球を楽しみ又戦績に於て満足すべきものを残すことができた。(ここ迄がプレーヤーとしての最盛期であった)

さて、職場を二転三転しながら愈々家業に専念する事となったが、当時未だ(既にと書く処かも知れない)二十五歳の身をもって家にもなる事を好まず、さりとてプレーするチームもなく(この頃商売に専心しておれば億の金も積めた事であろうに?)高校野球の審判員として現在に至る迄十余年間、冷静に、公平に、客観的に、批判的に、又温情熱く且つ冷淡に過して来た(三重人格みたい)事を思う時、現在専念している私の存在は、補欠程度にしか思われてならない、J.C入会以来、有能なる人材に接し、新ためて商売の(球の捕り方等)あり方を教わり、ルールを知り、又世間に接する機会を多く得られた事は、私にとって得難い体験だと常に感謝している。

野球で得た人格形成、J.Cで得た対人関係、これに加えて商売上手とくれば鬼に金棒だが、けだし、我ながら商売の下手くそなのには感心させられる。然し乍ら私にはスポーツマンシップがある。見えざる時の苦勞に耐えて来た時の事を思えば、苦しい時、悲しい時も、常に正々堂々の人生を送りたいものと念じてやまない。

## 私の禁制



森 下 耀 雄

諸兄方々多分御存知の筈と思うが、私が社会人として出発以来十余年守り通して来たタブー(禁制)が二つあったその①が、人前に出て喋る事、②が文章を書く事である。その妙な禁制が、J.Cに入って三年目に見事に破られた。と云うのが、例のテーブルスピーチによってである。不幸中の幸にも、指名によるスピーチではなくてピンチヒッターだったから良かった様なもの、前もって話さねばという事であれば私にとって大変な脅威であったろう。今になつて思い出しても「背筋に冷水」ものである。

次に文章を書く事であるが、手取り早い処手紙に例を取って見ても、恐らく年に一、二通出せば上々の方である。(但し年賀状は別として)艱難辛苦の上、下書きに便箋を十五枚、二〇枚を費して、其の上貴重な時間を三、四時間も棒に振って書く様な状況であるから、いっそ郵便を出す位なら、例えそれが大阪又は東京の遠隔な所であっても、自分が一走りしたい様な

心境にもなる。それ程迄も書く事嫌いに、五周年記念行事の一端とは云え、何か書けとは一寸度も過ぎると云うもの、こうして書いて行けば何をオーバーな事をと云われる方が有るかも知れないが、その証明として、私がまだうら若くて縁談はなやかな頃、はばかり乍ら花嫁を撰択するに当って、数々の条件を心密かに抱いて居たが、その条件の一つに本人が在学中、国語が特に優れていて、大変字が上手である事と云う一条があった事である。従って現在の家内はその条件に合っていたか、いなかったかは、諸氏の御想像にお任せする。

所で、話を元に戻して、その第二の禁制も僅か、入会以来五年足らずして、広報委員長辻敏治君に依って、脆くも破られてしまった訳である。以上にして延々十余年守り通して来た禁制を一つならず二つ迄も破られた訳だから、之も何かの因縁と思つて御厄介乍ら宜敷く御世話願いたいと思います。

尚末筆乍ら、皆様、当たらない人には御気の毒であるが、家内の苦情も書き添えますので連帯責任と思つて読んでやって下さい。





## 私



小谷種夫

此頃街で子供達が玩具の戦争道具を持って遊んで居る姿を時々みますと、何か不可思議な感情にかられます。昭和の初めに生れ、傾国の一途をたどって参りました頃に、少年期を送りました私は、戦雲の悪化と共に鉄砲をかついだ中学生となり、学徒動員令が下るや親元遠く軍需工場に動員されて、労働、空腹、実戦の恐怖にやまされ、あげくのはては赤紙拝受と云う暗黒時代、忍従の生活を余儀無くされた私も、かつては血をみない勇ましい面のみの「戦争ごっこ」の経験者であるかと思うと疑惑の念にかられます。戦後十九年、経済の成長の中に当時をふりかえってみますと暗い気持ちにとざされます。そして今日の経済行為の中に、欲望と感情の自由に馴れ流行を意識しすぎ、自己のペースを忘れたがちなむきがある様に思われます。精神的にも肉体的にも耐える事は人間の向上に必要と思えます。

併し過去に経験した忍従ではなく夢を持つ忍耐とでも云いますか、耐える事に依って進歩向上をはかりながら働く事が、悔いなき過去と将来を創造するものと思えます。仕事の面に又二児の親として、家庭教育に如何様に為すか、近く夏を懐想致しながら虫の音と共に諸々連想する現今です。

## 「私」に替えて「交友渉」



森田一郎

自分が自分について語ることは難かしい。人は一人で生きるものではなく何等かの交友関係によって生き、交友関係は自分の性格の一端を表わしていると思うので親友について書いてみよう。僕は昭和二十一年春鳥取一中を卒業し旧制松江高等学校理科二組に入学したのであるが、御存知の様に当時は食糧事情悪く、寮に入ると現在の僕にとっては想像も出来ない程痩せてしまった。とても寮の賄ではやって行けないので、皆が家から米を持って来て、時には寮の天板上を剥がしたりして自炊したものです。同室の四人で現在でも印象に残っているのは当時の島根県知事の甥で誠に女性的な男でダス（ドイツ語で中性を表わす）というニックネームがついていた。その内同組のA君という広島三次

中学出身の紅顔の美少年で秀才の人物と一緒に二年と三年下宿生活を共にした。彼の秀才振りには有名で我々鈍才は数学の時間は最も苦手であったが、彼は中学の時に相当高等数学もやっており、僕は先生が黒板に書くのを写すのがやっとの時、彼は先生が一寸間違えるとそれを指摘し、又、答がもっと綺麗に出せませう等と云って僕達を驚かせたものである。又ノートを早くしかも綺麗に書いているので、後で見せて貰うのに誠に好都合であった。そういうと誠に勉強一本槍の男の様であるが、なかなか軟かいところもあって下宿は松江高女の近くにあったので二階から下を通学する女学生を見てはシャンドとかどうとか云って騒いだものである。又倉田百三は彼の中学の先輩でもあり「愛と認識との出発」等の本も読み二人で大いに議論したのも楽しい思出である。その内旧制最後の大学入試のためお互に猛勉強をやり、初志を貫徹して京大工学部の電気学科に合格し、僕は中途で体の具合悪く九大農学部に入った。卒業最後のコンパの時には皆が酔ったが彼もへべレケになり僕が背負って帰って大変金がいったことも覚えてる。その後彼は京大でも優秀な成績であったが京都の女性にもてのろけを散々聞かされたものであるが、無理がたたったか卒業と同時に胸をやられ二年間の療養生活を送り一時は大変心配させたが、現在は或会社の企画開発室長として健在である。現在にはなかなか会う機会もないが、たまに会えば若い頃の思い出に花を咲かすのである。よい友達は人生の宝だと云う

が特に学生時代の友達は何時までも懐かしいものである。

## 私の座右の銘



中 井 晋

仁に過れば弱くなる。  
義に過れば固くなる。  
礼に過ればへつらいとなる。  
智に過ればうそをつく。  
信に過れば損をする。

気長く心穏かにして方に儉約を用いて、金を備うべし、儉約の仕方は不自由を忍ぶにあり、この世の客に來たと思えば何の苦もなし、朝夕の食事うまからずともほめて、食うべし、元來客の身なれば好嫌は申されまじ、今日の行きおくり、子孫兄弟によく挨拶して娑婆のいとま申すがよし」

私の好きな貞山政宗公の遺訓である。商売の上でも、色々迷い事の多い私に、人生の指針を与えてくれたのはこの遺訓である。座右の銘が出来たら又、安心して、迷い事が多い今日此頃の私である。

私



松 下 弘

私自身厭になるとき、子供等からお父ちゃんと呼ばれたとき何もかもフツ飛んでしまう。小人閑居すれば不善を為すとか所詮小人かなと反省してみたり、JCマンの綱領を朗読するとき前進を期待するのだが、誰かにクサリでつないで貰う私ではある。

扱印刷業と云う職種を選び、一生の仕事として取組まざるを得なくなったが、自分と云う一人の力の限界が四十歳を迎えるこの頃、やっと判りかけた、借金の苦しさを始めて体験することにより、一層しみじみと感じている。JCに入会して、『楽な姿勢』の言葉を、始めて紹介した当時から五年、愈々経営者としての試練を受けることになり、低い姿勢を目下研究中、従業員の家族からも信頼される会社に育てるべく努力致し度、同時に子供等からも、最も近い家内からも点数の下らぬ様行いたいものと感じつつ失礼致します。

私



河 田 博 志

昭和五年に河原町に生れました。四歳の時胃腸を患ったそうです。小学校の頃は、よく学校を休んだ記憶があります。中学校時代は戦争中で緊張していた故か、わりと元気でした。その後肋膜炎そして肺結核を患いました。で学校の方は専門学校を一つ、大学を二つ中退してしましました。三十年頃から、ぼつぼつ家業を手伝い始めました。もっとも病後ですから、その日その時の気分にあわせてやってきました。今でもその習慣が仲々直りません。職業柄か、それ以前の問題かわかりませんが、酒は好きです。但し量は余り頂けません。碁も将棋も麻雀もやりませんが、みな下手です。競馬や競輪にも行って見ましたが、勝った事はありません。車の運転も最近免許証を貰いましたが下手ですから危いものです。鮎釣の釣れない時の根比べなら相当なものです。暑さにはわりと強いですが、寒さにはとても弱いです。

## J C と私



川 島 久

昭和三十六年六月、鳥取市に来てちょうど五年目、私は青年会議所の一人になった。五十人に近い先輩諸兄の前で浮き足だった心をおさえながら「他国者ですがよろしく」と入会のあいさつを結んだようだ。年令の上ではうんと先輩の山野商事の島田さんも同日の入会だった。所属委員会は「修練委員会」、いささかさかそのいかめしい名前にビクつきながらも入会できたことはやはり嬉しかった。

七月になって津山J Cの諸兄が保護施設の小供達と賀露の海にきた、入会初の行事に参加して「青少年委員会」の存在を知り当時の委員長鎌田さんを知った、いやもっと大切なJ Cそのもののあり方を知っていくぶんか学んだ。野球部に「BSS」広谷大兄の口添えで仲間入り、阪神タイガースを想わずユニホームは、ともあれ実力以上の強チームに見え、補欠は覚悟で「アテネスポーツ」高田さんのお世話ですべてを新調した。

八月、第一回少年野球大会。野球部のレギュラーならぬ私も、審判の一人として三日間楽し

くグラウンドにだしていただき、少年達以上に日焼けもし夏休みを善用した。この大会を通じ私には益々「青少年委員会」のフランクなムードが好ましく、来年はぜひこの委員会に加わりたいものと勝手な希望を抱く。こうして次々と続く行事に参加した私は先輩諸兄の育んでいる心暖まる仲間意識と、力強いJ C愛を知った。それは友人の少なかつた私に、いわんや他国者の私には、学友に勝る友情であり、兄弟愛を知らない私にも、兄弟とはかくの如きかと教えてくれた。J Cの会員だとすれば、それだけで充分だといわんばかりにその仲間意識は強く、暖かく、そして寛容でもあった。それは激しい日々の生存競争の中で、鮮やかに美しく私の心に見えた。

一年おいた昭和三十八年、念願の教育青少年委員会入り、若輩の私ながら鎌田大兄の代名詞であったこの素晴らしい委員会の長たる役を、大役とは知りつつ嬉しく受けさしていたたいた。そして一年、楽しくはあったが過ぎた大役は身にこたえた。安部副委員長、委員の諸兄にはご迷惑のかけっぱなし、だけど失敗の連続ながら又とない修練の貴重な三百六十五日だったその年最後のお礼奉行にとクリスマスの余興で「今日は赤ちゃん」の母役を演じ、子役にまわった鎌田大兄を両腕に抱きあげたが大兄と共倒れに至った、終幕まで余りに弱い細腕だった訳やはり力量(体重?)の差は如実だった。

そして本年、先の「くるみ座」公演で、私は今更のように何度目かの感動を得た。J Cを自

己のものとする諸兄の努力は、熱意あふれた「つづみの女」公演に支えられて、「五周年記念」「市民ホーム建設」という二つのスローガン以上に、当日の来会者一〇〇〇余人の有識者にこころよい感動を与えたという。泥くさくはあったが当日の私たちの行動は若さをむきだした美しい努力だった。浜崎五周年実行委員長、女房役の鎌田総務委員長に近く、この会のお手つだいをさしていただいた私は、参会者にあいさつする実行委員長のことに聞きほれつつ、開演に至るまでの諸兄の協力を想い、この集いの美しさを再認識した。鳥取J Cの美しさは会員の心のふれあいの中に生き、強く育くまれたている。一人だけではとうてい表現できないこの美しさを、一人にかえったときこそ私たちは忘れてはならないのだ。

昭和三十六年、浜崎(兄)広谷両兄の肝入りで入会できた私だが今、私をふりかえる。足かけ四年の歳月は夢のようであっけなく早い。これから卒業まで十一年、先輩の生んだ、鳥取J Cの中に育くむその美しさを追い、その美しさこそ常に心に忘れてはならないと願っているのは、この私だけではあるまい!。



## 『私』



森 亮 輔

私は、昭和十年一月二十一日、北海道の地のはて、稚内で出生。その後三歳で倉吉、四歳で鳥取市内の魚町三丁目、六歳で広島県福山市、八歳で現住所に定着する。附属小学校、附属中学校、鳥取西高、大阪歯科大学、と経て、現在、開業五年を経過する。

自分の事は、自分の物指で測定するので、人の目にはどう映るかは、判らぬが、一応自分なりに、見たままを書こう。

私について云い得ることは、一見、素直に見えてその実そうではないのである。人から注意を受けても、自分で納得するか、又は失敗しなくては、注意に対して考えることはない、その上、自分でそれでよいと思っっているからまだ悪い。

今一つは、『万能の一芸なし』である。

今まで、頭をつっこんだものに種々雑多ある、模型工作、絵画、演劇、水泳、バレーボール、ハンドボール、バスケットボール、野球、アイスホッケー、陸上千五百、等々……その中で、多少ものになるのは、バスケットボールのみで

あとは二流、三流である。

その他、精神的心臓の弱いこと（特に女性に対して）積極性に欠けること、思っていることを、はっきり言語に現わすことの手なこと、等々。

数え挙げればきりがないので、この辺で筆を止めることにする。

以上、この様な人間ですので、皆様の物指で測定して下さい。

## 私と歌



橋 本 博 夫

真夏の夜の夢未だ醒めやらすと雖も朝夕秋風の訪れに寂寞懐慕の情漸く切なり

美はしき雲峰の彼方遠雷の嘯き遙かにして一日山路をたどり夏草のいふせきにもだせども遠

白の一条道遙けきを想えば又清新の気新たなり

千重波の来寄する故郷の磯辺に海の子をとぶら

えば、あはや白鳥の舞い来りて八尋の殿に手玉

ゆら機織る二女の歎きをつたふるに似たり。秋

気に澄む望月千代の川面に映え秋虫の旋律亦序

曲を奏す、あゝ悲しき秋の調べ、夜は静けく更

け行く

山恋いて旅ゆく吾に山鳩のたゞ一こえをき  
かせけるかな

須賀山を越えさきりくれば五百重なす雲の峰  
たてり但馬国原

夏草のいふせき山路旅ゆかば深き嘆きに命  
絶ゆべし

あまざかる鄙にはあれど美稻生ふる稲葉の  
国を君や訪ひませ

山川のせゝらぎ瀬音さら／＼に流るゝ清水  
掬まゝしものを

山にして遠鳴雷の轟かば深き嘆きを聞く心  
地して

島一つなき海原に白鳥のしるしく起たたば  
何嘆くらむ

沖つ藻は辺には寄れども海の子の千重の波  
間の夢や知らなく

千重波の来寄する磯にわぎもち恋つ尋め  
つ命絶ゆまで

小群なす巖の上に佇みて越の旅路を偲びぬ  
るかな

## 私とJ.C



島田 穰

私をはじめて青年会議所と云う名前を聞いたのは多分鳥取青年会議所の創立以前だったと思います。当時二人の人を通して別々にこういう会が出来るのだから入会してくれないかと云う勧誘を受けたのですが私はまだ現在の仕事を習い始めたばかりであると同時に数年間闘病生活をした後で体力に自信がなかったのでその事を申上げて両者に断りをした次第でした。

それから二三年後父のやり始めた段ボール工場の仕事を手伝っている頃、工場に鎌田さんと安部さんが突然に來られて是非会いたいと云う事で御会いたのが再度の入会の勧誘でした。その頃ではもはや断りをする何等の理由もなく私も一介の実業人として立たねばならないことを自覚していた頃だったのでその内容もはっきり解らないままとにかく入会した次第でした。

入会してみても実業人として今までの視野の狭さを反省して、是非こういう会合を通して私の実業人としての視界を広める必要がある事を痛感し慣れない身に鞭打って或いは戸惑い或いは

億劫さを打払いながら会合の出席に努めて來ました。しかし乍ら、やっとJ.C人としても慣れ個人としても親父のもとに比較的自由に生活をやっていたところ昨年の五月私にとって大黒柱の親父を亡くするという事件に出くわし親父の肩の荷を一度に背負わされる羽目に落入らざるを得なくなりしました。その為折角青年会議所の気風や事業も会得出来なかったところ、今度は仕事に追われながら会合に出席をしなければならぬ事となり、会員として模範生になれない条件が出来た様です。私もJ.C人としてももう後わずかの年数しかなくなりしましたが、仕事に於ても私のペースを早く完成させて残り年月の青年会議所の事業も出来る限り参加しなければと思っている昨今です。

## 「私」



松浦 寛

オギャーと鳥取に生を受けて三十四年、月日の経つのは早いものおちらにぶつかりこちらにぶつかり、目かくしされた鬼さんごっここの鬼じやあるまいが、棺桶に入る迄に半分以上たちに

けり、社長の家に生まれた因果で好きな道も後廻しやっこらやっこら皆さんにオケツをたたかれないが、中小企業向け経営者に仕立てられているのが私の姿ではなからうか時々、社会から受けた恩、社会へ施した恩を天坪棒にかけてみる時、なんと私と云う人間は皆さんへ御迷惑をかけている事か、もうそろそろ社会の為に御恩返しを考えると考えながら相変らず他人の御世話になり通し、イヤハヤドウモそれはさて置き、経営者の大きな課題の一つに後継者の育成と申す項があるが自分の子達の天分を見抜く事なく後釜へ据えようと努力していられる経営者の何と多い事か、私の半生を振り返って考える時心血をそそいで企業を今迄育てて來られた経営者が自分の子供にバトンタッチをしてやり度いと云う気持はよく解るがドウカナと何時も思う、其の当人が経営者としての素質を持ち進んで企業の発展を志されるならば問題外であるが、そうで無い子供を無理矢理に後継ぎに据える事は御本人にとっても不幸な事ではあるまいか、又其の様な人の下で働き生活の糧を得る従業員諸兄も可愛想な事である、ドウモ此の世の中には経営者に向く才能を持った人達が居る様だ其の人達が環境に恵れ諸条件が揃った時、巧く伸びてゆき企業も発展してゆくものと思われる。

日本のオピニオンリーダーとしての企業群を考える時此の事は強く痛感される。従って後継者は血縁にとられる事なく他人であっても其の様な素質を持つ人々の中から選びだすべきものと思う。それが日本の産業が世界へ伸びてゆ

く一つの路であるのでは無かるうか、今日も明日も限り無き理想の夢を画きながら毎日を暮らす姿、共存共栄の世界が何時生れる事やら楽しみだ。

## 「私」



三宅 金延

私をはじめて鳥取の地を踏んだのは但馬の豊岡中学一年生のとき陸軍幼年学校の受験に来たときだ、ものゝ見事に不合格……第二回目が大卒卒業の年東京の友人と鳥取砂丘に行きあの鳥取大火をまのあたりにみたときだ、幸か不幸か？作ったばかりの「みつかね」は焼失をまぬがれたがそのお蔭で親父から店は作ったが経営するものがないお前せひ鳥取に来てやれとの至上命令を受け親孝行の私のこと鳥取に参った次第です幸か不幸か？親父が小売業には未経験のため勝手気まゝにやり出してはみたものゝ小さいながら一つの経営体を動すとすると仲々むつか

しい学生時代の天下国家を論じる空念仏でものは一向に売れない。

仲々自己の信条通りにはすべてが回転して行かない親父には「お前は理論屋だ」とひやかされ。とは云うものゝ全くの無経験から出発した私には頭で考え整理した上でなければ行動出来ない。十一年たった今日でも同じところをまわりまわって一向に進歩がないことを情なく思っている。三年前親父と相談して観光ブーム来るとの予想の下に城崎温泉で旅館を作った。これ亦仲々むつかしい。

私は昔から自分の考えた事が一番正しいんだと云う変な自尊心と云うか大変な片意地な人間であった様だ、鳥取J.C.に入って五年最近では事業のむつかしさと同様自己を磨くむつかしさを痛感している。

新しいアイデア、継続的な事業がスムーズに皆の力で実行されて行くJ.C.活動をみるときに一個人の力ではなく全体が考え全体が実行する時の力の大きさをつく、感じていた次第だ。私の我田引水型思考が今後のJ.C.活動の中で少しでも是正されただけでもJ.C.メンバーであることに感謝している。

J.C.活動を通じて鳥取のよさを再認識し今後共鳥取人として少しでもJ.C.の発展のために頑張りたいと思っている。

## 私のある一面



田中正昭

私は大学で林学を学んだのはこれという特別の理由はなかった。しいて考えれば第一次産業である農林水産業の中では山が一番魅力を感じていただけのことであった。鳥取J.C.の中には他にも林学を修められた有能な方も二、三みられる。しかしその人たちとは違って私の場合家庭の環境の中に山や木材に取組まねばならない必然性や条件は何一つなかった。当時父は鳥取駅の助役をやっていた関係上敗戦後の旧制中学生時代、一時は国鉄マンをとも考えたが、中学を卒業する頃になると急に近視の傾向となり、あまり好ましくないということとそれを断念した。もともと頭脳も性格も体力も平凡で、通俗的な表現でいわれる長男らしい性格をそなえ兄弟も多く家庭の事情もあって県外の学校も選択せず昭和二十三年に鳥取農高に入学した。

農業や化学には関心がなく、単に山を対象にした林学科に莫然とした関心があったのかどうかそれも解らないまゝ学制改革もあり二十八年に新制の駅弁大学の第一回として卒業した。とにかく山はすばらしかった。特に冬山の氷ノ山

の樹氷や、頂上からの景観は若人の純粹な心を充分に満たしてくれた。樹木の名前を覚えることよりも山そのものの包容力というか偉大な自然美にひかれて良く歩いたものである。

卒業して知人の世話で東京の官庁に就職し、下宿生活を始めた。当時数え年二十四才、心身共にファイトにあふれていた。学生時代はなんでもやってみよう主義で広く浅く、麻雀、碁、ダンスも覚え、ガールフレンドも多く学生生活を楽しく過したいという欲望もあった。しかし精神的には全く純心で人生や社会的な問題に対し時には冷静な時には激しい批判や学友との意見の交換と同時に自己反省することもあった。大都会にでて地方出身のコンプレックスを振りきり仕事に熱中した。その点では充実した毎日を送ったような気持であった。

その前途に今となっては私の一生を左右させたのかも知れない女性問題が生じたのはそれからしばらくしてからであった。その女性は私より年上の公務員であり強い個性の美人であった彼女と始めて会ったのは彼女が胸を病んで復職した直後で私はいわゆる一目惚れというのかその慕情は火のように燃えた。こんな経験はかつてなかった。この恋は三カ月を経て結実し成功した。彼女は私の熱情と誠意に負けた。

それから彼女との愛の生活が始まった。それは不変のまゝ一カ年以上を経過した。

突然色々な事情で帰鳥せぬばならなくなり、三十年一月二十五日夜半、東京駅のホームは涙でかすんだ。何んともいえない感情が私の胸を

さし貫ぬいた。帰鳥後も彼女が忘れられず機会を選んで度々上京して愛情を確認した。そうするうち東京での生活の影響かどうか私も胸を病み、一カ年入院した。結局彼女との結婚は愛情以外の色々な障害でできなかった。私には現在妻もあり一男一女がある。こゝ五カ年あればほど愛を捧げた女性に逢っていない。今では忘れ得ない人である。現在の妻に彼女に対するほどの愛を捧げたかと若し問われれば首を横に振る以外にはない。彼女に対する愛は真実であり、今でも悔はない。忘れ得ぬ人として自分の心の底の一週に今でも如害に生きている。しかし時は金であり愛にも一種の解決をあたえる。あれだけ夢中にさせた女性も今では自分の心の底の一週だけにしか生きていない。妻とは見合結婚である。過去は過去として静かに愛を捧げつつ努力してきた。

人間の心とは想えば広く深い面もあるものだと不思議な気がする。今では忘れ得ぬ人が一種の楽しい思い出や懐しさとなっていつまでも心の底に生きていることが少しも妻を愛することに支障を生じないということである。

決して現実的に最愛の妻を冒瀆していることにはならない。妻は私の過去をよく知り、私という人間や性格を理解している。男女の結合の過程においてその動機や結果を洞察するとき誠に不可思議に想われることがある。とにかく悔のない人間としての発露でありたい。

今でも時々脱線したくなるような心理状態におちいる時もありそうになってしまうことも決し

て無いとは云えない。これは妻に対する愛情云々とは別の世界の男という動物的な姿の現われでもあろうか。夫として男性として妻に精神的な不安を与えてはならないはずである。人間は社会経験を積み積むほど人間としての純粹さが失われていくようで少し恐ろしい気がする。ずるくならず純粹でなければならぬところはいつまでもそうありたい。そしてそれが社会生活や活動の面で有効に活用できたらと思う。今後も自分の心のペースで生きたいものである。

人間の悔のない行為には何かしら進歩や得るところがあると確信している。若しこれからかつての忘れ得ぬ人のような女性が出現したとしたら今の自分は男性としてどのような展開をしていくのであろうか。しかしそのような女性は自分の人生にはもう二度と表われない。真実の忘れ得ぬ人は私の人生には一人でよいのだと心から思う。しかも現在の最愛の女性は妻である。人間はいつまでも過去そのまゝの延長ではなく又現状にも留まっていけないが真実には忠実でありたいし、美しい夢も追求したい。忘れ得ぬ人も結局は時というものが忘却の彼方へと流れてしまふではなからうか。

人間の心情はあわれと悲しみと美しさが混然となつて波打っているようである。まだ私は青く若くこれから人生の年輪を増すにしたがつて人生の複雑な味のようなものを覚えてゆくのであろうか。

人生の味をかみしめつゝ誠実で悔のない前進をしたいものである。

## 私



永瀬正治

生まれたのが時の記念日のせいとか時間の観念すこぶるあやしい。一時間をすぐ二〜三時間に  
する悪癖があり、きわめてノホン、ノンビリ  
を信条とする。その為かド忘れも多く、それも  
気が良いせいいか何でも頼まれるとイヤと云えな  
いだけにそれを忘れて大問題としたためし少な  
からず。それが御愛嬌と又頼む御仁もあって現  
在に至っている。しかし元来こそ真面目、時折  
てんで馬鹿みたいな事に馬力をかけて、にっち  
もさっちもいなくなつてベそをかいている事  
もあるが、代々の油売りの因果と云うものなの  
かも知れない。

外見はむつり、沈思黙考なタイプだが、そ  
れがあまり得意でないことは飲ませて見れば良  
く分る。たまに堅い本をひもとき、又数字をく  
み合せたり、屁理屈をものしているのにお目  
にかかることもないではないが、やはり外の太陽  
と空気がむいてみるとみえて、スポーツとなる  
ととんと目がないし、旅行も自分でサッサとア  
レンジして出かけてしまう。但しスポーツは全  
部下手の横好きで安心して見れるのはテニスだ

け、旅行の方は親ゆずりの放浪癖と山気違いの  
新参女房とが相俟って、地球の裏側か月世界か  
などと大騒ぎしている。

ともかくこんな雑な構造だが、幸か不幸か商  
売柄優秀な燃料と高級な潤滑油には事欠かない  
ので、へこたれず突進出来るのが強味といえそ  
うである。

## 私



川崎巧

身長一七〇、体重六五の標準型?の持主で  
す。終戦見習士官として、世が世なら今頃はダ  
ンベラ(お分りかな?)を下げてのんびりと暮  
して居る筈でしたが、何の因果かシベリヤ迄三  
年間も引つ張られ、石炭掘りを強要されて逃げ  
るに逃げられず泣く泣く炭抗入りを致しました  
が、幸い機械マニヤが身を助け、抗内電車の運  
転手として重労働から脱する事が出来ました。  
誰の為めにあんな事をしたのかとほんとに馬鹿  
らしくてやつあたりしたく思ったものですが、  
現在になって当手を振り返って見ますと、非常  
な人生修養になった様で、貴重な体験でした。

自己の意見が全然通らない社会を想像して見て  
下さい。いくら正当な理由があるうが無かろう  
が捕虜なるが故にすべてが抹消されてしまいま  
す。あるのは唯黙々と命令に従うだけで、己の  
存在は何物にも屈しない肉体があるのみです。  
生来短気な私が、風に柳と迄は行かなくても、  
一歩でも近づけたと云う事は三年間で得た高価  
な体験でした。

今後再三あるであろうつらい事、腹の立つ事  
等に際しても、當時を想い出し、短気を起さな  
い様、愉快に過したいと思つて居ます。かと云  
つて無気力に唯唯諾諾と過すのではなく、信念  
を持って協調を忘れずに行きたいと思つて居  
ます。矛盾したむつかしい事ですが、それ故にこそあ  
の三年間の体験を思い出す事が、私にとつて大  
きなマイナスをプラスに転ずるものと思つて居  
ります。

## 私



中井積

今回のレポートを提出するに当って正直なと  
ころ、なにを書いたらよいか困つてしまいま



す。日常それほど深く自分を考えた事のない私が自分自身の事を書くのですからなにが書けるやら見当もつきません、しかし私なりに過去を振り返って見ると短気で横着な私のことですから欠点を見付けるのは簡単ですが、それが私の全部でなくむしろ毎日／＼を平和で明るく豊かにそして健康にと願って努力しているのが本当かもしれません。私の毎日／＼はビジネスと家庭生活でなりたっています。現在のまでの生活が自分本意で社会性、公共性に欠けた一面があるような気がしますがこれらの問題をこれからは私の人生にプラスして行きたらと思っています。

## 無題



小谷 信 行

浜村と云う、田舎町の小さな社会に生活していると、たゞなす事なく、考える事なく毎日がおつあん、あばさんを相手に無事に過ぎて行く、それでなくてもあまり勉強しない私には温泉ほけも手伝っておつむの弱くなるのおおぼえる。それで大都會の鳥取の空気を吸って、頭を

少しでも若返らせねばと思ひ、昨年六月三谷守君と一緒に、小谷種男、由谷両氏の推薦により鳥取J.C.に入会させてもらってより一年数カ月を過した。

その間例会はもとよりJ.C.の催しにはなるたけ出席する様つとめJ.C.メンバー諸氏と交歓を深め色々勉強をさせてもらった。田舎では遠慮が最大の美德とされているが現代社会には少し遅れた考え方だと思ふ。本当に良い意味でのガメツさが田舎には欠けている様な気がする。その点鳥取の人々は色々新しい考え方を保持して居られる。それを私達郡部の者は一つ一つ吸収して身につけて行かねばならないと思ふが、もっと鳥取市の経済圏の一市三郡が互いに交流を密にして郷土の発展を期さねばならないと思ふ。それには鳥取市の人々が指導的立場に立ってリードして行ってもらいたい。その原動力はJ.C.メンバーの一人一人でないかと考える。

## 私について



浜 崎 泰 三

元来筆不精でもない私なのに、題が題だけに一向にはかどらず本日に至ってしまった。

結局は私がみた私の実態を語ることにした。外見上からみた私は、スマートで一見ほれられとする顔ではない。(上品でしょう)。

私が思ってもおかしい程非常によく育てれる。顔に似合わず比較的デリケートで、よく気がつく(ここまで大体良ろしい)人の為に良くつくすタイプとは思ふ。

その反面非常に口が悪い。悪いというより、人に悪態をつくことによって、ある程度満足感を有する。考えれば馬鹿らしいがなか／＼止められない。一旦云いだした事は後にひけぬたちで、人にきらわれる事しばしばあり、反面涙もろく(浪花節的日本人根性のタイプ)年寄(男女を問わず)には好かれるタイプ。若者(特に女性)には、先方に気があっても当方の貴族的且つ男尊女卑の精神に基く壁に影響されて、その目的を果せず、世の女性の回転の早さを同調するかの如く要するに、情ない一面もあり、(誤解めざるな、本当は男一匹ですぞ)……比較的物事に熱中すること多し、完成すること少からず、能力は割合に多し、然し乍らもって生れた上品さで他人様に遠慮すること多くして、「縁の下力持」になること多く、言わば一面世の男性の代表的人物と私一人で思ふことあり? 終りに出来ることならば、私について、最も必要な事はあまり他人を考えず、持前のファイトで私自身思うことを出来る範囲内広めたいと幾度も思ひ、且つ皆と協力して行きたいと思ふ次第で、J.C.の皆様方に良き御指導の程紙上を借りて、御願ひする次第です。

これは選挙演説の原稿ではありません。私について本当にわけのわからない文で申し訳ありませんが、自分のわからない方がかえって、現代的で良いかも知れません。

## 市民ホール建設の 推進力となろう!!



鳥取 J C 経済活  
動委員会委員長

梨 原 巖

鳥取 J C の満五周年を心からお慶び申上げるとともに、その栄ある J C メンバーであることの喜びを吟味しつつ、次の時代をになって行くわれわれの責任の重大さを痛感致しております。幸い J C に対する県民の見方も当初の「認識不足」から「大きな期待」へと変わってきた。と云うことはわれわれ自身、修練の場から脱皮して実践へと力強く踏みだしたことを物語っている。

ことしの各委員会の事業をみても、ほとんどがその主体性を十二分に生かしている。

経済活動委員会も重点事業として東部地域総合開発問題を取上げ、「若さのもつ指導的経済

人」として活躍しようとしている。

まず手はじめとして市民多数が強く望んでいる市民ホール建設と取組んだ。この問題はすでに教育青少年委員会が昨年の音楽祭で提唱していただけたに全会員よく理解し、先般五周年記念行事の一環として打出したチャリティーショウでの純益三十万円を市当局に寄付し、鳥取 J C の旺盛なる士気を如何なく發揮した。

又市内の各関係機関の代表者や有識者を招いて市民ホール建設についての意見をきき、引続いて岡山、玉野両モデル市民ホールを視察してわれわれ鳥取 J C としての基本線を打出し、高田市長はじめ市民ホール建設審議会に強く要望した。

市当局としてはわれわれ J C の熱意に意を強くし、建設審議会を中心に具体的な行動をはじめたようである。しかしそのスケールはわれわれの要望とはほど遠く小規模なものであると聞いている。それだけにわれわれはここで抽象論をのべることなく、名実ともに市民ホール建設促進の中核として率先陣頭に立ち、大多数の市民が心から喜んでくれる近代的な立派な市民ホールを建設したいと願うものである。

経済活動委員会は当然明年の継続事業として今後さらに強力に推進して行く覚悟ですので会員諸兄の全面的なご協力とご指導をお願い申し上げます。

## 鳥取県の三番目の 産物育成について



平 野 之 敏

吾が社で畜産物を扱って五年となる。昭和三十四年の秋に思い立った。鳥取県六十万の人口が昭和の初めより増加しない。理由ははっきりしている。鳥取はベットタウンであり、さらに育成場に過ぎない。育成された若人は大阪に出ておよめさんは又郷里から呼んでいる。

吾が社は食品卸業として当県で商いをしていくが相手が人間様であれば胃袋の大きさも限度がある。更に昔と異なって美味しいものを少量喰べつつある。農業人口で特に著しい事は若い人が減って行き、離農は昔はめしが喰えなくなつて夜逃げをして尼崎あたりへ行く人が多かつたが今では金のある農家ほど年寄りか死ねば町に出る人が増加する現実を見て、一つ農家経営を建て直すには何があるかと云う問題に一カ年間を費し調査をした。

牛については和牛は吾々の少年時代はブラウンスイス導入により、優れたものであったと聞いたが、現在は安い小牛のみを買って飼育する為、大阪中央市場では買手が全然無い程のてい落である。

乳牛については酪農組合に特にけっ出された  
すばらしい人がその手わんを發揮されておる。

豚については生産計画が無く、投機的な考えの  
人が多く、これはアメリカでもトウモロコシ相  
場と豚相場はサインカーブが相反しており、農  
政の難しさは洋の東西を問わず変らない感じを  
受けた。鶏については産卵鶏と肥育鶏（プロイ  
ラー）があるが前者は戦前より吾々の食前をに  
ぎわかし随時増えている。が吾が社は新しい産  
業であるプロイラーに目をつけた。即ち米を一  
丁歩作って投下資本三〇〇万必要として農家手  
形二〇万プロイラーを一〇〇〇羽飼えば投下資  
本一〇〇万円で手取五〇万円あり、豚の飼料効  
率四・五％（一キロの豚を作るのに四・五キロ  
の配合飼料を必要とする）プロイラーの飼料効  
率三％に着目した。豚の三分の二の餌で同じ重  
量の肉が取れ、やわらかく又消費者価格が牛、  
豚に比べ四割安く、飼育日数が八十日であり、  
消費が前年比三割増と増えておる。

従来、鳥取の産物と云えば二十世紀梨と松葉  
がにであったものが、時代の脚光をあび鳥取県  
産プロイラーとして、京阪神え出荷する事によ  
り、池田首相ではないが農家所得の引き上げ、  
又地元商店等に於ても農家の若い人の足を鳥取  
県におくことによりプラスになるではないかと  
云う考えのもとに出発をした。

前おきが長くなったが吾々がこの計画を持ち  
農家に一歩足をふみ入れたとたん、ぶちあたっ  
た大きな問題は、終戦後現在に至る迄の農協活  
動のタイムマンであった。

それは戦後農協の農家に対する自己本意のム  
ード作りであったといえる。即ち農協は皆様の  
およめさんの世話も生活物資も金も何もかも一  
切お世話をしますというムードのみしか頭が廻  
らず、その為農民は自分の家の所得も現金残も  
さっぱりわからない、すべて貴方まかせという  
安易な気持ちでこの十数年間過ごし自分自身が一  
家の責任者の立場でありながら経営者としての  
自覚を持たず無意に過ごさして来た事であった  
その後時代の流れは農家生産物の米を除き自  
由化貿易と変って行ったが吾々の見方は農業生  
産は工業生産より管理を精密にしないと絶対に  
やって行けないと考えています。工業生産は日  
曜、祭日はあり、給与は支払う必要はないが農  
業生産にはそれが無い。農協の親玉の全購連職  
員には七〇〇万の退職金が約束されているが下  
部にはなく、ただ系列化のみを呼び「平家にあ  
らざれば人で無い」と云う、こそくな運営を一  
日も早く脱却して農家をそれぞれ一企業として  
考え、アメリカの農夫とハダカになって土俵の  
上ですもうを取れるだけの力を持たせ、独立化  
を養わない事には今後の発展は無いと確信しま  
す。

従来JCのメンバーには農家の人が無い為、  
吾々もこの仕事に入る迄は関心が薄かったが、  
入って見てあん然とし、その後現在迄、時々経  
営指導に力を入れて来たが、この農民の現状を  
考えれば我国の将来の農民を基盤とする経済に  
大きな破たんを起す事は間違いない事実と見  
ます。

鳥取県の農林部の機構について見ても悪口を  
云わせてもらいますがサン系課があります。年  
間たったの三億の金しか売上のない課であり将  
来を考えて見ましても明治時代の遺物のような  
カイコの課はどこかの課を机一つでも持って  
行けば事はたりないでしょうか。石破知事殿に  
も申し上げますが現実を見、将来を見て、も  
っと重点施策を希望します。

又地元銀行も農業関係に対し勉強をしていな  
いと思いますが如何でしょうか。農家に板につ  
いた経営者としての意識を持たせるべく吾々は  
縦横無尽に動くようではありませんか。

## 大陸での思い出



梶 田 真 輔

長春を立ち、瀋陽を経て南満の遼陽に公務を帯びて  
旅をしたのは、遅い大陸の春にも杏花が綻びそめた五  
月の中旬頃だったと思う。私の未だ若い血気も盛んと  
云った時代である。駐車場司令部と方面軍兵站司令部  
で帯命の所用を悉なく果し、その夜半の汽車で帰任す  
ることにして、同僚から頼まれていた土産物の買い整  
えもあり、街に一人で散策に出掛けた。この街は、嘗  
って日露戦役の古戦場で、軍神橋中佐戦死の地として  
よく知られ、又近代に建立されたと云われる八角十三



層の白塔も有名で、古跡の多い落着いた明眉な処である。出発の折に、同僚から「遼陽の停車場を降りて、斯々した通りの何処其処の角を曲った処にある『太子』と云う菓子屋で月餅を買って来て呉れ」と頼まれていた。(現在、東京の中村屋で月餅の名で売出されているが、もともと中国の食物で、節句……お祭りのこと……に使われていた)大体この地方の果物は、殊の外に美味しく、その実を使つてつくった月餅は尚更で、遼陽の菓子は満洲でも有名であった様に記憶している私は教えられた通りの菓子店を尋ねて行った。ところが折悪しく休日の貼札が下げられている。然し折角この店を名指して来ている私は、強引にくぐり戸を押しあけて入った。幸い奥の長椅子にどっかと腰をおろした怡福のよい黒い緞子地の支那服に身をまとった大人が、煙草をくゆらしている。「大人よ。私は長春から旅をして来たお見掛け通りの日本の兵士だが、同僚からこの店の月餅を買って来る様に頼まれた。今日は休みの様子だが、そこに列べられている月餅を売って呉れまいか」大人は、気の毒なことよと云った表情を顔にも体の動作にも浮べながら、「日本人よ。洵に気の毒だ。申し訳もない。折悪しく今日はこの店は休みだ私はこの店の主人だが、主人とても休みには商いをする訳には行かない。長春から態々私の店を尋ねて来て呉れたことは、多謝とするが、そうであつても売る訳には行かない許して呉れ。その代り私の店と同じような月餅をこしらえている店をご案内しよう。一緒に歩いて来て呉れ」年若い私にはこの事が一向に理解し難い以前に、目の前に列べられてある菓子が、主人でどうして売れないのか、全く馬鹿々々しくもあり、腹も立つ思ひであつたが、風格ある大人の口から、鷹揚に流れる柔らかな言葉には、何か知れない威厳もあり、抗し得ない強いものを感じさせた。私は大人につれられ

て再び街に出た。かれこれ五百米も歩いたのである。一軒の店につれて来られた。成る程初めに尋ねた店にも劣らぬ格調ある店構えである。ケースの菓子も店構えに副つて風格がある。私をつれて来た大人は、店の小孩に言付けてその店の主人を呼出させた。「ご主人よ。ここに長春から来た日本の兵士を案内して来た。この兵士は、私の店を名指してわざわざ月餅を買いに来て呉れたが、残念ながら私の店は今日は休みだ。主人よこの日本の兵士に特に上等の月餅を安くて売ってやつて呉れ。よろしく頼むヨ」といった意味のことを先方の主人に話して私を引合せて呉れた。先方の主人もそれに快く応えて、顔一杯に笑顔をたたえ、サーピスよく希望の月餅を包み「日本の兵士よ『太子』の大人の面子にかけても、上等の品をお渡しする。値段も勉強してある」。

案内して来た大人は、私が品包みを受取つて金を支払い終るまで、終始ヂット見つめている様子だった。品は本当に納得出来るよい品物かどうか。又値段は勉強してあるかどうかを、しっかりと見極めるかの様に。二人は夕日浴びた街に出た。「兵士よ。これからどうするか」「次の汽車で長春へ発つ。今日のご親切は身にしみて嬉しかった。多謝多謝」私の感謝の言葉は、要らぬことといった面持ちで「兵士よ。どうか先々体には気を付けて励むのだ。そして一日も早く故里の母の許に帰れる様に祈っている」訥々と重い調子で流れる厚い口唇は今でも忘れることが出来ない。

大陸の商売のおおらかさ、そして深みのある仁義、大人の格調ある人間性など、懐しい大陸での兵士時代を振り返つて雑文とする。(一九六四・九・一〇)

### ◎若者の雄叫び

ひろし作詞

一、明日の日本を 背負ふ若者 力を合わせ  
 明るい社会の建設めざし  
 雄々しく 強く たくましく  
 我等の若さで ファイトを燃やし  
 大海原へ こぎだそう

二、明日の祖国を になふ若者 手をつなぎ  
 伸びゆく社会の建設めざし  
 清く 明るく 美しく  
 我等の若さで 情熱湧かし  
 大空めがけて かけあがる

### ◎丈夫な子

一、野原で遊んでる 丈夫な子  
 小馬のピン子も 楽しそう  
 青い服着た カワセミおじさん  
 川面をすいすい 飛んでゆく

二、お山で遊んでる 丈夫な子  
 リスのクリちゃん 楽しそう  
 めがねをかけた コン吉おじさん  
 ステッキ片手に すまし顔

三、海辺で遊んでる 丈夫な子  
 マドロス船長さんも 楽しそう  
 白いエプロン カモメのおばさん  
 ましこちゃん、リンちゃん、水子ちゃん

### ◎鮎子の回想

一、広い砂丘に 夕日が暮れて  
 海のかなたに またたく星座  
 金のくらはには王子さま  
 銀のくらはには王女さま  
 夢みて乗った二人の世界  
 ああ 今はいずこえ 今はいずこえ  
 くずれ去る

二、青い海辺に 夕日が暮れて  
 静かに浮ぶ 白兎の景色  
 大きな袋の 大黒さまと  
 おてんば娘の しろうさぎ  
 夢みて遊んだ 二人の世界  
 ああ 今はいずこえ 今はいずこえ  
 くずれさる

三、明るい御部屋に 夕日が暮れて  
 空にきらめく ネオンのひかり  
 一人淋しく フランス人形  
 切ない思ひを かみしめながら  
 鮎子は じっと 抱きしめる  
 ああ あの人は あの人は  
 今はいずこえ 北のはて

### ◎「鳥取まつり」

一、はあ いなば鳥取よいとこさ  
 いでゆ湧きでる 城下町  
 皮をはがれた 白兎も  
 お湯をかぶって  
 びよんとはねる  
 びよんとはねる  
 やんれ やんれ やんれ  
 お祭だ お祭だ  
 それ たいこたたいて  
 ドンサッサ ドンサッサ

一、はあ いなば鳥取よいとこさ  
 日本絶景 砂の町  
 砂丘で遊ぶ 御二人も  
 砂をかぶって  
 むすびあふ  
 むすびあふ  
 やんれ やんれ やんれ  
 お祭だ お祭だ  
 それ たいこたたいて  
 ドンサッサ ドンサッサ

「松浦寛君」

## 特別座談会

# 「創立当時の思い出」

出席者	鳥取商工会議所事務局長	鈴木敬直
	鳥取JC	
	O.B <当時理事長>	金田文夫
	理事長	坂尾祐正
	五周年実行委員長<当時副理事長>	浜崎芳宏
	中国地区協議会経済委員長 <当時チャーター実行委員長>	池内勝信
	広報委員長	辻敏治
司会	副理事長<当時総務委員長>	三宅金延
	編集責任 広報副委員長	広谷隆等

敬称略



### ◇辻広報委員長

今年、鳥取JＣが出来ましてから、五周年という事で、五年前の思い出あるいは、われわれの歩んできた道を残してみたいという考えから、五周年記念誌を発行という事になりましたので、五年前の創立当時のいろいろと苦心いただきました関係者のみなさんにおあつまりいただいて、これから当時の苦心談といいますが、思い出話をやっていただきたいと思います。

それでは、理事長の坂尾さんよろしくお願いいたします。

### ◇坂尾理事長

さきほど、広報委員長の方から話がありましたように、鳥取JＣも今年五周年を迎えまして、ますます油にのって発展しつつあるわけでございます。これはいずれにしても、やはり過去の先輩の方々の努力で五年、六年をむかえたわけでございますが、将来伸て行く上には、やはりこの五年という年も意義ある年ではないかと思えます。我々も一つの自覚をもちまして、本年五周年の行事もいろいろと計画致しておりますけれど、その一つの計画として五周年誌を発刊いたすという運びになった次第です、本日はその当時チャーター創立に際しまして、鈴木事務局長には格別なご尽力をいただき、また金田さんには初代理事長として、基礎造りをしてくれられ、いろいろとその当時の苦心なり、思い出の数々をこの機会にお願いしまして、これを将来の記録に残したいと思っておねがいしたわけでございます。おいそがしいところおいいただきましてどうもありがとうございます。

### ◇三宅副理事長

では今日の座談会の司会をつとめさせていただきます。さきほど理事長からお話がありましたように気楽な気持ちでわれわれJＣの五年間あゆんだ道といったものを、ふりかえってみたいと思います。まず鳥取JＣの生みの親である商工会議所の事務局長さん、鈴木さんに設立、発起までのいろいろな苦心談さきほどらい座談でおろかがいしていたのですが、ひじょうにご苦心をされていたようなこともあるんじゃないかと思えますのでおねがいます。

### ◇鈴木事務局長

ご指命にあずかりましたので、当時はふりかえりお世話させていただきました一人として、お話しさせていただきます。三十四年に鳥取JＣが出来る前に、鳥取青年商工連盟というのがありましてこれはやはりJＣと同じように満四十才までの、大体の商工関係に従事している若い智者というような方を主体に、消費者合セイ連盟というのを鳥取がはじめつくりました、これは後に米子、倉吉というふうに作っていたんですが、商工青年連盟の方がわれわれの方から人選をしてお世話をしたというような、いわば下からもりあがったのではなくて、こちらの方から完成といえますか、上から強要したという面が、確かにあったと思えますが、そのような関係でたしか昭和二十六年頃だったと思えますが、商工青年連盟ができました。

それから一時は補助金、その他市からもらって活発にやっていた時代もあったのですが、練巻花火的にだんだんしりつほみになりまして、事実上、有名無実なことになっておたわけです、ところが米子に青年会議所ができて、当時は、事務局長の山本さんから、鳥取に県庁所在地でもあるし早く造らないといけんじやないかというようなアプローチをうけ

まして、当時たしか真嶋さんや浜崎さん、三宅さんそういう方にお話していたと思っているんですが、どういうふうにしたらいだらうかとご相談しまして、当時山本さんが経験者ですから来てもらって、ナショナルでいろいろ協議致しまして、米子がやりましたときの話をきいて、商工青年連盟のように上からやっただけでは面白くないから下からもりあがるようにやっていたらと思つて、第一回は賛成を得まして、つくりゃないかと二回、三回と会議をすすめたわけでありまして、本当にもりあがる姿勢が、下からもりあがる気持ちになりました、一番困ったのは、初代の理事長は誰がいいだらうかとご相談をうけましてそこで金田さんは、実業会で実際ご自分が第一線で活躍しておられました他の方々も沢山おいでになったんですが、他の方々はお父さんがおいでになり、金田さんは実際ご自分が事業をやっておいでだったということで初代の理事長はご迷惑でも金田さんにと、たしか、浜崎さんにお話ししたら、賛成してくれられ金田さんに非常にご協力、みなさんのご尽力でわれわれも敬服致しておる次第です。当時は回顧しまして、そういうような事をお話ししました。

### ◇司会

金田理事長誕生の弁があったようですが、発起人會として議事録を見ますのに、三十四年一月十日発起人會をやりましてそれに浜崎君が議長にすいせんされているようですが、理事長かつぎ出しという問題について、事務局長と同じようにいろいろな面でご苦労があったんじゃないかと思うのですが、苦心談を発表していただければと思います。

## ◇浜崎

私をはじめたときには、実は非常に商工会議所ならびにロータリーの皆様の意見にお世話になったわけですが、最近になってようやくJ.C.というものが何であるか分りかけたような気がするんです。当時はもうめくらめつぼう何も分らんとスタートした次第で、さきほど、鈴木事務局長のお話にあったように、青年商工連盟とか商工会議所のジュニア版的な青年部というふうに解釈していたわけですが、ところがその後、定款とか、関係書類を読むにわたってわかって、一応青年経済陣というようになつてあるが、幅広く青年会議所の直属の機関ではなくして、広範囲な青年のつどいであるというふうな事だんだんおぼろげながら分ってきた、ついでには一番最初にヘッド理事長をきめるということが問題だということ、本日おいでになっている方々にもお話ししたのですが、局長のお話の前には実はいろいろと候補があがっていたのですが、われわれとしては、やはりさきほど申しあげたように、一応商工会議所にはお世話になっているけれども、独自の生き方をするというところに意義があるんじゃないか、したがってわれわれで初代の理事長をえらぼうじゃないかということから、いろいろ商工会議所の方にも参考意見としておきかせねがって、初代理事長には金田さんに決めたということだったわけですが、一応その結果からみますと、簡単に初代理事長はきまつたとみえるかも知れないけれどもいろいろと、時間をかけて決定した次第です。

## ◇司会

そういつたわけで、われわれが設立しようという考えになっていろいろの研究をしてみたわけですが実際問題としてJ.C.とはどういうものかということ

について、本当の漠然とした考え方しか我々にはなかったと思うんです。若い経済陣が集つてもかくたべる場をつくらうじやないかということが、一番最初の大きな問題じゃなかったかと思うんですが、それには、やはりさきほどいろいろのお話がありまして、それに、ヘッドをいかなる人に持っていくかということによって、向上するか、衰退するか、ある程度決定するんじゃないかということで、理事長決定については、問題があつたことは事実です。

そういつた面で、さいわい過去五年間ふりかえて、初代理事長に金田氏をえらんだということは、決して間違いではなかったということ、非常に有効な、また立派な理事長であつたと、実は感謝しているわけなんです、初代理事長にえらばれました金田さんも、そういつた面での非常な苦勞と創立總會までの苦勞もあつたんじゃないかと思ひますが、そういつた思ひ出をさつぱらにお話しねがいたいと思ひます。

## ◇金田

さきほどらい身にあまるおことばをいただいた、大変恐縮致してをります。

またいたらぬものだとおことばをよく認識しております、最初お話がありましたときに、その職責が果されるだろうかということに、実はおそれていたわけですが、青年会議所というものが修練の場であるとうことと、若き経済人の集りであることを認識してお受け致しました、その三十四年一月二十五日に創立總會がひらかれたわけでございますが、二年ぐらいまえから青年会議所というものは、ときおり耳にしておりましたが、詳しく確には知っていません、たわけてございます。それまでに丁度ロータリーの経験を私、五年もつておりまして、その

五年の経験を、又地区協議会長の浜田さんらが顔みしりの間柄でもあり、青年会議所というものの性格を奉仕団体の生活と実業界のつどい、さきほどからいわれております若人の話し合いの場でもある、青春を無意義にしたくない有意義な青春をくいやなく送る場でありたいとゆう、これは願ひの場であるということのまま私考えました。

みなさん方のご推選を得、その御好意にあまじくてこのセキを汚したわけでございます。創立までに米子の稲田理事長と二度会いましてJ.C.のあり方なり、なんなり、また稲田君、ならびに米子のあり方から、大体鳥取J.C.の場合もかくあればいいじゃないかということを考えました、みなさんと会合をもつたときに、そのときには大体J.C.というものは、私なりにぼんやりとつかんだような気持だったわけですが、そして皆さんとともに青春を有意義に過して地域社会の発展向上をねがいたいという熱意にもえて精進を誓つたわけでございます。

## ◇司会

どうもありがとうございます。そういつた意味で、だいたい昭和三十四年一月二十五日に設立總會を終りました、無事鳥取J.C.が誕生したわけです。理事長に金田文夫君、副理事長に真島君、浜崎君というふうなメンバーで出発したわけです。その時の新聞がここにございますが、日本海新聞に掲載されて居ります。うぶ声をあげた鳥取青年会議所というならば業界しんせん組、しんせん、は新しく選れるという意味とカッコして新鮮と、二つの意味があるようですね、それで幸か不幸かチャーターメンバーが四十七名と、非常に期待をもつて書いております。理事長、副理事長の写真が出ておりますが、こ



ういった問題いろいろ苦心談があったようですが、それをへましていよいよ正式に日本JICから認められると、いわゆる認承証伝達式が昭和三十四年九月十九日チャーターナイトが当鳥取JICでおこなわれたわけですが、続きましてチャーターへの苦心談、非常に面白かった点、設立までの理想(?)も大切なものですが、もう一つくだけてもらって認承証伝達までのいろいろな座談を、お願いしたいと思えます。今日はさいわい当時の実行委員長である池内君をこれつせきねがっておりますので池内君の方からいろんなお話をきいてみたいと思えます。

#### ◇池内実行委員長

いままでそういった種類の行事といったものが、市内で少なかったものですからどういう形態でもっていったらいいかということにまずまよいました、まず組織ができたばかりだから、おたがいの名さえしらない、それまで顔だけは知っていたけれどもほとんど顔を付合せたことはないという程度から初めてであるという人のあつまりだったわけで、その人をどの様にまとめあげて、一つの式をおこなうまでにしていこうかということで、各委員会現在より少々数は少なかったと思いますが、その委員会とは別個の組織を創り記念品、みやげ品であるとか、総務であるとか、良いことであるか、悪いことかいろいろいいない事ですけど、一ぱい飲み会をちょっと多すぎると思われるくらいやっていたら、おたがいにオレ、オマエという仲間になっていただくように努力しました。

それからざつとみんなの名前がおぼえられるようになって、この程度になった時からいよいよ組織づくりとしまして準備にかかったわけです。とくに岡山JICの方の努力で池田隆政ご夫妻をご招待するこ

とが出来まして一層鳥取JICのチャーターナイトを意義あるものにしたと、いまでも自慢に思うわけがございますが、そういったことについては、ここにいらっしやる坂尾さんにお世話になり、あの当時としては、かなりの出来であったじゃないかと自画自讃のようになりませんが、思っております。あれがすみましてからいつそう鳥取JICというもののまとまりが出来たという感じがしますが、どうでしょう浜崎さん。

#### ◇浜崎

いつも私思うんですけど、やっぱり家族会とか、懇親会とか、こしらえたためのものじゃなくしてやっぱり若いものつどいですから、なんか一つチャーターとか、事業をやりながら親善をすすめるというのが、一番本当の意味の親善となるだろうと思います。やっぱりわれわれとしては、発起人会ができるまで、心配していたわけですが、池内君の話でもあったようにチャーターを終わってからは、若いものつどいの会として、オレ、オマエと気がねなく、話せるように、チャーター以後すみやかにそういった雰囲気になったと思えます。

#### ◇三宅さん

リクレーションを砂丘で、二十世紀をたべながら歩いてもらった、それからまた懇親会の席で、さきほど池内君がいったように池田夫妻にきてもらったこと、しかもなお懇親会の終りの時に、期せずして役員一同、会員全部がスクラムくんでJICソングを合唱したといったことは、今までのチャーターではなかったとゆうふうに千金頭が感激してくれられたし、われわれもひじょうに感激をもってチャーターを終了したという事は、過去五年間JIC会員とし

て、いろいろな事業をやっている上において、最大の感激であったと私自身感じたんですが、その最高責任者であった池内君の感激も實際ひとしおのものだったであろうといまさらながら思うわけです。また金田さんの方にもいろんな日本JICの会頭の千さん、北海道の池田さんなんかもこられたわけで、そういった面での接待、また鳥取JICの協力態勢というものについても非常に苦心あったんじゃないかと思えます、そういった点について金田さん並びに浜崎さんにもちょっとおはなしをきいてみたいと思えます。

#### ◇金田

最初に鳥取JICに一番特色を持ったこと、いまでも大きな特色ではないかと思われるのは昼の例会です、ひるの例会だからアルコールは出ないこれは鴨井地区会長からも非常によくやつておられると、敬意のことはをいただいた、チャーターは鳥取JICの内外に理解と共感を得るチャンスであったと思えます。ときの会頭が裏千家の宗匠千宗興氏であった、千氏は日本的に非常に名のうれた人で、そういう良いヘッドを持ったとき、鳥取JICが誕生したことも大いに意義があった。宗匠来る、池田隆政氏に特別会員として参加していただき、又チャーターのときに、次期のJIC会頭候補が二人もみえられることもめずらしかつたんじゃないかと思えます。丁度その時の会場その他が一年前だと思えますが、商工会館の別館、横に本館の商工会館をもつているというひじょうにめぐまれた環境でちょうどころあいの参加者で順調にやることのできた、約二百名という参加者でひじょうにゆきとどいた会が、これは会員の実行委員長以下、会員みなしてのこれもスクラムしてこの会を実行し、もりあげた効果だったろうと思わ

れるわけです。そういうことが積みかさなって、さきほど池内、三宅両氏からいわれたように感銘深い千宗興氏をしていわしめれば九十八点、九十六点をさしあげると、いささか鳥取でこころいう大会をやることを、おどろいたというふうにいっていた。たということは今でも記憶あらたでございまして、感激しております。そういう意味で浜崎君、いわゆる懇親会、エクスカージョンその他の本当のおぜん立をした苦心というものがあろうと思えます。そういう点、おはなしねがいたいと思えます。

#### ◇浜崎

実はチャーターについて、いいかかったことを金田さんが全部いわれたんです。実行委員長のもとにみなさんの協力で非常に内容もとのつたこと、しかし鳥取の場合は、その各社がニュースパブリックとしてとりあげたということもそのうらにはそのタイミングが良かったということもいえると思えます。このたび五周年記念誌を広報委員会ですと、あちこち名士の方に原稿をたのんでいるわけです。ところがあの方が、昨日うちに電話をかけてこられて、その原稿をかくについてその資料の調整にしたいのできかしてくれと四年も前のチャーターのことについておそらくチャーターメンバーでもよくおぼえている人は少ないと思うんです。ところがきのうの人のいわくは、裏千家の若宗匠がみえてましたが、あの方は何の資格で当日こちらにいらっしやったのかということを書いてこられたわけです。おそらくその原稿の中にその事があるだろうと思うんです。鳥取では、温泉、砂丘、二十世紀梨の三つがあるようですが、ちょうどチャーターを九月にもつていったのは、砂丘と二十世紀をむすびつけるために九月に決めたと思うんです。おみやげなり、現

地で果樹園でそれをとっていただいて、それを食べていただくとしたかそういう形に計画されたように思っているんですが、その後会員の方で思い出に残っておりますのは、市の観光課の木下さんにおねがいで、彼にマイクで鳥取のPRを青年会議所の腕章をつけてやってもらったわけですが、ひじょうにそれが印象的に会員にのこっていたようです。砂丘でみる傘おどりもおそらく実行委員長の発案だろうと思うんだけど、なし、かさおどり、観光案内というふうなことに、そのあと日本JICの役員として全国的な会合に出ましても鳥取の思い出がなしがでて参ります。

#### ◇池内

これはやはり二十世紀なしの生産地であり、気候がよいということから三月七日に日本JICの役員会で承認を得るわけですが、鳥取JICのチャーターは、約六カ月ぐらいいから一年以内にやるのが望ましい、第一にその位しないとJICそのものの組織の和もとれなければ、実行力もつかないわけです、そういう点からタイミングのよさも重なっているわけです。

#### ◇司会

大分、実行委員長の株があがってきたようです。ここで、われわれの我田引水じやなくして、来賓としてきていただいた事務局長さんにそのことを思い出していただいてご感想をおねがいます。

#### ◇鈴木事務局長

私もおまねきをうけまして、出席させていただきましたが、今金田さんや浜崎さん、池内さんとお話しされましたようなことを感じまして、たしかにタイミングがよくていろんな点で、まさに今も当時を

思い浮かべまして、そういうふうに感じました。その通りでございます。

#### ◇浜崎

チャーターもよかった、非常にスタートのころみなさん結束してヘッドを中心にしてよかったという原因として、ぼくはここでスポンサーがどうのこうのというわけではないけど、あの当時日本JICの人が、まだ東京JICができて十周年ですけど、かく我々のようなローカルの地方にまで、JICのエクセションが実施されていたのはまだ早いころだったんです。そういう関係からして、現在のようにスポンサーJICというものの責任が多くなかったんです。ところが米子さんが先にやって二、三ヶ月目に私の方に声をかけたただけだというふうな形があったので、よけい商工会議所の方も大変お世話になったわけだけど、われわれとしてなんとか自力ではやく一応のかたちをつくりたいというふうなことが四十七人の会員の心にみなあったんじゃないか、そういうことがスタートを、よくしたという原因になっていないだろうかと思うんです。

#### ◇司会

米子JICのチャーターをみまして見学参加して、だいたいこれくらいだったらできると大丈夫だろうとゆう記憶が残っています。さてチャーターのあくる日の池田隆政夫妻を、当時坂尾さんが奉仕委員長だったんですね、犠牲的な精神で自分の家に招待して、われわれもおもしたわけですが、その時の感激なりもようを現理事長の坂尾さんをお願いしたいと思います。

#### ◇坂尾

あれは偶然だったわけですが、地区大会の時に参

加しまして特別会員ということで、ビールを出しにいったわけです。チャーターが九月にあるという計画があったものですから、きていただけないだろうかと話したら予定はないから行くという気持を戴いたものですから、鳥取にそういう計画が有り、そして岡山JICの方に紹介があったと思うんです。向うの方からしばらくしてから通知があって「身体がよわいから来れない」という連絡が七月ごろあり再度お願いして、御了解をいただいた。

そういう関係で池田さんの世話をするようにというところで、いろいろ設営なり、準備をしたわけです。池田さんのことでチャーターのあとに印象深く残っておりますが、懇親会には厚子夫人はすでに小銭屋の方にかかれて、十一時ごろだったかと思いますが、そろそろ帰ってもらったということで案内して出かけたところが、山根君だったですか、観光の方に警察の本部長が待っているから行ってくださいということで、一緒にいったんです。観光についてみると青年会議所聞いてないというんです。電話連絡してましたら、分りましたというわけです。奥の本部長の所に案内されました、ところが本部長がどうも不思議そうに表情がないんです。一体どういう見当ちがいだらうかと思っていると、岡山の連中がなかなか口やかましくいだしまして、退散しようということになりました、あとで判ったのですが、お茶の趣味をもっていた当時の横井本部長が、千さんをよんだらしくて、千さんが気を使って池田さんと一緒にということ、連絡がついてなかったの为本部長もめんくらったというわけです。そういう懇親をやったわけですが、なかなか池田さんの飲みっぷりが印象的なんですよ、三十人もいたと思うんですが、みんなが代るがわるさしたんだけど、ぐつとあけてはいどうぞというわけで、顔はまつかで目は光

って殿さんのかんろくそのものだという感じがしました。

#### ◇金 田

坂尾さん、大変苦労されたと思うんですが、大変良いことをしていただいたり、今の場合は横井本部長が、京都の府警の刑事部長をしていたときに千さんと親交があったんですね。

#### ◇司 会

実際われわれチャーターの思い出はきりが無いと思いますが、チャーターにかぎらずに、チャーターを経験して、その最高責任者として池内君、浜崎君こういった点は今後なおしたいいいじやないかか、われわれがこういったチャーターを契機に反省する点、あまり今までいい話ばかりですぎたものだから、そういった点があつたら今後、いろんな会合をもたなければいけない、さしあたり木材部会もひかえているし、いろんな面でのJICだけの会合じやなくて、あるチャーターを経験したうえで、いろんな会合について、お気付きの点があつたらご両人から、一ことだけでもおききして反省の資料にしてみたいと思います。

#### ◇浜 崎

僕はチャーターをやって、その後のJIC活動の上で、生きたいとその当時感じたことは、まず第一に、殿さんのかんろくそのものだという感じがしまつて殿さんのかんろくそのものだと感じています。職務分掌制、理事長とか副理事長とか委員長とかあるわけですが、やはりああいう事業をやるときは決して一人でやろうと考へてはいけません、ヘッドを中心に各分担をきめて、みんながもろあがる気持ちでその事業を成功させようという気持ちをつくりあげていきたい、第二に、今でも鳥取のみならずこのJICでも困まっている問題だらうと思うんです。

ロータリー、ライオンズにくらべて、非常に悪い点の一つある、それは経営、事業の第一線にたつておられる連中のあつまりかも知れないが、事務的な連絡が不徹底ということが、いまだに残っている、チャーターのときも池田さんの宿舍の問題あれは実は池田さんの方から観光ホテルと指定があったそうですが、われわれは小銭屋に決定してしまつた、そういうふうなことも青年会議所の事務連絡不徹底であるという原因だったようにおぼえています。ぼくはあとで大変しかられたんです、片方の旅館から待従の方から岡山を通して電話があつたんです、そういう二つのことを今後も経験して生じていきたいと思ひます。

#### ◇池 内

さつき少年野球のことにかんがみて、浜崎氏がいつていたように、やる人はやる、やらない人は欠勤メンバーとまではいかななくても比較的活動的でない人であるということ、どうして熱心な人と同じように働いてもらうようにするかというのを一つの問題だと思ふんです。チャーターの時はありますが、とにみなさん一致協力していただいたんですけど、その後事業がふえるにつれて今といった様な現象が起るのを一番おそれる。

#### ◇司 会

たしかにこれはいつでもいえる事ですが、浜崎君のいわれた職務分担の明確化といいますが、われわれJICメンバーというものは一番忙がしい立場にいる人間だと思ふんです。いまちようどいい話でしたが、今後のJIC活動についても職務の分担と権利義務の管理というものをこういった機会に再反省したいと思ひます。

### ◇金田

今いわれた点が計画性をもってさせなければいけない、私は細かい点だけ二つミスがあったと思います。千宗興氏の記念講演をやった時の会場が鳥取の図書館であること、あの会場をみておどろいたんです、盛装してすわれる場所がなくて立っておられるんです。四、五人でぞうきんをもって走ったけど間に合わなくて、ハイヤーを四、五台よんでかわって会場を変えて、なんとかその場をつくろったわけです。

それからもう一つは、かさおどりが非常に良かったんですけど、ただ一緒に観光バスにのついでいったんでは時間がかかってしょうがない、そのために懇親会に帰るのが二、三十分おくれ、これははじめから用意させとけばひじょうにはやく出きたんですけど、もう少しスムーズにやろうと思えばやれるわけです。

### ◇三宅

五年にして中国地区の協議会長を鳥取J.C.が出し鳥取J.C.が中国地区のみならず全国的にもひじょうに進んだJ.C.であるというふうな見方、考え方というものも序々にではありますけど徹底してきているように私は考えます。そういつた面で過去の鳥取J.C.をふりかえてみまして、われわれ鳥取J.C.が将来どうあるべきかみなさんでご検討していただいで、今日の座談会が記念誌にのりましてこれが鳥取J.C.のメンバーが読まれたさいに、今後の鳥取J.C.のあり方というものについてご経験のふかい方ばかりでございまして、一つの参考にしたと思います。

みなさん、事務局長さんはじめそういった面でも去をふりかえりながら、将来のありかたというものについてお話をうけたまわりたいと思います。金田

さんちよろどOBになられたわけですが、へたな小姑とということじゃなかった、ありがたい親玉だとわれわれ思っておりますので、ある程度フリーな立場であるので出来ましたらひとつおねがいがいいと思います。

### ◇金田

たしかに、五年の鳥取J.C.の歴史というものは、みなさん方の優秀な方々の力を合せた努力だと思えます。とくに山陰地区では前後に一人しかない浜崎君を鳥取J.C.の理事として、地区協議会長におくたたと、これは鳥取J.C.の大きな誇りであり実績だと思います。それからさきほど申しましたが、一年目は会員相互の親睦が大事だと考えていたし、一年の後半から二年目にかけては、大体奉仕的な活動ということにみなさんの目を向けた、チャーター記念事業に交通安全標識だとか、交通の標示板だとかあるいは生徒の子供の慰安だとか奉仕活動の方にもだんだんとみなさん目が出てきて、そういう上にしあわせなことには、三年J.C.歴を持ったんですが三年目には優秀な浜崎君にバトンを渡して、私自体が中国地区の副会長として、中国地区のためにも、務めさせていただいたと、そういうような印象が私自身、皆さんに感謝と私のJ.C.への思い出として残るわけです。鳥取J.C.への苦言というのではありませんが、会員六十名前後というのはかなりよくまとめるし、活動する組織体としてもころあいではないかと考えられます。

ただ一般的に、独善的になってやるのもいけないし、また若いからといって、勇氣はもたなければいけません、控えめすぎても、でしゃばってもいけない、せつかく明日への指導者として習練をむかえるわけですから、みなさん自体、青年会議所の場だ

けでなく、一般の会合にもどんどん出席されて、青年としての発言をされたまた実際の行動において、みなさんの常識をおしめしになることが、望ましいのではないかと思います。

### ◇司会

そうですねでは次に二代、三代の理事長浜崎さんにおねがいがいいと思います。

### ◇浜崎

私が今まで五年間J.C.生活を通じて、J.C.に入ってよかったと思うのは、若いものの集いだから当然かも知れませんが会員同志がもちろん鳥取J.C.内でもそうですし、全国のメンバーがフランクな気持ちで話ができ、交際できることが一番いいことではないかと思えます。その一つの例として、さきほど金田さんの話にでていましたが、鳥取がチャーターをやりました時に、お世話になりました、中国地区の協議会長は鴨井さんです。私が昨年地区協議会長をしているときに、井原青年会議所が創立されたんですけど、その時に、たまたま鴨井さんの出身地である倉敷がスポンサーであり、しかも鴨井さんが拡大会員であったことということで井原J.C.の代表者をつれて鳥取の商工会議所に私をたずねておみえになった。昔の言葉でいうと、主客転倒ということだったわけです。私の方にしてみれば、五年前にお世話になった地区協議会長の鴨井さんがおみえになったんだから少々かたくなりながら話をしていたんですが、一年生と同じ立場になってよろしくたのむということを井原ともどもに鴨井さんが低姿勢でおっしゃったわけです。あ、いう態度をみまして、ひじょうに僕はみならう点があったと、それと同時に、やはりJ.C.歴の古いものも新しい者も、

ともかく会員であり、よりフランクな気持ちで、話し合える会というものに、大きな魅力を感じたわけです。そういったことが、一番大きなJCに対するよろこびです。

#### ◇司会

坂尾さん、まだ大分任期がありますが、半年間いろいろな感想があると思います。

#### ◇坂尾

いろいろ先輩の方々のご意見をきかせていただいて、現理事長と致しまして、力のたらないということとは、最初から分っていたんですが、しかしJCに入ってよかったと皆さん、さきほどお話しになりましたが、本当にその意味においては何ともいえない今日の青年会議所の理事長という責任なり、色んな意味で勉強ができ、おたがいにトレーニングして私個人として、大変幸せに思っているわけです。今度、鳥取青年会議所が将来、ずつとのびていくということについて、大きな期待を当然持たざるをえないわけですが、それといえますのは、さきほどからお話がありますように、JCというものは、皆が同じ気持ちになって、気軽に話し合いました、おたがいに、責任分野において、責任をもってやるというそういう意味におきまして、今年度も余すところわずかに四ヶ月になったわけですが、各委員会が立てた事業計画も八割程度スムーズにできているわけでございます。できた結果において、やはりJCの若い実行力をもった会員といえますか、その意味において、立派なものがあったと、自信をもつわけではありませんが、力を出せばできるんだということと、心から会員みなさんに協力していただいたことについて、ひじょうにうれしく思っています。

将来を荷なうわれわれの修練ということを考えますと同時に、日本の将来を背おう若い青年をこういう組織に導いて、今日の基盤を造っていくことで、今日のわれわれは、幸せになるんだと考えるわけです。

もうあますところ四ヶ月あまりですが、JCの会員として、諸先輩をはずかしめない様に、努力したいと思っております。どうぞよろしく願います。

#### ◇司会

どうもありがとうございます。時間がながくなるようですので、結論としましてOB会員になられた金田さんと、生みの親である事務局長さんとに過去五年間のJC批判と、それから将来こうあってほしいというふうな点について、ぜひお話を聞きかせただいて懇親会をおわらせていただきたいと思っています。

#### ◇鈴木

ご指示がございましたので、現在でもおやりになっているわけですが、あらゆる公をとおして商工業の発展のために、力強い一つの発言をしていただきたいと思えます。浜崎さんがおいでになっていたと思いますが、観光に対する公聴会を農協会館でおやりになりました、あ、いうことでもJCが主催でやられたということがひじょうに反響をよび、そのいろいろなおやりになりました。経済放送討論会など年をとったかたは年をとったかたでいいところもございしますが、どうも商工会議所の会合をひらきましても、どうも事務局の一任といえますか、事務局の方でいろいろ報告して、それでお願いします、けつきよくいろいろな議題をもってディスカッションしていただくということも年をとりますと、消極的になる

ものでございますから、今後はさきほど申しあげたことと重複しますが、奉仕団体ということも非常に重要でございますが、鳥取の商工業会のためにあらゆる機会をとおして、積極的な発言をしていただきわれわれもあらゆる機会に商工会議所の方にもJCさんの意見を大いにとりあげてやりたいと思っております。今後その事をよろしく願います。

#### ◇金田

只今、鈴木さんがおっしゃいましたように、青年でありますから右顧左顧されることはないと思いますが、みなさんが先頭きって、今いわれたような、商工、実業会の問題につきましても、いつでも大いに発言し、地域社会のリーダーシップをとっていただきたい、それがためにはみなさんがその様な言論行動をとられることが、地域社会の発展のムードづくりになると思えます。事業体として考えると、非常にちぢまなければなりませんし長続きも困難だと思えます。そういう意味で、みなさんにおたがいに切磋琢磨にしていいただきたい、みなさんがゆうゆうとしておたがいに、忠告もしあい、はげまし合い、よろこびも悲しみも、共にされるような一つの組織体であっていただきたいと思えます。

#### ◇司会

どうもありがとうございます。ひじょうに長時間にわたりました有意義なお話しありがとうございました。話はいろいろつけないと思えますし、私の司会が不手際なため、話があい前後したり発言できなかった点があると思えますが、司会者の不なれをご容赦ねがひまして今日の懇談会を終らせていただきます。

## 経済委員会を顧みて



石黒松雄

吾が鳥取J.C.が設立されて、早や五年の歳月を迎えるを聞き今更乍ら年月の早さを思うと共に感慨一しをなると感じます。この五年間私自身についても色々変転をかぞえることの多いかたことを思いますが、特に吾が国の経済成長の伸びは私達の経済生活の中に切実に身を以て感ぜられるところです。そのさ中において昭和三十七年度浜崎理事長のもとに経済委員長の大役を引受け玉木副委員長を始め熱心な諸兄の御支援を受け一年間どうやら過ぎて頂いたのですが、結果日本J.C.から表彰を受けるの栄を始め私個人としてもJ.C.生活に於て思い出多き年と思つて居ります。然し乍ら顧みて当時約束し乍ら果し得なかつた数々の仕事を思い誠に申訳無く存じて居るところであります。

一九六二年日本J.C.のテーマとして「経済の成長になえ・J.C.」のスローガンのもとに地域経済発展の為にローカルJ.C.の活動を要請されたのであります。

これに応じ理事長の強い要望指示もあり次の事業を計画しました。

一、郷土経済向上の為の公開討論会を開催し世論の喚起を促す。

二、J.C.デーに行政の責任者を囲んで経済問題の討論を行ひ吾々若き経済人の主張を訴える。

その他色々の計画を組みましたが右の二点を重点的に採り上げることにしました。

公開討論会については種々方法論が出たのですが、画期的にラジオ公開放送討論会を開催し大いに世論の伸長を促すと云う意気込みで山陰放送のラジオ電波を通じ四月十四日農協会館ホールに於て放送討論会を開催しました。

「鳥取市の発展策はいかにあるべきか」のテーマで今回第二次及び第三次産業を中心とし

- 一、商店街の発展策 鳥取商店連合会谷口会長
- 一、工場誘致問題について 商工会議所経済対策委員会清水委員長
- 一、中小企業と労働運動との関連について 県労働

一、観光開催について 鳥取市佐々木助役  
広田事務局長

以上のスタッフで日本海新聞論説委員長鈴木実氏の名司会に依り放送討論会を盛会裡に終えました。

内容その他については大方会員諸兄が御承知頂いて居ると思ひますので省略致します。

画期的であったと思ふこの事業の結果を反省して次のことが考えられます。

一、当初のこともであり且一般にアピールすると云う目的があつたので止むを得なかつたとも思ひますがテーマが多すぎて実際の討論ということにならなかつた。

二、花火的なことに終り講師の発言内容を取上げJ.C.としての意見の開陳又は討論を行ひ、鳥取市地域経済に対する主張を打ち出すことが出来なかつた。特に高度経済成長に伴う地域経済の歪正に対する検討といった様なことが継続的に検討されるべきであること痛感されます。

次に第一次産業の問題を如何に取上げるかを検討したが(1)J.C.メンバーの中に関係者が少ないこと(2)業態を鳥取市を中心として考えることは無理であり全県的な問題として取上げなければ意味が無い。

その他の配慮からして倉吉、米子J.C.と協力協同して取上げることにしました。前記の通りJ.C.メンバーに直接関連者が少ない関係

上市街地と農漁村との関係等を如何様考えて行くべきであるかといったことを念頭に置きながら勉強するという意味に於て座談会形式で実情を拝聴することにしました。

三J.C.共催で十月二十日農協会館に於て次の講師から鳥取県の実態を詳しく説明して頂きました。

- 一、林業問題について 鳥取県森林組合連合会 田中専務
- 一、農林基本法を中心として農家経済の方向について 鳥取県農業協同組合中央会大森参事
- 一、農業の流通機構を中心とした農業の方向について 鳥取県経済農業協同組合連合会横川専務
- 一、農林政策の実態について 鳥取県

この問題についても放送討論会と同様な反省が考えられますが、特に本県経済の実態からして直接関係のない者と雖も充分内容を検討し非常に困難な問題点を持つ第一次産業に対し深い理解とその上に立つ県経済の発展の為J.C.マンとしての意欲があつて然るべきでないかと思ひます。

次にJ.C.デーの統一行事として「市長を囲む懇談会」を九月三日開催し市長並に教育委員長長の御出席を得て

一、地域経済開発に対する市行政のあり方。  
二、青少年輔導を中心とした社会教育の問題について当委員会が担当で行ひ直接行政責任者との話合だけに熱のはいった懇談会であつたと思つて居ります。

これ等一連の行事を反省して若い経済人の集いである青年会議所として絶えずの検討と地域社会に対するJ.C.マンの見識をアピールすることが必要ではないかと痛感します。

日々多忙に追れ且つ才能浅学の私がJ.C.活動に怠慢であり乍ら会員として諸兄の友情により楽しいJ.C.生活をさせて頂いたことは深く御詫びなり御礼を申し上げますと共にOBとなつた今日格別の御指導を御願ひ申上げ鳥取J.C.が益々地域社会の為に貢献されます様御祈り致します。

鳥取市少年野球大会も早いもので今年四回目を迎え恒例の猛暑八月に小田委員長の指揮で無事終りました。

鳥取市、日本海新聞社との共催で始まったこの大会

## 少年野球大会を 立派に育てよう

鎌田 悟一郎



も、最初は文部省通達で校区対抗は駄目との事、各町内子供会単位で、ユニフォームも統一せず選手のレベルもまだまだでした。

第四回を迎えた今年など、少年達の服装（ユニフォ

開会式で宣誓する日進チーム主将



砂風をおさえる為わざわざ出動した消防車



優勝旗授与西尾副理事長



ーム)も統一され選手の体格も技術も立派になってきました。第一回、第二回を青少年委員長として努めた私にとって感無量のものがあります。この大会は少年達に取っては夏の甲子園大会の様に期待と闘魂を以って迎えられています。夏休みの善用運動と少年のスポーツ精神の高揚、あらゆる意味で有意義な大会だと思います。又今年から理事長の広域経済の立場より八頭郡岩美郡、気高郡の小学生達も参加して鳥取県東部の少年野球大会と発展してきました。

扱て、この少年野球大会に就いて皆様にお願ひ申上げたい事は八月の理事会でも苦言を呈した訳ですが、何と云っても夏の行事のメインイベントですので会員諸兄全員の協力が無ければとても出来ない事です。夏の炎天下でやる事業ですので可成りの苦痛もあり、

然も三日間連続の大会ですので手伝いする人に取り大変です。然し会員諸兄の中で誰が担当の委員長になるか或いは副委員長、又担当委員会に所属するかわかりません。一委員会の事業としては実行不可能で、鳥取JCの仕事として是非協力して子供達の夢の祭典である少年野球を大きく育てましょう。野球部員の方は審判員を、野球をやらない方は朝夕のテントの用具、ライン引き等の諸準備に元氣を出して頂く様。私はこの大会は会員諸兄の夏の修練の場として自覚と責任を以って立派にやり抜いて頂きたいと思えます。来年は第五回を迎え市も新聞社も盛大にやりたいと張り切っています。少年達も来年を期して一生懸命に練習する事でしょう。吾々会員で少年野球を立派に育てましょ

## 鳥取JC5年間の歩み

### ～34年度～

- 33.12.20 設立準備委員会(第一回)  
 34.1.25 創立総会 商工会館 役員決定 会員47名  
 来賓児嶋卯吉、米原章三、入江市長  
 34.3.7 日本JC理事会に於て入会認承  
 34.9.19 認承証伝達式 商工会館別館ホールJC  
 会頭 千宗興 30JC参加池田隆政、厚子  
 34.12.16 クリスマス・パーティ 商工会館別館ホ  
 ル

### ～35年度～

- 35.1.9 新年祝賀会 於浜の家  
 35.2.15 認承記念時計塔引渡式 市長、鳥越  
 35.4.25.26 国際見本市視察、大阪JCとの交歓  
 (産経会館)  
 35.9.26 交通事故表示板贈呈式(駅前)於ナショ  
 ナル会館  
 35.10.8 中尾、長尾君世界会議出席  
 35.11.16 中国地区野球大会 於岡山県営球場 結果  
 第二位  
 35.12.18 クリスマス・パーティ 於大丸

### ～36年度～

- 36.1.9 新年祝賀会 於三朝・岩崎  
 36.1.27 報導機関との座談会 於 丹頂  
 36.3.4 中学卒業就職者激励大会 於 安定所  
 36.4.13 天球丸え水銀灯建設費寄付  
 36.5.7 春の家族会(ジソギスカン)於 砂丘  
 36.5.16 春の交通安全運動自動車パレード、モデル  
 校表彰式  
 36.7.2 米子JCとの野球、ゴルフ大会 於 公設  
 グランド、鳥取ゴルフ  
 36.7.9 津山JCとの子供交歓会 於 賀露海岸津  
 山若葉学園児招待  
 36.7.25 夏の家族会 於 日和山海岸  
 36.8.7.8.9 第一回少年野球大会 於 遷喬、明德  
 36.8.13 白兎学園訪問 花火大会、クリスマス  
 36.10.1 坂尾君、世界会議参加 於 プエルトリコ  
 36.10.8 中国地区野球大会参加 於 米子湊山球場  
 36.10.9 事故表示板修理(駅前駐在所横)  
 36.12.16 クリスマス・パーティ 於 自治会館

### ～37年度～

- 37.1.26 経済記者との座談会 於 小銭屋  
 37.3.2 中卒者就職激励大会 於 体育館

- 37.4.14 第一回経済放送討論会 於 農協会館  
 37.4.18 労働講座(二回) 於 大丸  
 37.4.19 積善学園児を米子自衛隊招待。飛行機に乗  
 る。トモシビ会参加  
 37.5.12 春の交通安全パレード並に市内小中学校え  
 安全旗贈呈  
 37.5.13 春の家族会 16本 松ジソギスカンナベ  
 37.6.3 施設児童の合同運動会 於 砂丘230名  
 37.6.16 アユ狩り 於 河原 菊乃家  
 37.6.23 アクロンJCとの児童画交換記念展覧会  
 於 大丸  
 37.7.23～25 水島コンビナート視察 於 岡山、水島地  
 区山陰統一行事  
 37.8.5 夏の家族会 於 夏泊、浜村海水浴  
 37.8.13 経営セミナー参加 於 倉吉県下統一行事  
 37.8.16 第二回少年野球大会 於 公設、西中  
 37.8.20 会員自動車に事故病止ナンバー取付け 約  
 120台(セナンパー)  
 37.9.19 市長を囲む座談会 於 日ノ丸自動車 全  
 国統一行事  
 37.9.30 文化講演会 於 日ノ丸劇場  
 講師 有馬頼親 福田恒存  
 37.10.20 第一次産業を語る座談会 於 農協会館県  
 下統一  
 37.10.28 秋のリクリエーション 岡益石堂 スキヤ  
 キ会  
 37.12.16 クリスマス・パーティ 於 商工会館
- ### ～38年度～
- 38.1.3 第一回中国地区協議会 商工会館  
 38.1.16 定時総会 鳥取大丸  
 38.1.15～20 日米交換アメリカ児童画展 鳥取大丸 教  
 育青少年委員会  
 38.2.17 山陰ブロック会議 出雲市体育館  
 38.2.26 新会員研修会 ナショナル会館 会員委員会  
 38.3.3 積善学園ひな祭 積善学園 社会福祉委員  
 会  
 38.3.13 坂出JCとの交歓会 商工会館 総務委員  
 会  
 38.3.20 報導機関との座談会 千鳥 国際広報委員  
 会  
 38.4.11 都市計画研究会 鳥映グリル 経済活動委  
 員会  
 38.4.23 白兎学園リクリエーション 砂丘チャーリ  
 ップ 社会福祉委員会  
 38.5.3 春の家族会77名 白兎海岸 会員委員会



38. 5.23 中国地区会員大会 米子 34名参加  
 38. 5.27 文春文化講演会 日ノ丸劇場 LT委員会  
 38. 6. 2 津山JC5周年記念式 津山 8名参加  
 38. 7.17 臨時総会 大丸クラブ室 42名出席  
 38. 8. 4 夏の家族会 55名大山 会員委員会  
 38.8.8~10 第3回市少年野球大会 17チーム 教育青少年委員会  
 38. 8.12 白兎学園花火大会 社会福祉委員会  
 38. 8.21 定時総会 商工会館 38名出席  
 38. 9.13 市長を囲む会 31名 鳥銀ホール 経済委員会  
 38.9.16~20 国際JC沖縄大会 沖縄 浜崎、中尾  
 38.10.3~5 第12回全国大会 金沢  
 38.10.20 施設児童運動会 砂丘 社会福祉委員会  
 38.11. 9 第1回青少年音楽祭 体育館 教育青少年委員会  
 38.12.11 新旧合同理事会 会館第一会議室 24名参加  
 38.12.21 臨時総会 クリスマス家族会 会館別館

~39年度~

39. 1. 3 新年宴会 宇倍神社

39. 2. 6 報道関係者との座談会 商工会館  
 39. 2. 8 スリーピングメンバー対策  
 " 新会員研修会 ミカド  
 39. 3. 8 積善学園ひな祭 積善学園  
 39. 3.28 市公会堂、総合グランド建設座談会 商工会館  
 39. 5. 5 JC、積善学園「砂丘」 リクリエーション 砂丘  
 39. 5.24 各施設合同運動会 砂丘  
 39. 6. 5 「くるみ座」公演 日ノ丸劇場  
 " ブランコ贈呈式 久松公園  
 39.7.21~22 岡山、玉野市民会館 視察  
 39. 7.30 教育座談会  
 39. 8. 8 善意銀行「山の子を海へ招待」 十六本松  
 39.8.11~13 鳥取東部少年野球大会 公設、酔風  
 39.8.16~17 山陰ブロックLT委員会主催 夏期セミナー 大山  
 39. 8.25 白兎学園花火大会 白兎学園  
 39. 9.11 鳥取豊岡JCとの懇談会 商工会館  
 39. 9.24 日本JC木材部会大会 鳥取

## 船に乗ったり・泳いだり

鳥取青年会議所が津山の施設の子招く

### 賀露児童会と図画など交換

昭和36年7月9日  
**海と山の子が楽しこ一日**

岡山県津山市の孤児収容施設「わかば園」の子どもたち三十人は、九日鳥取市賀露海岸で賀露児童会の二十人と交歓会を開き、船に乗ったり、泳いだり山の子も海の子も楽しい一日をすごした。

これは三十六年四月、鳥取市積善学園の子ども三十人が津山青年会議所の招きをうけたお礼に、こんど鳥取青年会議所が招いたもので、津山青年会議所のおにいさんたちにつきそわれ同日午前九時四十八分鳥取駅着列車でつき、出迎えの鳥取青年会議所の会員十人とただちに貸し切りバスで賀露海岸に向かい、ここで出迎えの賀露児童会のことどもたちと交歓会を開いた。

栗田秀美君(一〇)「賀露小学校五年」が「遠いところを、わざわざよくおいでくださいました。きょうは楽しく遊びましょう」と歓迎の言葉を述べ、これに対して大松篤子さん(一二)「津山西中一年」が「山に育った私たちが、こんどはじめて海をみる事ができてこんなうれしいことはない。きょうの思い出は長く忘れないでしょう」と答え、大松さんから千羽鶴や手芸品、山の絵をかいた図画を渡せば栗田君は海の絵をかいた図画を差し出し、みやげを交換した。

このあと二班に分れ鳥取県漁業監視船はやぶさ丸(三七トン)に乗り賀露沖を一巡したり、海水浴を楽しまし午後三時半お互いに別れを惜しみながら帰路についた。



(スピーチする金田理事長)

(当時日本J.C会頭千宗興君)





(池田隆政御夫妻)



(池田厚子夫人)



(勢ぞろいした我がチャーターメンバー)



文春講演会のため来鳥した有馬頼義、福田恒存、中山義秀(左から)の各氏



(S 38.1.3. 中国地区協議会開かる中央は浜崎芳宏会長)



(S 38.10.20. 施設児童運動会から)



(S 38.10.20. 山根理事長)



(S 38.9.13. 市長を囲む会 高田市長)



## ア ク ロ ン J ・ C と の 児 童 画 交 換

長 尾 正 道

此の事業は私が「言い出しべえ」であったから、メンバー諸兄の賛同を得て教育青少年委員会の正式事業として一九六二年三月二十一日に最初の手紙を発送して児童画交換の申し込みをして以来、本年、すなわち六四年七月にアクロンから賞状と賞品が到着して事業が完了するまで、まるまる三年間、責任に苛責され、少なからずストレスの原因となった事であった。

当時理事長は浜崎芳宏君、其の間、私の所属はLIT委員会であったが、本業の方は疎そかにして、当時の教育青少年委員会の阿部君の自宅をお借りして、島田君、小田君、吉田君などの応援と督戦の下にタイプを叩いて手紙を書き、こちらから送る作品を整理したりなどした事は大変懐かしい思い出である。特に一夜、深更に及んで一晩阿部君宅に泊めて頂いた事もあった。

斯くの如く私達は一生懸命のアプローチに努めたが昔は太鼓があってもバチがなければ鳴らない様に、先方の反応がなくてはどうにもならず、私あてにアクロンのスマス理事長や、エリクスン君などから私信の連絡が届くだけで一向本格的な返答が届かず、さすがの心臓は人並の私もちかり元気がなかった。私は、今の仕事の前は貿易で、手紙書きで食べていたから私の手紙が要領を得ぬとは考えなかったが、やはり儲けを目的とする手紙とこの様な手紙との交流の速度には相当の差を考えて置くことが必要であると悟った。

当初は秋の十一月頃を展覧会の目標にしていたが到底その様な早い時期に期待は持てなかった。

繰り返し手紙を出し、時々電報を打って注意を喚起したりしている横では、アメリカに送る児童画の準備が進んで、教育青少年の諸君の手によって八月下旬鳥取大丸で展示会が開かれ、海を渡る児童画として盛大な歓送を得た。この画は九月十三日、私が依頼して飯野海運の好意で海を渡った。

ア Kron 側からの連絡が悪くて全く頼りない気持ちであったから、鎌田君が私に「アメリカへ出掛けて催促して来てくれ」などという冗談も本当にその気で聞く程であった。然し私達の児童画の現物が到着すると、のん気なア Kron の諸君も漸く腰を上げた様子であった。十月十三日に電報が入った。

APPARENTLY LETTER LOST  
GATHERING ART MATERIALA NOW  
COULD YOU ARRANGE ANOTHER  
EXHIBITION DATE LETTER  
FOLLOWING ACCEPT APOLOGIES  
AKRON JAYCEES

この電報を受け取って、私は精がなくてうんざりもしたが、脈がある事も判ってほっともした。もう忘れがたが恐らく阿部君、島田君、吉田君の担当諸君に直ちに連絡し、併せて鎌田君にも嬉しそうに一報した事であらう。

電文は次の意味であった。

「来信が紛失して御迷惑をお掛けしました。目下児童画を集めています。大変申し上げ憎い事ではあるが展覧会の日取りを延期して待つて頂けないかとふみ。失礼は重々お詫びします。

ア Kron JAYCEES

ア Kron からの作品は十一月にパンアメリカン航空便で届いた。鳥取市の絵の先生方の手で優秀作品が選ばれて、二百点以上の絵と数点の工作品が翌年の一九六三年正月十五日、鳥取大丸催し場で華々しく展示された。

当日は高田市長が来場テープを切って頂いた。理事長は山根君、浜崎君は地区会長であった。私はこの年も教育青少年委員会に所属はしていなかったが実質のプロベラの役割を努めて来た事であったから喜びは一

しおであった。一九六一年の一月十三日、グッドイヤーラバー社の本社タイヤ工場を訪問するためにア Kron 寒風のア Kron 空港に降りた時、パリの世界大会と一緒にになったニューマン理事長が迎えに来て呉れて、数日の滞在期間中いろいろと案内に努め、また JAYCEES 活動を具体的に示して呉れた。孤児施設への案内、ボイススカウト・キャンプへの招待、ドイツの孤児への救援衣料品の発送、キャホーがフオール J.C. 例会出席、諸メンバーとの夕食会など有意義な多くの案内に接し、他都市で接した JAYCEES よりも一層印象が深かった。

自宅の昼食に私を招いてくれたハチソン君は大変画を描くことが好きで偶々児童画交換の話が出た。この度の児童画交換に彼が役割を果たしたかどうかは私にはわからないが、恐らく一役買って呉れた事であらう。パリの世界大会に出席して、私達の日常が海外と大変縁が薄い事を痛感し、私達の鳥取市でも、海の向うの国と手を携ぐ事が出来ることを、証明出来るなら、私が出来るささやかな貢献であると願ったのであった。其の後、依然連絡不十分のまま、次の川島委員長の下で阿部君が三井物産の協力を得て賞品を送り、本年に入って小田君の力でア Kron から賞品と賞状が到着して漸く三年越しの事業が完了した。

思えば海を隔てたアメリカとの事業であったから、半年や一年でまとめようと、あくせくした事が私達の島国根性であったとも思われる。

私が日常の商売に追われて十分に活動しないので、阿部君、鎌田君、島田君、小田君などに随分気をもまれたことであった。これらのよき友人達のそれぞれの苦心談は別に語られるべきものであるから、専ら私を中心の苦心談に終る事をお詫びします。

## 市民ホール建設基金 三〇万円を贈る

### 大成功を収めた

#### チャリティーショウ

#### くるみ座の熱演、つつみの女 にわたいた日ノ丸劇場

鳥取 J.C. 五周年記念実行委員会による五周年記念事業の一環としての市民ホール建設促進のためのチャリティーショウは六月五日一八時三〇分より日ノ丸劇場においてくるみ座公演により、つつみの女、を上演して盛大に開催された。

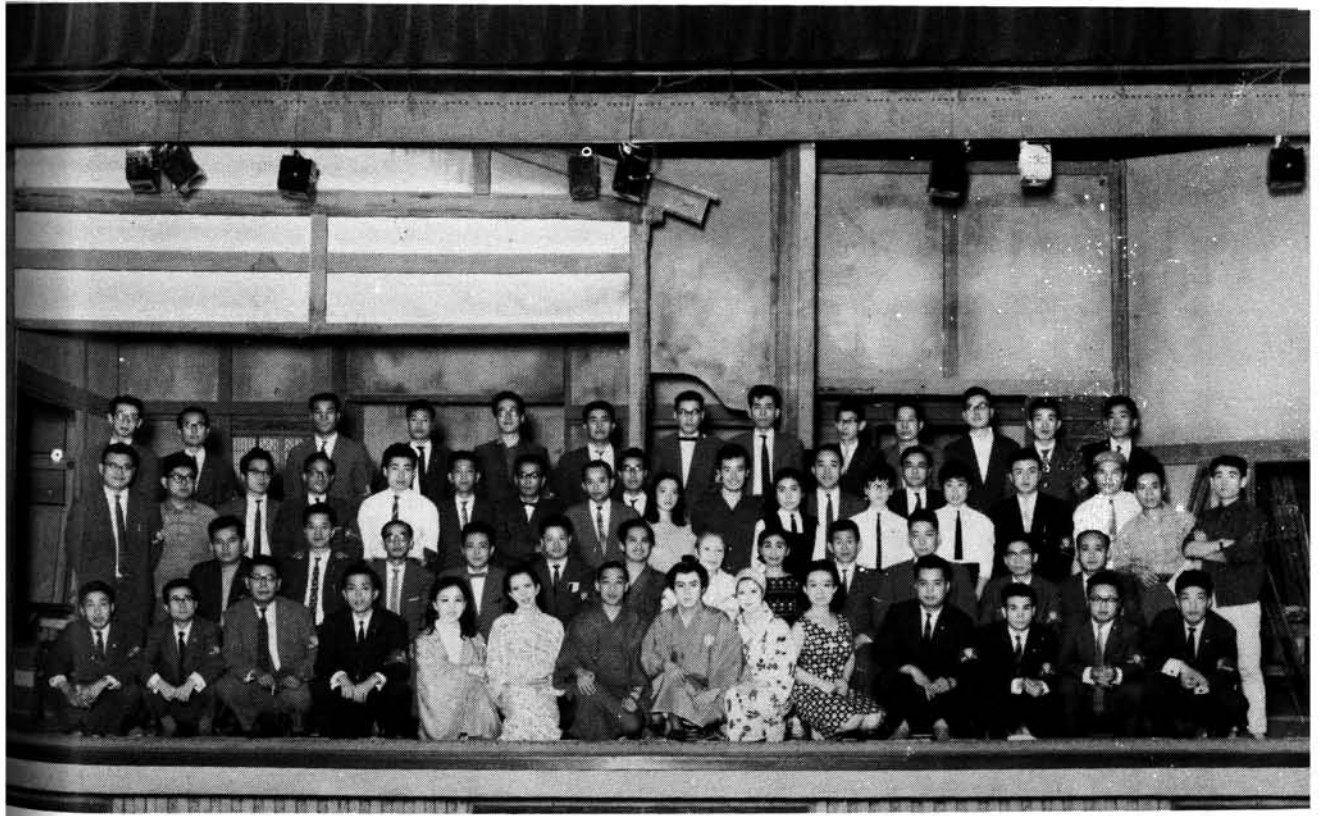
開演に先だち五周年記念実行委員長浜崎芳宏君の挨拶があり、次いでこの公演による利益金三〇万円を鳥取市民ホール建設の基金として坂尾理事長より鳥取市長（代理助役）に贈呈された。

劇場には一、三〇〇名の観客が詰めかけ超満員を呈し、終始熱心に観賞し、くるみ座の熱演におしめない拍手をおくっていた。鳥取 J.C. 初の試みとしては所期の目的を達成し大成功を収めることができた。

当日は会員委員会、社会福祉、教育青少年委員会を中心にして殆どどの会員が参集し円滑なる運営を図るため一致協力した。このチャリティーショウの成果は鳥取 J.C. の団結力と真価を如実に示したものと云えよう。終演後会員一同くるみ座の皆様と記念写真をとり会場の整理を行ない、J.C. ソングを合唱し、成功を喜びつつ散開した。



日ノ丸劇場前 39.6.5.



座員とJCメンバー

# 鳥取青年会議所定款及び諸規定

## 鳥取青年会議所定款

### 第一章 総 則

#### 第一条 名 称

本会議所は鳥取青年会議所 (Tottori Junior Chamber of Commerce) と称する

#### 第二条 事務所

本会議所の事務所は鳥取商工会議所内に置く

#### 第三条 目的及び原則

一 指導者訓練 (Leadership Training) を基調とした青年の個人的修練、社会への奉仕及び會員相互の親睦

二 地域社会における社会、経済、文化に関する問題の研究実施

三 正しい経済の発展

四 日本青年会議所及び国際青年会議所の機構を通じて日本、世界の青年と提携し、国際的理解及び親善を助長し且相互信頼を増進する

本会議所は特定の個人又は法人その他の団体の利益を目的としてその事業を行わない

本会議所はこれを特定の政党のために利用しない

### 第四条 事業

本会議所はその目的達成のため次の事業を行う

一 會員の個人的修練及び相互の親睦に資する行事の開催

二 産業、経済、文化に関する研究、並びにその改

善発達に関する研究実施

三 社会奉仕事業及び青少年問題に関する事業

四 国際青年会議所、日本青年会議所、並びに国内

国外の青年会議所及びその他の諸団体との提携その他本会議所の目的を達成するために必要な事業

#### 第五条 細 則

本定款の施行に関する細則は、理事会の決議を以て定める

### 第二章 會員、会費

#### 第六条 會員の種類

本会議所の會員は、次の四種とする。

一 正會員

二 特別會員

三 名誉會員

四 維持會員

#### 第七条 會員の資格

一 正會員

正會員は鳥取市、岩美、八頭、気高各郡に居住する満二十五才以上四十才未満の品格ある青年でなければならない。

但し年度中に上記制限年齢に達するときは、その年度内は制限年齢をこえて正會員の資格を有する。本会議所に入会を希望するものは、會員

二名以上の責任ある推薦により別に定める「鳥取青年会議所會員資格規定」に基き所定の入会

手続により申込む。

入会の可否は、理事会の決定による。正會員は總會において各一個の表決権を有し、本会議所役員及び日本青年会議所役員並びに委員に選任される資格を有する。

二 特別會員

特別會員は制限年齢に達した正會員のみがその資格をもつ

特別會員に関する細目は第一項の鳥取青年会議所會員資格規定による。

三 名誉會員

本会議所に功労あるものは、理事会の決定により名誉會員に推薦する。

名誉會員は該年度のみとする。

但し重任及び終身制を妨げない。

四 維持會員

本会議所の趣旨に賛成し、その事業の発展を助成することを望む個人又は団体は理事会の決定により本会議所に維持會員として入会することができる。

#### 第八条 会費、入会金

會員は入会に際し入会金を毎年所定の納期に会費を次の通り納付しなければならない。

入会金 正會員 金 一〇、〇〇〇円

特別會員 金 二〇、〇〇〇円

維持會員 金 二〇、〇〇〇円

(注) 同一事業所で會員の交代の場合は二分の一の入会金とする。

会費 正會員 月額金 二、〇〇〇円

#### 第九条 退 会

退会を希望する會員は、退会届を提出しなければならない。年度中途で退会しても既納の会費は返還しない。又会費納入前に退会を届出てもその年度の



会費は納入しなければならない。

#### 第十条 除名

会員が次の各項の一に該当するときは理事会の決議により除名することができる。

- 一 本会議所の体面を傷つけ又趣旨に反する行為があったとき
- 二 会費納入義務を履行しないとき
- 三 出席義務を履行しないとき
- 四 その他会員として適当でないと認められたとき

### 第三章 会合

#### 第十一条 総会の決議事項

次の事項は、総会の議決を経なければならない。

- 一 定款の変更
- 二 事業計画及び収支予算の決定及び変更
- 三 事業報告及び収支決算の承認
- 四 役員選任及び解任
- 五 本会議所解散
- 六 次に掲げる事項に関する規則、規定の設定、変更及び廃止

(1) 鳥取青年会議所運営規定

(2) 鳥取青年会議所役員選挙規定

(3) 鳥取青年会議所会員資格規定

(4) その他の規定規則

七 その他特に重要な事項

#### 第十二条 総会の種類及び招集

総会は定時総会と臨時総会の二種類とする。定時総会は毎年一月及び八月、臨時総会は理事長が必要と認められた時或は五分の一以上の正会員が会議の目的事項を示し、請求した場合理事長がこれを招集する。総会は理事長がその議長となる。総会の招集は少くとも会日の十日前までに各会員に対し総会の目的たる事項、日時及び場所につきその通知を発しなければ

ならない。

#### 第十三条 総会の成立及び議事

総会の定足数は正会員数の二分の一とする。

但し定款の変更及び本会議所の解散の議決は、出席正会員の三分の二以上の同意を得なければならない。可否同数の時は議長がこれを決する。

#### 第十四条 例会

本会議所は鳥取青年会議所運営規定の定めるところにより毎月一回例会を開く。

### 第四章 役員

#### 第十五条 役員の種類

本会議所に次の役員を置く

- |       |       |
|-------|-------|
| 理事長   | 一名    |
| 直前理事長 | 一名    |
| 副理事長  | 二名    |
| 理事    | 二〇名以内 |
| 監事    | 三名以内  |

#### 第十六条 役員資格及び任免

役員は本会議所の正会員たることを要し、総会において選任及び解任される。但し直前理事長たる役員はこの限りでない。

役員は選任の方法に関しては別に定める規則による。

#### 第十七条 役員任期

役員は任期は、毎年一月一日より同年十二月三十一日までとして重任を妨げない。期の半ばに選任された役員は任期は、その期の末までとする。

役員は任期終了後、後任者の就任するまで引き続きその職務を行うものとする。

#### 第十八条 役員職務

理事長は、本会議所を代表し、所務を総理し、理事会を召集してその議長となる。

副理事長は、理事長を補佐し、理事事故あるときは、その職務を代行する。

理事は、理事長を補佐し所務を処理する。直前理事長は、理事会に出席する。但し理事会における議決権を有しない。

監事は、本会議所の業務及び財産状況を監査する。監事は理事会に出席して意見を述べることができ

#### 第十九条 理事会

一 理事会は本会議所の運営にあたる。

二 理事会は総会から委任された事項及び総会に提出すべき議題を審議処理する。

三 定例理事会は毎月第二水曜日に開催し、臨時理事会は理事長が必要と認めるとき、又は理事五名以上の要求があるとき理事長がこれを召集する。

理事会の定足数は理事数の二分の一とする。

### 第五章 管理

#### 第二十条 定款その他の書類の備付

理事長は、定款、規則、総会議事録を本会議所事務局に備えて置かねばならない。

理事長は、会員が前項の書類の閲覧を求めたときは正当な理由がなくてこれを拒んではならない。

#### 第二十一条 決算関係書類の提出

一 理事長は、事業年度毎翌年一月に開かれる定時総会の会日の一週間前までに前事業年度における次の書類を作成し、監事に提出しなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 貸借対照表
- (3) 収支決算書
- (4) 財産目録

監事は前項の規定により書類の送付を受けたときは、その定時総会の前日までに意見書を理事長に提出しなければならない。

理事長は前項の監事の意見を添えて第一項の書類を前記の定時総会に提出し、その承認を求めなければならない。

理事長は毎事業年度、前記定時総会の会日の一週間前までに前項の書類を事務局に備えて置かなければならない。

理事長は会員が前項の書類の閲覧を求めたときは正当な理由がなくて、これを拒んではならぬ。

二 理事長は、毎事業年度終了後遅滞なく前項の書類を地区担当理事を経て、日本青年会議所会頭に提出しなければならない。

## 第六章 委員会

### 第二十二條 委員会の設置

本会議所にその目的達成に必要なる重要事項を研究審議実施するために委員会を置く。

委員会の設置は鳥取青年会議所運営規定による。

### 第二十三條 委員の任命

委員会に委員長一名、副委員長一名及び委員若干名を置く。委員長及び副委員長は理事のうちから理事長が理事会の承認を得て任命し、委員は会員のうちから理事会の承認を得て委員長が任命する。

## 第七章 事務局

### 第二十四條 事務局の設置

本会議所の事務を処理するため事務局を置く。

### 第二十五條 事務局長

事務局には事務局長一名を置く。事務局長は事務局を統轄する。

事務局長は理事会の議を経て理事長が任免する。

## 第二十六條 細則

前二條の外事務局に關して必要な事項は理事会の議を経て別に定める。

## 第八章 會計

### 第二十七條 會計年度

本会議所の會計年度は毎年一月一日に始まり、同年十二月三十一日に終る。

### 第二十八條 收入

本会議所の経費は入会金、会費、寄附金、補助金、その他の收入を以てこれにあてる。

### 第二十九條 会費の納入

会費は毎月例会日に持参して納入しなければならない。

## 第九章 定款改正

### 第三十條 定款改正

本定款を改正した場合には直ちに改正定款を日本青年会議所会頭へ提出する。

## 鳥取青年会議所会員資格規定

### 第一章 正会員の加入

第一條 本会議所の正会員として、入会を希望する者は様式第一号による加入申込書並に会員二名以上の様式第二号による推薦書を提出する。

第二條 会員委員会は推薦書により資格審査の上理事會に報告する。

第三條 理事会において承認を得た時は、推薦會員を通じて入会希望者に対しその旨を通知する。

第四條 入会を認められた者は、入会申込書に添えて入会金及び入会の月よりの会費を納入して正會員たる資格を得るものとする。

## 第二章 入会金及び会費

第五條 正会員の入会金は、一〇、〇〇〇円とし入会の折納入しなければならない。

第六條 會員は、毎月例会日に次の通り会費を納入しなければならない。

正會員 金 二、〇〇〇円

第七條 その他特に必要を生じた場合は、理事会の決議を経て別途徴集する。

## 第三章 出席

第八條 會員は、本会議所の会合にはすべて開會時刻の五分前までに集合することを原則とし、常に開會時刻を厳守し會員章を着用して出席しなければならない。

第九條 傷病、疾病その他事故により欠席又は遅刻しようとするときは、その旨を事前に届け出なければならない。

第十條 例會に欠席遅刻又は早退したとき若しくは、會員章を着用しないで出席したときは次の各区分により自発的に本会議所に提出しなければならない。

一 届出のあった欠席五十円以上  
但し第十一条の規定によつて出席を補正したときはこの限りでない

二 届出のない欠席二〇〇円以上

三 届出のない遅刻及び早退五十円以上

四 會員章を着用しない出席五十円以上

第十一條 會員は例會に欠席したときは、次會の例會までに各地青年會議所の例會に出席することによりこれを補正することができる。但しこの場合は当該會員は出席を証明する書類を會員委員會を通じて理事長に提出しなければならない。

#### 第四章 会員の失格

第十二条 正会員が次の各項の二に該当する時は、理事会の議を経て除名することが出来る。

- 一 会費を四ヶ月間納入しない時
- 二 例会に引続き四ヶ月以上出席しない時

第十三条 前項の場合理事長は会員委員会をして会費納入又は出席の督促を行わせ、十日を経過してなお回答のないときは理事会に諮って除名の通知をする。

#### 第五章 正会員の休会

第十四条 長期に亘る病氣、若くは海外出張等により長期欠席を余儀なくされる時は、理事会の承認を得て休会することが出来る。

第十五条 休会中と雖も会費の減免はしない。

長期病欠者に対する会費の減免に關し本人の申し出ありたる場合は理事会の議を得て会費を減免することが出来る。

#### 第六章 特別会員

第十六条 特別会員は本会議所が企画した総ての事業に参加出席することが出来る。

第十七条 特別会員は總會における議決権を有しない。

第十八条 特別会員が定款第十条第一項第二項第四項の二に該当するときは、正会員同様理事会の決議により除名することが出来る。

#### 様式第一

(注) 正式は横書

入会申込書

青年会議所の目的に賛同し、定款承認の上会員として加入致し度く推薦状を添え申込みします。

昭和 年 月 日

住所 (TEL) (〒)

大正 年 月 日生

事業所住所

事業所名称 (TEL) (〒)

鳥取青年会議所 殿

#### 様式第二

(注) 正式は横書

推薦状

鳥取青年会議所定款第七条の規定により会員の資格を有するので加入を承認されるよう推薦します

昭和 年 月 日

推薦会員住所 (〒)

氏名

推薦会員住所 (〒)

氏名

鳥取青年会議所 殿 (〒)

### 鳥取青年会議所運営規定

#### 第一章 目的

第一条 本規定は、鳥取青年会議所の運営を円滑にし併せて事業活動を容易ならしめることを目的とする。

#### 第二章 例会

第二条 例会は会員相互の連絡を緊密にすると共に、本会議所の諸問題を円滑に解決するため、毎月一回開催する。

第三条 会員は本会議所の目的達成のため、例会並に委員会に出席してその事業活動に協力しなければならない。

#### 第三章 委員会

第四条 本会議所にその目的達成に必要な主要事項を研究、調査、審議実施するために下記の委員会を置く。

- 一 総務委員会
  - 二 会員委員会
  - 三 リーダシップトレーニング委員会
  - 四 経済委員会
  - 五 国際広報委員会
  - 六 青少年委員会
  - 七 社会福祉委員会
- 第五条 各委員会の所管は次の通りとする。
- 一 総務委員会
    - (1) 事務局の管理会計に関する事項
    - (2) 総会役員会並例会に関する事項
    - (3) 事業計画、事業報告並予算決算作成に関する事項
  - (4) 定款及諸規定に関する事項
  - (5) その他、他の委員会に属せざる事項

## 二 会員委員会

- (1) 会員のJC活動ならびに事業活動の支援
- (2) JCMメンバーを対象としてJC活動に関する知識のPR
- (3) 新会員の募集に関する事項
- (4) 会員間の慶弔に関する事項
- (5) 会員並に会員家族相互の親睦融和を図る事項

## 三 リーダーシップトレーニング委員会

- 1 リーダーシップトレーニングに関する諸問題の研究
- 2 自己の啓発、経営者訓練等を含むLT計画の立案実施
- 3 リーダーシップトレーニングに関する資料の配布

## 四 経済委員会

- (1) 地域的国家的経済活動の促進
- (2) 新しい経済問題に関する研究、資料の配布
- (3) 経済問題を中心とした論文募集、世論調査の実施、発表
- (4) 講演会、講習会の開催に関する事項
- (5) 経済団体との提携並びに共同事業の実施

## 五 国際広報委員会

- 1 日本JC、中国地区協議会への広報資料の提出
- 2 会報、ニュース等の編集
- 3 日本JCを通じてのJCIとの連絡
- 4 世界会議、アジア地区会議に関する事項
- 5 国際的相互理解友情の促進のための事業計画の立案実施
- 6 その他、広報活動に関する事項

## 六 青少年委員会

- 1 青少年活動分野における事業計画、立案実施
- 2 各青少年施設の慰問、激励に関する事項

## 3 国際的友情促進のための青少年に関する諸行事の実施

### 七 社会福祉委員会

- 1 社会福祉増進に関する事業計画の立案実施
  - 2 社会福祉に関する資料の配布
  - 3 その他、社会福祉に関する事項
- 第六条 会員は少くとも一個の委員となる。
- 第七条 委員会に委員長一人、副委員長一人及び委員若干名を置く。

委員長及び副委員長は理事会の承認を得て、理事のうちから任命する。

委員は委員長が理事会の承認を得て委員のうちから任命する。委員長、副委員長及び委員の任期は事業年度に従うものとする。

第八条 委員長は委員会を代表し会務を総括する。委員長は委員会の会議を召集しその議長となる。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。

第九条 委員会は理事長がその目的を提示して召集を請求したときのほか委員長が必要と認めたとときに開催する。

理事長及び副理事長は随時委員会に出席して意見を述べることができる。

第十条 委員長は委員会の決議事項を文書により、随時理事長に報告しなければならない。

第十一条 委員長は委員会の決議事項を実施するときには理事会の承認を得なければならない。

第十二条 必要あるときは二以上の合同委員会を開くことができる。この場合の議長は関係の委員長の合議によって決する。

## 第四章 褒 賞

第十三条 鳥取青年会議所はその責任において当地方

における青年会議所運動の昂揚を計るために該委員会、個人に対し十二月例会において褒賞を行う。

第十四条 褒賞の計画、実施は理事長の責任とし、該当者の資格を判定し、理事会に提案する。

第十五条 褒賞は次の規定に従い実施する。

- 一 対象委員会及び会員個人（特別会員も含む）の二種とする。

### 二 条件

A 委員会  
a その活動が青年会議所運動に顕著な功績があると認められた委員会

b その他  
B 個人

a 青年会議所運動に顕著な功績があった個人  
b 例会皆勤者  
c その他

### 三 推選方法

A 理事長の推選  
B 委員長の推選

### 四 選衡方法

A 時期 毎年十二月の理事会。但し緊急を要するものはこの限りでない。

B 方法 規定された日時迄に理事長はその資格を判定し理事会に提案する

### 五 褒 賞

A 時期 毎年十二月例会  
B 褒賞は理事長が行う。

## 第五章 その他

第十六条 満期退会々員には、理事会の決議により記念品を贈呈する。

第十七条 会員章（及び腕章）は新入会員には贈呈し希望者には実費にて頒布する。

第十八条 本会が共同購入した物品は、理事会の決定した価格により会員に頒布する。  
第十九条 その他必要な事項は理事会において決定する。

### 鳥取青年会議所役員選挙規定

第一条 役員選任の時期  
毎年八月の定時総会において次年度の役員を選任する。

#### 第二条 役員選任の方法

- (1) 役員選任の方法は年度中に制限年令に達する会員を除く正会員の中より理事二〇名以内、監事三名を選出する。
- (2) 毎年七月の例会に次年度役員銓衡委員十一名を選挙により正会員中より選出する。
- (3) 銓衡委員会は第一項の理事、監事を選出する。但し銓衡委員中より理事を選出することを妨げない。

#### 第三条 理事長、副理事長選任の方法

銓衡委員により選出された理事は選任終了後直ちに理事会を開き互選により理事長一名、副理事長二名を選出しなければならない。

#### 第四条 役員補充

役員に欠員が生じた場合は理事長が理事会の承認を得て任命する。

### 鳥取青年会議所慶弔規定

鳥取青年会議所慶弔規定を次の通り定める。

- 一 結婚 会員の結婚の場合 二、〇〇〇円
- 二 出産 一、〇〇〇円
- 三 死亡 会員の死亡の場合 二、〇〇〇円

会員の配偶者及び  
両親子供の場合 一、〇〇〇円  
四 見舞金 会員の病氣、傷害、  
災害の場合最高を  
二、〇〇〇円限度と  
して適宜理事長が之  
を定める。

五 贈与金は適宜相当額の贈与品に替えることができる。

六 原則として会員個々への返礼は行わないものとする。

### 鳥取青年会議所旅費規定

- 本会議所公務出張の時は次の通り旅費を支給する。
- (1) 県内出張の場合 二等旅費往復相当額
  - (2) 県外出張の場合 二等旅費及二等普通急行往復相当額
  - (3) その他実費は本人負担とする。  
但し(1)(2)項とも予算の都合上記支給額を加減する場合もある。

### 鳥取青年会議所会員推薦者

#### 資格規定

新入会員の推薦資格は下記事項に該当する会員でなければならぬ。

- 一 推薦者は本会入会後一年以上経過したる者
- 二 推薦者は会費完納の者
- 三 推薦者は例会並に諸行事に対しその出席率が良好なる者
- 四 推薦者は理事会に出席しその人につき詳細に説明出来得る者

五 推薦者は新入会員の入会後に於てそれぞれ其の責任を問われても応じ得る者  
六 推薦者は一会計年度中に二名以内の推薦が出来る

### J C 野球部メンバー

後列右より

北村、川島、亀井、辻、一人おいて  
米沢、浜崎芳宏、高田、浜崎圭裕、  
山根常愛

前列右より

鎌田、広谷、古寺、山崎、中尾、



# 鳥取JC歴代役員名簿

## 一九五九年度

理事長 金田 文夫  
副理事長 浜崎 芳宏

〃 真嶋 寿一

理事 三宅 金延 山根 幸男  
井手野 聰 鎌田悟一郎  
松田 安正 池内 勝信  
西尾昌之助 坂尾 裕正  
松浦 寛 北村 準一  
矢谷 志昂

監事 松浦 寛 北村 準一  
矢谷 志昂

## 一九六〇年度

理事長 金田 文夫  
副理事長 浜崎 芳宏

〃 池内 勝信

理事 山根 幸男 安東 二郎  
松下 弘 松浦 寛  
近藤 弘司 西尾昌之助  
亀井 康孝 米沢 安民  
鎌田悟一郎

〃 石黒 松雄

監事 板倉 国義 河田 博志  
石黒 松雄

## 一九六一年度

理事長 浜崎 芳宏  
直前理事長 金田 文夫  
副理事長 池内 勝信

副理事長 近藤 弘司

理事 岡 康正 板倉 国義  
芦谷 弘章 平井 義人

〃 中村 昌樹 三宅 金延

〃 河田 博志 山根 幸男  
中尾 喬一 鎌田悟一郎  
広谷 隆等 亀井 康孝  
坂尾 裕正 北村 準一

〃 矢谷 志昂 土家 巖

〃 長尾 正道

〃 由谷 圭介

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 長尾 正道

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

清水 利夫

中井 積

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

池内 勝信

日本JC中国地区協議  
会教育青少年副委員長 鎌田悟一郎

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

〃 廣谷 隆等

# 鳥取青年会議所会員名簿

(1963年6月現在)

- (1) 氏名・年令
- (2) 会社名・役職名
- (3) 営業品目
- (4) 自宅住所(電話)
- (5) 家族(妻)(子供)

アイウエオ順

## O B 会 員

- |  |  |   |  |  |
|--|--|---|--|--|
| <p>(4) (3) 鳥取市馬場町三八<br/>東京市立芝商業<br/>(電)鳥取七一一</p> <p>(2) (株)山陰合同銀行鳥取県庁支店<br/>寺沢俊雄</p> | <p>(4) (3) 鳥取市今町一丁目二五<br/>関西商工</p> <p>(2) (株)大成電気工業(電)鳥取六一七八</p> <p>(1) 近藤弘司</p> | <p>(4) (3) 鳥取市上町二四<br/>奉天工大</p> <p>(2) (株)鳥取東部自動車学校</p> <p>(1) 金田文夫</p> | <p>(4) (3) 鳥取市藪片原一<br/>鳥取商業</p> <p>(2) (株)うしおタンス店<br/>板倉国義</p> | <p>(4) (3) 鳥取市賀露町(電)賀露二二<br/>鳥取一中</p> <p>(2) (株)石松造船所社長<br/>石黒松雄</p> |
|--|--|---|--|--|

## 現 会 員

- (5) 博、則裕  
(4) 由美子  
(3) 八頭郡智頭町(電)二五  
(2) 安東醤油店  
(1) 安東二郎 三十四才



- (5) (子供) 彰吾、由香里  
(4) (妻) 律子  
(3) 鳥取市上町一七一(電)四九二一  
(2) (有) 安部商事  
(1) 安部誠吉 三十一才





- (1) 池内 勝信 三十一才
- (2) K K池内綿糸店専務
- (3) 製綿、呉服、寝具販売
- (4) 鳥取市元大工町一番地
- (5) 泉子  
勝彦、信子



- (1) 潮 巽市 二十七才
- (2) K K潮タンス店 取締役社長
- (3) 家具
- (4) 鳥取市二階町一丁目四五
- (5) (電) 四二三八 四〇七一  
なし



- (1) 太田 貞之 三十才
- (2) K K太田材木店 専務取締役
- (3) 材木商
- (4) 鳥取市今町一丁目(電) 三七三九
- (5) 美智子  
真由美



- (1) 尾崎 良一 三十一才
- (2) 日本海テレビ 編成課長
- (3) 民間放送
- (4) 鳥取市元魚町一丁目(電) 四六八一
- (5) 俣子  
信一郎、陽二郎



- (1) 小田 信夫 四十才
- (2) 耳鼻科、小児科小田医院、小児科医長
- (3) 医師
- (4) (電) 三八二六
- (5) 寿子  
慈、睦



- (1) 梶田 真輔 三十九才
- (2) 鳥取信用金庫貸付課長
- (3) 金融
- (4) 鳥取市瓦町二二四(電) 四二二八
- (5) 美代子  
文子、和生





- (1) 鎌田 悟一郎 満三十五才
- (2) マルシン洋品店代表取締役
- (3) 小間物、洋品雑貨
- (4) (電) 三六九七
- (5) 信子  
直子、邦子



- (1) 亀井 康孝 三十七才
- (2) 有限会社亀井堂 専務取締役
- (3) 製パン
- (4) (電) 七、二九三
- (5) 美恵  
康恵、照代、誠一、千絵子



- (1) 川島 久
- (2) 山陰毎日広告KK常務取締役
- (3) 毎日新聞広告代理外広告総合取扱い
- (4) 鳥取市西町四丁目二〇二(電) 三〇六〇
- (5) 孝子  
高、泰



- (1) 河田 博志 三十四才
- (2) KK河田酒造場 専務取締役
- (3) 清酒製造 東洋美人
- (4) 八頭郡河原町河原一六番地
- (5) 悦子  
伸子、昌男



- (1) 川崎 巧 三十九才
- (2) 山陰合同銀行鳥取支店 支店長代理
- (3) 金融機関
- (4) 鳥取県気高郡青谷町
- (5) ヨシ子  
和美、恵子、典子



- (1) 北村 勝美 三十二才
- (2) 鳥取振興開発KKマナーシャ
- (3) ゴルフ場(鳥取ゴルフクラブ)
- (4) 鳥取市吉方三二〇(電) 八三六四
- (5) まり子  
まゆみ、なおみ、いずみ



- (1) 小谷 種夫 三十七才
- (2) KK小銭屋 専務取締役
- (3) 旅館業
- (4) 鳥取市吉方二五六ノ二
- (電)二二〇一
- (5) 悦子  
文夫、幸平



- (1) 小谷 信行 三十一才
- (2) 小谷旅館支配人
- (3) 旅館業
- (電)代七〇
- (4) 美砂子
- (5) 圭子



- (1) 古寺 善三 二十九才
- (2) KK古寺商店 常務取締役
- (3) 酒類販売
- (4) 鳥取市元大工町一三
- (電)四七六九
- (5) 美恵子  
利栄子



- (1) 坂尾 裕正 四十才
- (2) 八東林業合資会社専務
- (3) 山林経営、素材生産、一般建築材
- (4) 八頭郡八東町(電)八頭局一六
- (5) 弥恵子  
文正、成正、正宏



- (1) 島田 穰 三十八才
- (2) 山野商事KK社長
- (3) 紙類卸商
- (電)二五八五
- (4) 富士子
- (5) 眞美



- (1) 高田 円一郎 三十三才
- (2) アテネススポーツ専務
- (3) スポーツ用品
- (4) 鳥取市今町二丁目三二一
- (電)五〇五七 六〇二四
- (5) 眞美  
みゆき、淳



- (1) 武田 吉造 三十五才
- (2) 若桜町役場収入役
- (3) 町村 役場
- (4) 八頭郡若桜町若桜(電)若桜一六〇
- (5) 恭子
- 祐孝、佳子、倫明



- (1) 田中 昌治 三十三才
- (2) KK日本海テレビジョン放送
- (3) 民間放送
- (4) 鳥取市本町三丁目二(電)五一七一
- (5) なし



- (1) 田中正昭 三十三才
- (2) 鳥取県森林組合連合会指導課技師  
(県公認鳥取編物学院院长)
- (3) (編物機、毛糸)
- (4) 市内西町一丁目二二(電)五二八九
- (5) 照枝
- 宏志、比露美



- (1) 玉木 久夫 三十三才
- (2) 鳥取県東部自動車学校専務理事  
(林業自営)
- (3) 普通免許、大型免許
- (4) 鳥取県八頭郡智頭町福原
- (5) 泉
- 裕之助 佳奈



- (1) 辻 敏治 三十才
- (2) (有)辻商店 専務取締役
- (3) 繊維製品販売
- (4) 鳥取市新町九(電)三七二七
- (5) 和子
- 敏子、和宏、裕美



- (1) 土家 巖 四十才
- (2) KK鳥取ホンダ販売社長
- (3) オートバイ販売
- (4) 鳥取市西品治八二九(電)五一八一
- (5) 幸子
- 勝、義隆、宏美



- (1) 土井 勲
- (2) 鳥取日産自動車販売営業所次長
- (3) 自動車販売
- (4) 鳥取市吉方二七八(電)八三四四
- (5) 幸枝  
裕子、知子、達朗、幸子



- (1) 中井 積 三十才
- (2) 中井積時計店専務
- (3) 時計、メガネ、貴金属
- (4) 鳥取市瓦町二五の二四(電)六六九一
- (5) 啓子  
潤也、伸二



- (1) 中尾 喬 一 三十三才
- (2) 鳥取大学学芸学部教官
- (3) 教授
- (4) 鳥取市立川五丁目(電)若桜八
- (5) 素子  
真子、泰子、智子



- (1) 長尾 正道 三十七才
- (2) 山陰ビーエスKK専務取締役
- (3) 自動車タイヤ、エバーソフト、機械類卸
- (4) 米子市博労町四丁目六二
- (5) 陽子  
男児一、女兒一



- (1) 永瀬 正治 二十九才
- (2) KK永瀬石油店鳥取支店長
- (3) 石油製品、プロパンガス
- (4) 鳥取市湯所一区二三(電)なし
- (5) 久美子  
なし



- (1) 中川 清路 三十八才
- (2) 中川酒造合名会社工場長
- (3) 清酒「福寿海」キリンビール
- (4) 鳥取市吉方町二丁目四六三番地
- (5) 朗子  
喜久子



- (1) 中村 昌樹 三十三才
- (2) 鳥取貨物運送KK取締役常務
- (3) 運輸事業
- (4) (電)二八三九
- (5) 順子  
昌弘、尚樹、育史



- (1) 梨原 巖 三十五才
- (2) 読売新聞鳥取直配所所長
- (3) 新聞販売
- (4) 鳥取市東品治町二ノ一(電)二九八二
- (5) 和子  
剛、奨、香



- (1) 中井 晋 二十九才
- (2) 中井脩時計店
- (3) 時計、貴金屬、眼鏡
- (4) 鳥取市川端二丁目
- (5) 洋子  
太一郎



- (1) 西尾 昌之助 三十五才
- (2) KKニシオ洋服店 専務取締役
- (3) 洋服(紳士、婦人子供服)全般販売
- (4) 市内藪片原町一四(電)三一三六、七
- (5) 芳江  
和子、正子、芳子



- (1) 野口 八郎 三十二才
- (2) 日興証券KK鳥取支店長代理
- (3) 証券業
- (4) 鳥取市若桜町一〇ノ一(電)六五〇六
- (5) 真澄  
雅美、哲也



- (1) 橋本 博夫 三十八才
- (2) KK橋本呉服店代表取締役
- (3) 呉服
- (4) 鳥取市職人町三三(電)四二八六
- (5) 智部恵  
房子、順介



- (1) 浜崎 泰三 三十才
- (2) KK浜崎芳雄商店常務
- (3) 銅鉄商、鋼材その他
- (4) (電) 四六五五
- (5) 家代子

- (1) 浜崎 圭裕 二十五才
- (2) KK桶城屋商店
- (3) 醬油製造
- (4) 鳥取市立川四丁目一六
- (5) (電) 四五四八



- (1) 平井 義人 三十四才
- (2) 平井薬局
- (3) 医療品、化粧品
- (4) 鳥取市元大工町四七
- (5) 佳子

- (1) 浜崎 芳宏 三十五才
- (2) KK浜崎芳雄商店 代表取締役専務
- (3) 鉄鋼材販売
- (4) 鳥取市川端四丁目(電) 四一四八
- (5) 明美



- (1) 広谷 隆等 三十五才
- (2) 山陰放送鳥取支社長
- (3) ラジオ、テレビ兼営民間放送
- (4) 鳥取市玄好町一〇五番地(電) 三二四三
- (5) 玲子

- (1) 平野 之致 三十三才
- (2) 鳥取県パン商事株式会社 営業部長
- (3) 小麦粉、砂糖、缶詰、石鹼、鶏肉、飼料他食品
- (4) 鳥取市新品治町一二三番地
- (5) 民枝





- (1) 福田 晃 三十四才
- (2) KK富士銀行鳥取支店 貸付係長
- (3) 銀行業
- (4) 鳥取市吉方三二八の三
- (5) 緑  
論、勝



- (1) 前川 清治 三十才
- (2) 三物本社工場次長
- (3) エフワン 紳士服メーカー
- (4) 鳥取市吉成三三五(電)七三二一
- (5) 美子  
さとみ



- (1) 松浦 寛 三十三才
- (2) KK鳥取家具工業専務取締役
- (3) 家具工業
- (4) 鳥取市吉方三二五ノ二(電)四八六一
- (5) なし



- (1) 松下 弘 三十九才
- (2) 中央印刷KK専務
- (3) 印刷業
- (4) 鳥取市元魚町一丁目三三
- (5) 美代子  
栄一郎、靖子、良彦



- (1) 三谷 守 三十四才
- (2) 三谷旅館
- (3) 旅館業
- (4) 鳥取市吉岡温泉町(電)吉岡二
- (5) 洋子  
いづみ、雅男



- (1) 三宅 金延 三十四才
- (2) KKみつかね
- (3) 本店繊維品販売城崎支店観光旅館「城泉閣」豊岡ツアバート、貸事務所、倉庫業
- (4) (電)二九四七
- (5) 美佐子  
誓子、有希子



- (1) 森下 耀雄 三十三才
- (2) K K森下久平商店 専務取締役
- (3) 厨房機械器具、ボイラー、重油パーナー
- (4) 鳥取市新町二番地(電)六一八六―七
- (5) 春子  
裕子、泰年、訓子



- (1) 森田 一郎 三十六才
- (2) (有) 森田酒造場 常務取締役
- (3) 酒造業 銀泉
- (4) 八頭郡船岡町船岡(電) 郡家二
- (5) 富十子  
美保子、恭子、倫正



- (1) 森 亮 輔 二十九才
- (2) 森齒科医院
- (3) 齒科
- (4) 鳥取市元鑄物師町六(電) 五七九四
- (5) 千鶴  
映利加



- (1) 山根 秀 治 三十四才
- (2) K K鳥取銀行庶務課長
- (3) 銀行
- (4) 鳥取市東品治一九四(電) 三二四一
- (5) 浩子  
俊明



- (1) 山根 常 愛 満 二十八才
- (2) (有) 山根酒造場
- (3) 清酒製造 日置桜
- (4) (電) 青谷三四
- (5) いすゞ  
正紀



- (1) 山根 寿 郎 二十九才
- (2) 大鳥機工 K K紡機部 計画課長
- (3) 機械メーカー
- (4) 鳥取市片原三丁目二一九  
(電) 四五八二
- (5) 善恵  
直樹、誠司





- (1) 山根 幸男 三十七才
- (2) 鳥取マツタ自動車KK 専務取締役
- (3) マツタ自動車販売並に修理
- (4) 鳥取市西今在家
- (5) 満智子



- (1) 山村 明 三十六才
- (2) KK武田商会 専務取締役
- (3) 自転車、自動二輪車卸
- (4) 鳥取市行徳一五三
- (5) 美恵子  
惠、薰



- (1) 山本 兼由 三十八才
- (2) 鳥取タイヤゴム株式会社 専務取締役
- (3) タイヤ販売修理
- (4) 鳥取市今町二丁目(電)四七八一
- (5) 昌枝  
昌徳、記子、泰子



- (1) 山本 富二 三十四才
- (2) マツヤ電機商会 社長
- (3) 電機器具販売業
- (4) 鳥取市上魚町一一(電)三五二二
- (5) 秋子  
千太郎、正太郎、康子



- (1) 山本 良二 三十五才
- (2) 明石家
- (3) 旅館業
- (4) 岩美郡岩美町岩井(電)岩井三
- (5) 治代  
潤一、幹子、真理



- (1) 由谷 圭介 三十六才
- (2) 由谷酒店
- (3) 酒類販売
- (4) 鳥取市川端四ノ三二(電)二九一六
- (5) 淑子  
哲夫、和子



- (1) 吉田 幹 男 二十七才
- (2) (有) 吉田材木店 専務取締役
- (3) 木村業
- (4) 鳥取市上町一〇六(電)二四二七
- (5) 茅穂子



- (1) 米沢 安 民 三十四才
- (2) 米沢安吉商店専従者
- (3) 塗料、接着剤、化粧板販売
- (4) 鳥取市茶町二三番地(電)四三三八
- (5) 保子



- (1) 涌本 祐 之 二十八才
- (2) 因伯通運KK総務部長
- (3) 通運事業、倉庫事業、一般区域自動車運送事業
- (4) 鳥取市吉方五二〇番地(電)四四二六
- (5) なし

事務局



- (1) 山 根 敏 明 二十七才
- (2) 鳥取商工会議所指導員
- (3) 八頭郡若桜町若桜
- (4) なし
- (5) なし

事務局



- (1) 木 島 敏 行 二十三才
- (2) 鳥取商工会議所
- (3) 鳥取市立川五丁目九三
- (4) なし
- (5) なし

## 編 集 後 記

5年間の歩みをくわしく残してみたいと思ったが、写真、資料、原稿と意の如くならず、又、記念誌に掲載することの出来ない秘録も有り、皆様の期待に反した会報になってしまい誠に残念です。

鳥取青年会議所に対しまして各方面から御祝辞をいただきました。紙上より厚く御礼申し上げます。

最後の追い込みは深夜に及ぶこと数度にわたりましたが、委員会のメンバーのチームワークにより、不充分乍らまとめることが出来ました。特に広谷君、田中正昭君、事務局には御苦勞をかけました。

広 報 委 員 長

辻 敏 治

1964年度

広 報 委 員 会

委員長	辻	敏	治
副委員長	広	谷	隆
委員	長	尾	正
”	中	村	昌
”	潮		巽
”	山	本	兼
”	田	中	正
”			昭

---

1964年10月11日発行

鳥取市本町3丁目

発行 鳥取青年会議所

編集責任者 広報委員長

印刷 中央印刷株式会社

---

祝

鳥取 J C 五周年

協賛広告

順不同

鳥取の冬は、ニシオのコートオーバーで始まるのが毎年の例、ことしも '64— '65のすてきな新作をすっかりあつめて今日からごらん頂きます。あなたのコート、オーバーはぜひこのチャンスに……

洋服 センター

ニシオ

とっとり電(代)3136



コート百科

オーバー百選

見つけてください

このラベル

そうです

それがトットリ家具の製品です



## トットリ家具の製品は

よい家具をより安く提供することをモットーに最新の技術と優秀な機械設備で量産されています。あらゆるところで多くの方々に愛用されています。一度おかけください。よさがすぐにわかります。有名家具店・百貨店で販売されています。



※美しいデザイン・ブックを無料進呈。  
ハガキで鳥取市吉方320鳥取家具K S 係へご請求下さい。

# トットリ家具

鳥取家具工業株式会社  
本社 / 鳥取 営業所 / 東京・大阪・名古屋

## 創業以来64年のご愛顧を感謝申し上げます

### 〔営業ご案内〕

- 石油製品 (ガソリン、軽油、灯油、重油、各種機械油、グリース、アスファルト等)
- プロパンガスおよびガス水道配管工事設計施工
- 器具 石油製品およびプロパンガス用各種燃焼器具  
コンロ、ストーブ、バーナー、ボイラー風呂など
- その他 ブリヂストンタイヤ、ホース、エバーソフト  
関西タールのコールタール、クレオソート  
日華油脂の天ぷら油  
洗剤 (ティポール)、家庭用小型消火器



シェル石油株式会社  
セントラル石油瓦斯株式会社

特約店

株式会社

**永瀬石油店**

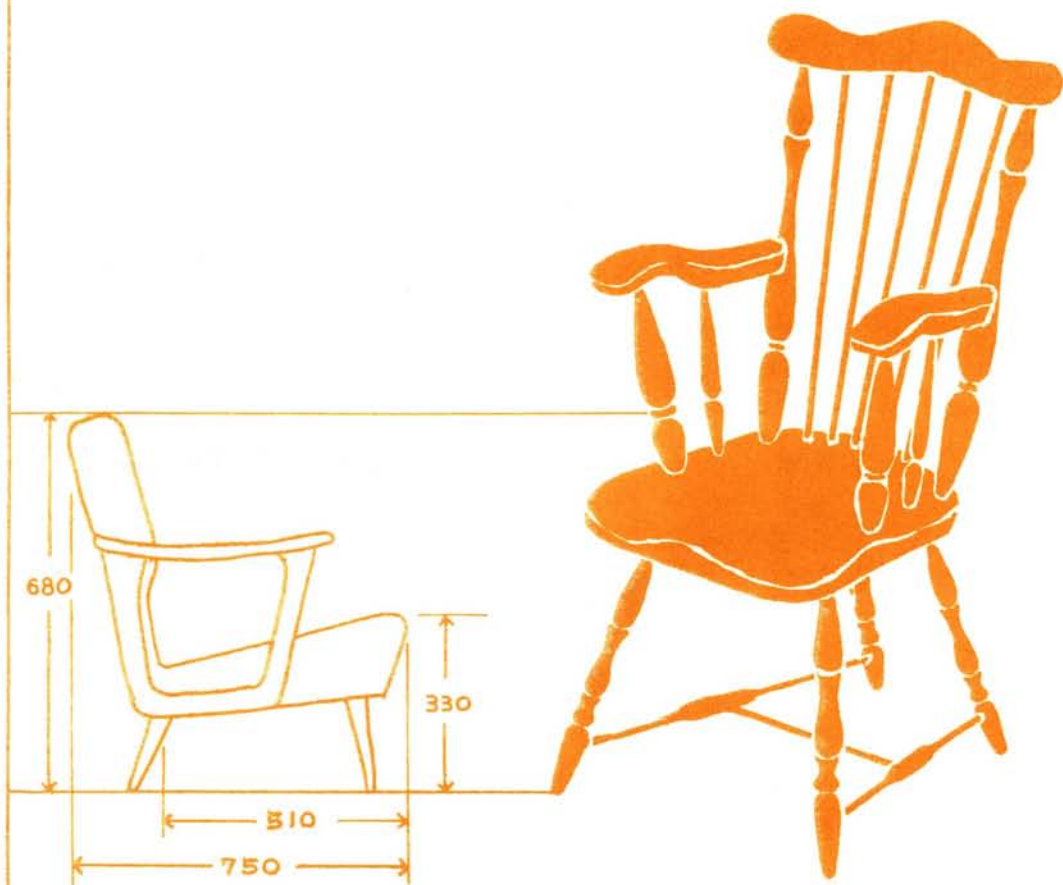
取締役社長 永瀬 義春

常務取締役  
鳥取支店長 永瀬 正治

鳥取市吉方3区769

TEL 3814-3443 4998

# ウシオの 家具



株式会社 **潮タンス店**

代表取締役 潮 巽 市

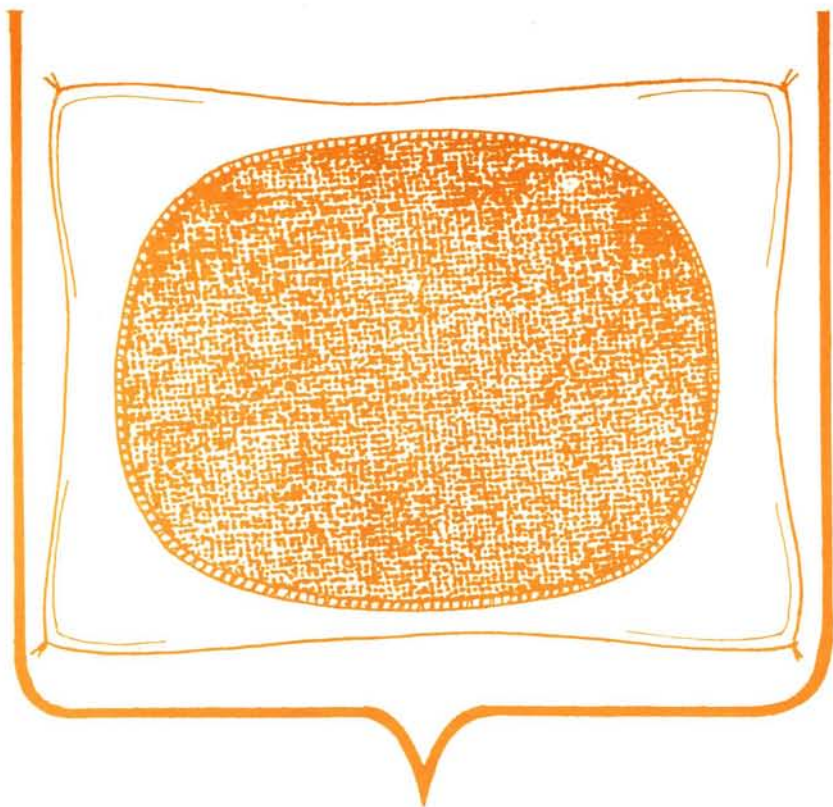
とっとり・二階町

TEL 4071

4238

貸衣裳部 3851 4071





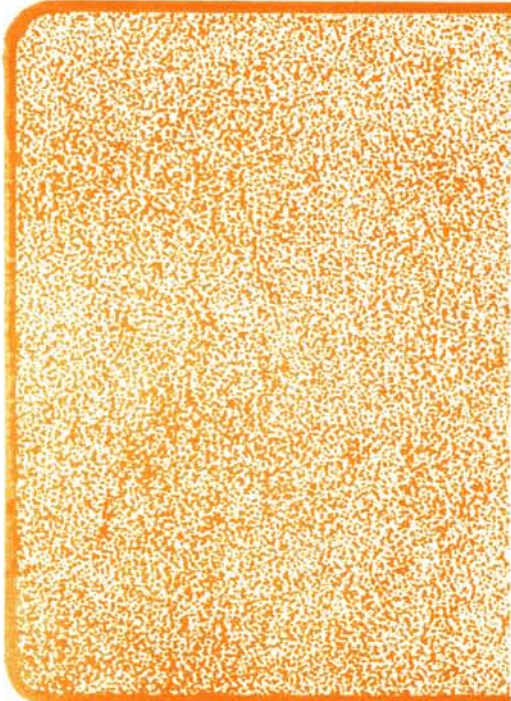
フワフワホカホカあったかく  
今日もたのしい夢を見る……

●呉服・寝具のデパート

**池内**

★大工町(電)代4188

★本通り店(電)3470・5632



- ★ 中山製鋼所指定問屋
- ★ 日本鋼管指定特約店
- ★ 林式長尺屋根・レデノ鉄板葺山陰代理店
- ★ 近畿車輛KK山陰地区代理店



鋼 鉄 商

株式  
会社

濱 崎 芳 雄 商 店

本店 鳥取市川端4丁目 電(代)4148  
支店 倉吉市昭和町 電(代)2168  
支店 米子市上後藤外浜55の4 電 ② 3115



# 因伯通運株式会社

通運事業  
倉庫事業  
一般区域貨物運送事業

代表取締役

涌本忠彦

本社 鳥取市行徳は二〇五番地  
支店 鳥取・米子・倉吉・境港  
営業所 鳥取駅前・上井・西倉吉・後藤・大阪



**F. ONE**  
**men's**  
**suits**

エフワン株式会社

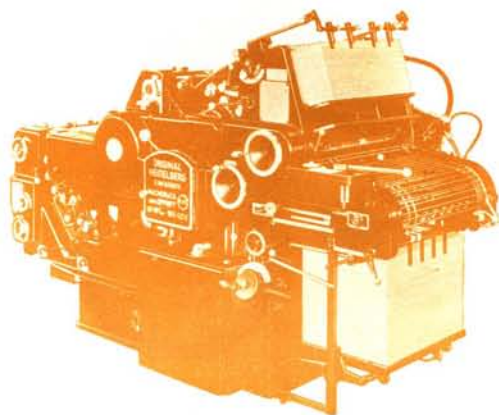
エフワン商事株式会社

エフワン鳥取工場



速く，美しく，より安く

ポスター  
カレンダー  
カタログ  
パンフレット  
レベル  
色装紙  
D・M  
株券  
伝票  
帳簿  
通帳  
営業PR  
レポート  
学術図書  
定期刊行物  
社内報



中央印刷株式会社

鳥取市岩倉  
TEL(代)6169



**HONDA**

# ホンダ T360

## 軽四輪トラック

高価な材料をふんだんに使ったキャビン、前後輪ともに乗用車と同じサスペンションを使っており、シャーシの中央にアンダーフロアエンジンを配置した走行安定のすばらしい車です。



●全国統一現金正価……349,000円

乗用車クラスの乗り心地

## 〈新製品〉



# ホンダ CS90

全国統一現金正価 82,000円



## 〈スマートでタフ〉

まったく斬新なTボーンフレームを世界ではじめて採用。しかもネバリ強い4サイクルエンジン。このクラス最初のチエン駆動による、オーバーヘッドカムシャフトを採用。

# 鳥取ホンダ販売株式会社

本社 鳥取市西品治829 TEL 5181・倉吉営業所2652・米子営業所3079

# 新発売 — MAZDA ファミリア



このセダンから新しいファミリーカーの時代が始まる



ご試乗ください！800CCにしてこの高性能・この風格国際水準をゆく新しいセダン【ファミリア】のデビューです

800cc 42馬力 <sup>0</sup>発進加速 (200m) 14.5秒

最高時速115キロで世界一周も可能です

4ドア5人乗り 広く 静かに 上品に  
このクラス最大の室内 最高のムード

ご要望に応えた本格的ファミリーカー

1年又は2万キロ保証制度

全国统一現金価格（北海道を除く）

¥488,000

スベアタイヤ・標準工具付

デラックス仕様は60,000円増

## 鳥取マツダ自動車株式会社

鳥取市今町2丁目382 TEL (代) 7211

中国屈指



山陰隨一



良い施設・良い車  
親切な個人指導  
確実な安全合格

鳥取県公安委員会 指定  
広島陸運局

鳥  
取  
県

東部自動車学校

鳥取市丸山三叉路正面 電話(代)7207



# SUZUKI コレタ スズキセルベツト

★軽快に……  
★爽快に……  
★豪快に……



★世界一のその技術が生んだ  
最高のメカニズムで……

鳥取県総発売元  
株式会社

**武田商会**

鳥取市東品治町113-8  
TEL 3530  
(サービス工場) 6703-7913

# 吉

有限  
会社

# 吉田材木店

各種ベニヤ新建材一般建築用材  
プレハブ住宅セキスイハウス

代表取締役

吉田幹男

鳥取市上町六五  
(TEL)二四二七・六二〇八

山林経営・針広葉樹素材販売  
製材一般建築用材・チップ



# 八東林業合資会社

社長 坂尾正巳  
専務 坂尾裕正

八頭郡八頭町岩淵  
電話(八頭)六一六(41)二〇一五

〔吉岡温泉〕



日本観光旅館

いなばの名湯 三 みたに 谷  
TEL (吉岡) 2番

# 読賣新聞の

ご愛読厚くお礼申し上げます



読売新聞 鳥取総直配所

鳥取市東品治町214の6

TEL 2982番

製紙原料ならびに薬品  
高級チリ紙ならびに一般チリ紙



安部商事 有限  
会社

鳥取市東品治町2の1  
TEL 3275・4929

▷6年7ヶ月後には

500.000

(年7分7厘で計算)

元本39万5千円

◁毎月5千円でスタート

信頼された確実さ！  
日興の  
公社債投資信託  
〈ボンドオープン〉

坊やの成長とともに育ち  
パパもママも安心  
日興で計画貯蓄を……

日興証券

鳥取市駅前本通 TEL 6101

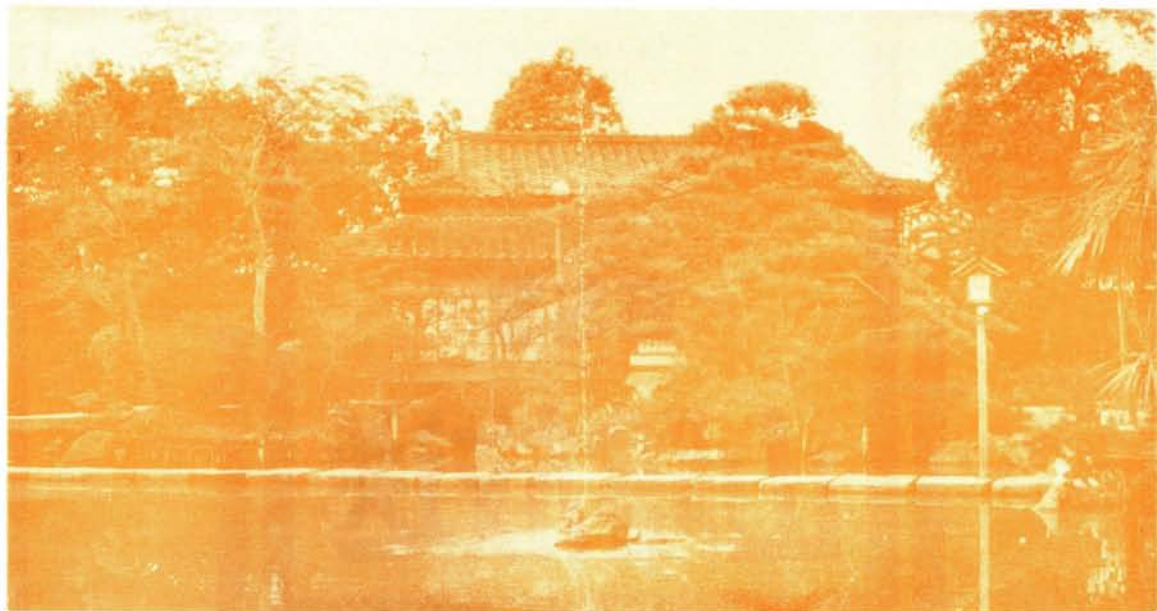


辻で、紳士、淑女の  
ニューファッションを!

紳士服  
婦人服

**辻商店**

● 鳥取若桜街道  
TEL 3723



政府登録国際観光旅館

砂丘・ゴルフ場と温泉  
**小 銭 屋**

鳥取TEL (代) 2101

★毎日広告社

洋服を仕立てるのと同じ気持です



着ている服に、その人のセンスや人柄がにじみ出るものです。その人に合った服を作れない仕立屋では、役に立ちません。広告にも同じことがいえます。あなたのご意見をすなおに訴え、より多くの人にお知らせいたします。それによってお店の品格が高められ、多くのお客様に愛されるようつとめています。今日もあなたのご注文をお待ちしております。

★新聞広告・チラシ・ダイレク  
トメール・パッケージデザイン  
・その他総合宣伝企画★★

## 毎日広告

- 鳥取市西町4丁目202 (電) 3060
- 米子市岩倉町26 (電) ②2915
- 倉吉市栗町毎日新聞通信部内(電)(呼) 384

いこいのひと、きを  
よりのしく……

**BSS**

# 山陰放送



●テレビ		
松江	JOHF-TV	10ch
大田	JOHF-TV	1ch
浜田	JOHF-TV	5ch
掛合・吉田	JOHF-TV	11ch
川本	JOHF-TV	10ch
石見	JOHF-TV	1ch
仁多	JOHF-TV	1ch
●ラジオ		
米子・益田	JOHF	900kc
鳥取	JOHF	1560kc
浜田	JOHM	1120kc

本社	米子市西福原423(皆生通り)	電(代)米子(2) 2141
東京支社	東京都中央区銀座西6の3	朝日ビル本館3階 電(代) (571) 4552
大阪支社	大阪市北区中之島3の3	朝日ビル4階 電(代) (231) 6960
鳥取支社	鳥取市今町2の152	大丸ビル3階 電(代) (鳥取) 3900
松江支社	松江市殿町386	三喜ビル2階 電(代) (松江) (2) 4306
広島支局	広島市東胡町4	三宅ビル3階 電(代) (広島) (4) 9321
浜田支局	浜田市大字熱田1001の2	電(代) (浜田) 1652





「砂丘と海」

尾崎悌之助画

# 鳥取青年会議所

鳥取市本町3丁目商工会館内